

設 計 書

工事名称 松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事

工事場所 松戸市常盤平三丁目30番地

工 期 自 令和 年 月 日
至 令和 8年 2月27日

設計年月日 令和 7年 4月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

トイレ改修					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

耐震改修		耐震改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【外壁/増設壁】						
(コンクリート)						
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 30N/mm2 スラブ 18cm	7.1	m ³			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m ³ /回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料	1	式			別紙 00-0009
(型枠)						
型枠（複合合板）	普通合板型枠 耐震改修用 地上軸部 標準階高	37.9	m ²			
型枠（複合合板）	打放合板型枠B種 耐震改修用 地上軸部 標準階高	10	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	47.9	m ²			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	38.8	m			
(鉄筋)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.4	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	0.1	t			
鉄筋加工組立	耐震改修用 - -	0.6	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.6	t			
割裂防止用 スリット筋	φ6 径170(φ50) 材工共	11.8	m			
接着系 あと施工アンカー	D19 下向き 有効7da ナット付	76	本			
接着系 あと施工アンカー	D19 横向き 有効7da ナット付	26	本			
接着系 あと施工アンカー	D19 横向き 有効4.5da ナット付(先端割付)	26	本			
接着系 あと施工アンカー	D19 横向き 有効10da ナット付	8	本			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

トイレ改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床 押えコンクリート撤去	集積共	0.3	m ³			
既存防水層撤去	屋内防水層 アスファルト防水層 集積共	3.5	m ²			
鋼製スロープ 撤去	集積共	2.8	m ²			
(壁)						
ビニル幅木撤去	一般 集積共	12.2	m			
壁タイル撤去	下地タイル共 集積共	41.1	m ²			
壁タイル・プラスター 撤去	集積共	6.2	m ²			
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	4.7	m ²			
壁下地撤去	集積共	2.8	m ²			
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	2.1	m ³			
カッター入れ	タイル面 厚さ20～30mm	15.5	m			
(天井)						
天井合板・ボード 撤去	二重張り 一般 集積共	21.3	m ²			
天井下地撤去	集積共	53.6	m ²			
(その他)						
天井点検口撤去	集積共	2	か所			
床マンホール・点検口 撤去	集積共	5	か所			
三方枠撤去	木製 集積共	5.8	m			
カーテンボックス撤去	木製 W120xH150 J型 集積共	1.3	m			

[illegible]

トイレ改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
嵩上コンクリート	FC18 SL18	3	m3			
コンクリート打設手間	嵩上コンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	1	式			
溶接金網敷	径6.0 100×100	35.5	m ²			
床汚垂れ石タイル	W600 TOTO:ハイテセラフロアPU薄型同等	2.5	m			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 厚張物下地	36.5	m ²			
床下地調整	張物下地	14.5	m ²			
ビニル床シート	t2.0 防滑性	42.2	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	7.3	m ²			
(壁)						
壁構造用合板	t12	6.1	m ²			
壁構造用合板	t12+t12	4.3	m ²			
壁構造用合板	t24	11	m ²			
壁構造用合板	t24+t12	8	m ²			
壁構造用合板	t24×3枚	2.2	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	126	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	2	m ²			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1400×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 タテ等四方補強 200×200mm程度	1	か所			

トイレ改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ダケ外等四方補強 300× 300mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ダケ外等四方補強 600×1000mm程度	1	か所			
壁 珪藻土金ごて	塗装下地	42.9	m ²			
ビニル幅木	高さ60	61.4	m			
ビニル幅木	高さ100	23.2	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	2	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	65.6	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-S 厚12.5共	5.4	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	99.2	m ²			
壁 化粧けい酸 カルシウム板張り	厚6 ボード下地	104	m ²			
(天井)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	36.4	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 インサート含む	5.6	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	8.4	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ボード等切込み共	7	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 150× 150mm程度 ボード等切込み共	15	か所			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライプ 突付け	42	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	8.4	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	81	m			
(その他)						

トイレ改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁(化粧珪藻板) 目地シリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	171	m			
汚垂石～床シート 取合シリング	一般部 ポリサルファイト系(PS-2) 10×10	3.1	m			
ライニング天板 取合シリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	33	m			
通路～ホール 三方枠	ステンレス製 150x30 W1307xH2000	1	か所			
トイレ 三方枠	ステンレス製 125x25 W900xH2000	1	か所			
トイレ 一方枠	ステンレス製 125x25 H2400	2	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	7	か所			
床点検口	600角 カ工業:ニューハッチNHBS同等	4	か所			
ピット トラップ	ステンレス製 W350xH1900 規格品端部カット高さ調整	4	か所			
ライニング 壁点検口	200角 カ工業:ウォールハッチ同等	1	か所			
ライニング 壁点検口	300角 カ工業:ウォールハッチ同等	1	か所			
SK内 パネル置棚	メラミ化粧板t25 W1500xD450	1	か所			
掃除具入 ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W120xL900	1	か所			
女子トイレ(洗面他) ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W145xL3030	1	か所			
女子トイレ(洗面他) ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W145xL2590	1	か所			
男子トイレ(洗面) ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W155xL1920	1	か所			
男子トイレ(小便器) ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W180xL2450	1	か所			
男子トイレ(大便器) ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W220xL2020	1	か所			
みんなのトイレ ライニング天板	メラミン樹脂化粧板t20 W250L(2450+1150)	1	か所			
SK 掃除用具保管フック	ステンレス製	5	か所			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

トイレ改修		躯体改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【スラブ 復旧】						
(コンクリート)						
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 27N/mm2 スラブ 18cm	0.8	m3			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0018
(型枠)						
型枠 (複合合板)	小型構造物用型枠 - -	6	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	6	m ²			
(鉄筋)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.03	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.02	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.05	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.05	t			
打込式差筋アンカー	D13 横向き	64	本			
鉄筋溶接	D10 片面ルア 10d	16	か所			
(その他)						
目あらし	コンクリート面 壁	1.3	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

既存ブロック壁改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床タイル撤去	下地タイル共 集積共	1.5	m ²			
(壁)						
ビニル幅木撤去	一般 集積共	8.9	m			
木製幅木撤去	集積共	1.4	m			
壁タイル撤去	集積共	0.9	m ²			
壁タイル・プラスター撤去	集積共	12.9	m ²			
壁クロス撤去	集積共	6.8	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	1.9	m ²			
CB撤去	コンクリートブロック 集積共	2.8	m ³			
カッター入れ	タイル面 厚さ20～30mm	18.7	m			
(天井)						
天井合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	2.1	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	3.2	m ²			
天井下地撤去	集積共	32	m ²			
天井幕張り撤去	集積共	16.9	m ²			
(その他)						
天井点検口撤去	集積共	1	か所			
湯沸室 流し台撤去	W1800xD550xH800 ステンレス製	1	か所			
湯沸室 コンロ台撤去	W600xD550xH750	1	か所			

[illegible]

既存ブロック壁改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(床)						
床珞外塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	2.3	m ²			
床 下地調整	張物下地	8.3	m ²			
ビニル床シート	t2.0 防滑性	8.4	m ²			
ビニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	1.3	m ²			
ビニル床タイル	厚さ2.0 コポジションビニル床タイルKT 一般床 -	0.9	m ²			
(壁)						
壁 構造用合板	t12	2.7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	30.9	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	5.1	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ダケ等四方補強 600×600mm程度	2	か所			
壁 珞外金ごて	塗装下地	6.5	m ²			
壁(CB上部) 珞外金ごて	塗装下地 H100	1.5	m			
壁(CB天端) 均し珞外	t15xW100	1.5	m			
ビニル幅木	高さ100	10.5	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	9.8	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 継目処理 - -	1.4	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	2.5	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	10.1	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 下地張り - -	0.8	m ²			

既存ブロック壁改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁 強化せっこう ボード張り(GB-F)	厚21.0 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-F 厚21.0共	8.9	m ²			
壁 キッチンパネル	厚3 マシン系 ボード下地	6.9	m ²			
(天井)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	2.1	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	13	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300 インサート含む	16.9	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボード等切込み共	2	か所			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-R 厚9.5共	2.1	m ²			
天井 せっこうボード 張り(GB-R)	厚9.5 準不燃 目透かし	20.1	m ²			
天井 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚9.5 準不燃 目透かし	9.8	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	38.3	m			
(その他)						
既存RC～PB 取合シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	6.1	m			
ラインク 天板 取合シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	5.3	m			
流し台 取合シーリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	2	m			
壁 耐火シーリング	15x15	16.7	m			
壁見切	米柵 W20	2.5	m			
湯沸室流し脇 壁出隅押え	塩ビ製	2.5	m			
湯沸室吊戸 幕板	米柵 t12×H100	2.9	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	2	か所			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

外構改修		外構改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
歩道用 コンクリート平板ブロック	300角xt60 砂敷t80、碎石t100	53.28	m ²			
注意喚起ブロック	300角xt60 砂敷t80、碎石t100	0.3	m ²			
注意喚起ブロック	300角xt60 (土間コン面)	0.8	m ²			
縁石	W150/170xH200	20.1	m			
床 磁器質タイル	100角	28.2	m ²			
床 磁器質タイル	段鼻用ノンスリップ	2.8	m			
スロープ 床 磁器質タイル	100角 ノンスリップ	1.1	m ²			
床珞ル塗り	木ごて 一般タイル下地 厚37	29.9	m ²			
立上り 打放補修	仕上	1.8	m ²			
立上り天端 コンクリート金ごて	仕上 W150	2.5	m			
スロープ 手摺	ステンズHL L1900xH700 手摺:φ34、支柱φ34	2	か所			
階段自立手摺	ステンズHL L1100xH700 手摺:φ34、支柱φ34	1	か所			
U形側溝300用 鋼製グレーチング 300用 T-14	再生クラッシュラン U字溝用 すべり止め 車道用ゴム付き(騒音防止)	6	m			
弁樹嵩上げ		1	か所			
看板新設	アクリル t5 150×300	1	枚			
支柱 DP塗(改修仕様)	鉄面 糸幅300以下 1級 下地調整共(塗替え面)	8.1	m			
プランター移設・復旧	φ500	2	か所			
計						

外構改修		躯体改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【スロープ】						
(土工、地業)						
砂利地業	再生クラッシャー	1.3	m3			
(コンクリート)						
普通コンクリート (材料)	千葉北部地区 27N/mm2 スラブ 18cm	1.6	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	1	式			別紙 00-0032
(型枠)						
型枠（複合合板）	小型構造物用型枠 - - -	5.4	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	5.4	m ²			
(鉄筋)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.03	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 - -	0.13	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.13	t			
あと施工アンカー (接着系)	D10 横向き	6	本			
(その他)						
目あらし	コンクリート面 壁	0.7	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

耐震改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生(外壁改修)		14.8	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (外壁改修)		14.8	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 存置2ヵ月	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 存置2ヵ月	13.7	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置2ヵ月	3.6	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	13.7	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	3.6	m			
計						
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	1	式			別紙 00-0004
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	3.4	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	3.4	m ²			
計						

耐震改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類	1	式			別紙 00-0005
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 II 類 掛払い手間 -	13.7	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 II 類 供用1日賃料 修理費含む -	13.7	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 II 類 基本料 修理費含む -	13.7	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		13.7	m ²			
計						
アルミ防音パ° 裨張り	外壁撤去時	1	式			別紙 00-0006
アルミ防音パ° 裨張り	枠組本足場用 掛払い手間	13.7	m ²			
アルミ防音パ° 裨張り	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む	13.7				
アルミ防音パ° 裨張り	枠組本足場用 基本料 修理費含む	13.7	m ²			
計						
金網式養生枠		1	式			別紙 00-0007
金網式養生枠	掛払い手間 -	2.9	m ²			
金網式養生枠	供用1日賃料 修理費含む -	2.9	m ²			
金網式養生枠	RC造標準日数 修理費含む 2階建 建築面積 300m ²	2.9	m ²			
仮設材運搬 (金網式養生枠)		2.9	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

トイレ改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0013
墨出し(内部改修)	複合改修	53.1	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0014
養生(内部改修)	複合改修	53.1	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	16.3	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0015
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	53.1	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	53.1	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	16.3	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	16.3	m ²			
計						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	1	式			別紙 00-0016
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	53.1	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	53.1	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

既存ブロック壁改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0022
墨出し(内部改修)	複合改修	18.1	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0023
養生(内部改修)	複合改修	18.1	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	31	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0024
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	18.1	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	31	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0025
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 12m未満 存置1ヵ月	13.6	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 存置1ヵ月	3.6	m			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	15	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

外構改修 発生材処理						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積み込み		1	式			別紙 00-0033
発生材積み込み	コンクリート類 人力	23	m3			
発生材積み込み	がれき類 人力 (ガラス、コンクリート、陶磁器<ず>)	1.3	m3			
発生材積み込み	ボート・木材類 人力	0.1	m3			
計						
撤去材運搬		1	式			別紙 00-0034
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 27.0km以下	23	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 がれき類 DID区間有り 27.0km以下	1.3	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 石こうボート類 DID区間有り 27.0km以下	0.1	m3			
計						
建設廃材処分費		1	式			別紙 00-0035
建設廃材処分費	無筋コンクリート廃材 処分地区：東葛	7.8	t			
建設廃材処分費	無筋2次製品廃材 処分地区：東葛	9.3	t			
建設廃材処分費	路盤廃材 処分地区：東葛	29	t			
建設廃材処分費	がれき類 (ガラス、コンクリート、陶磁器<ず>)	1.3	m3			
建設廃材処分費	金属<ず>	0.1	m3			
計						

[illegible]

現場説明書

1. 工事名称 松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事

2. 工事場所 松戸市常盤平三丁目30番地

3. 説明事項

- ・工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
- ・関係官公署への届出は、契約後速やかに行うこと。
- ・騒音、振動発生する作業を行う場合は、事前に施設関係者と十分協議し作業を行うこと。
- ・関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
- ・別途、電気設備工事及び機械設備工事が発注されるため、工程及び資材置場等の調整を密に行うこと。
- ・工事の日程等は、施設管理者及び関係者に事前に周知を図ること。

<仮設について>

- ・材料搬入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。
- ・職員及び施設利用者の安全や動線の確保されるように仮設計画をし、安全管理を十分に行うこと。

<週休2日制適用工事について>

- ・本工事は、週休2日工事(発注者指定方式)である。
- ・受注者は、現場閉所(休息)による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格には4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事

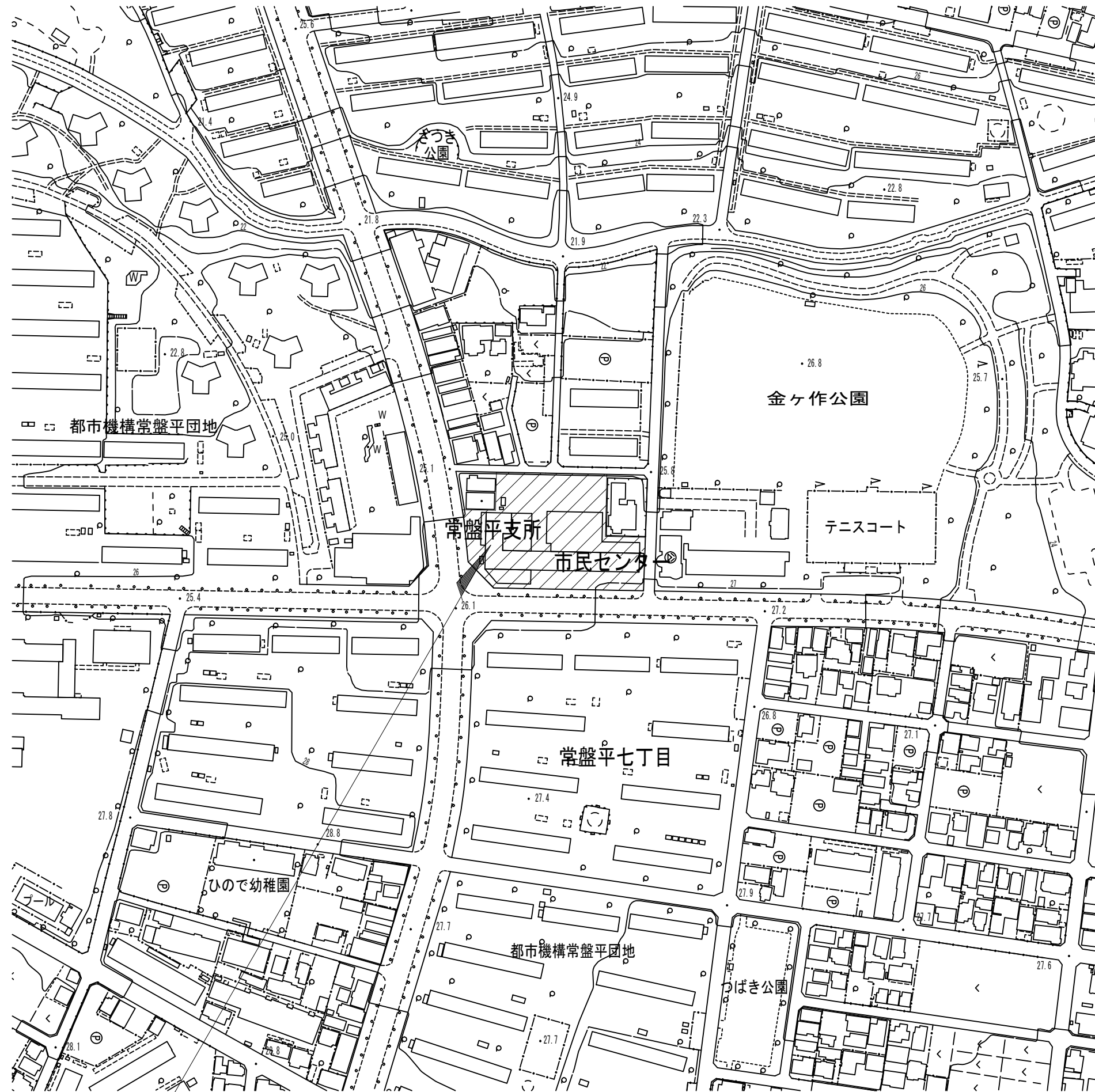
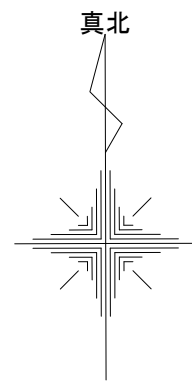
図面リスト

建築					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	－	S-01	構造特記仕様書（１）	－
A-01	改修特記仕様書（その１）	－	S-02	構造特記仕様書（２）	－
A-02	改修特記仕様書（その２）	－	S-03	伏図（１）	１：１５０
A-03	改修特記仕様書（その３）	－	S-04	伏図（２）	１：１５０
A-04	改修特記仕様書（その４）	－	S-05	軸組図（１）	１：１５０
A-05	案内図・配置図	１：５００、１：２５００	S-06	RC増設壁補強詳細図	１：３０
A-06	（改修前、改修後）内部、外部仕上表	－	S-07	既存柱・梁リスト	１：５０
A-07	（改修前）１階平面図	１：２００			
A-08	（改修後）１階平面図	１：２００			
A-09	（改修前）倉庫、トイレ立面断面詳細図	１：３０			
A-10	（改修後）倉庫、トイレ立面断面詳細図	１：３０			
A-11	（改修前・改修後）トイレ平面詳細図・みんなのトイレ ホール側展開図	１：５０			
A-12	（改修前・改修後）トイレ天井伏図	１：５０			
A-13	（改修前）トイレ展開図	１：５０			
A-14	（改修後）トイレ展開図	１：５０			
A-15	（改修前）矩計図	１：３０			
A-16	（改修後）矩計図	１：３０			
A-17	（改修前・改修後）倉庫平面詳細図、展開図	１：５０			
A-18	（改修前・改修後）倉庫 天井伏図	１：５０			
A-19	（改修前・改修後）湯沸室 平面詳細図、部分詳細図	１：５０、１：２０			
A-20	（改修前・改修後）湯沸室 天井伏図、展開図	１：５０			
A-21	（改修前・改修後）和室廊下、舞台平面詳細図、展開図	１：５０、１：１０			
A-22	（改修前・改修後）和室廊下、舞台 天井伏図	１：５０			
A-23	（改修前）建具表	１：５０			
A-24	（改修後）建具表	１：５０			
A-25	（改修前）外構・斜路	１：５０			
A-26	（改修後）外構・斜路	１：５０			
A-27	（改修後）斜路、手摺、階段部分詳細図	１：２０			
A-28	（改修後）部分詳細図	１：２０、１：５			
A-29	内部・外部仮設計画図	１：２００			

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	図面リスト		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	－	図面番号	A-00
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

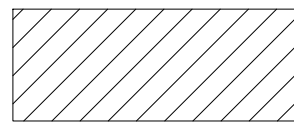
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項			
6 塗装改修工事	①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7. 1. 2～3] 屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7. 1. 8] 監督職員と協議する。	8 環境配慮（グリーン）改修工事	①一般事項	アスベスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9. 1. 3] ・ 封じ込め処理 ・ 囲い込み処理除去工法 ・ 除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ・ 図示 分析によるアスベスト (7747/41、7747/41、7747/41、7747/41、7747/41) 含有の調査 ・ 行う (下表による) ・ 行わない 吹付アスベストの施工数量調査を行う。 [1. 6. 2] アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 測定場所 測定点数 備考 (各処理工区毎) 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 2又は3点 全工区共通 処理作業中 施工区画周辺又は敷地境界 2点 全工区共通 処理作業中 セキュリティゾーン入口 1点 空気の流れを確認 負圧・除塵装置の排出口 (処理作業室外の場合) 1点 除塵装置の性能確認 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 処理作業後 処理作業室内 2点 (閉鎖シート 撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 (注) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。 建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事である。 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 関係官公署に届出を行う。 ・ 大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・ 労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。	6 外断熱改修工事	断熱材の種類 [9. 2. 2] 材料名 厚さ (mm) ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム ・ ロックウール ・ グラスウール 外装材の種類 [9. 2. 2] 防火性能 既存外壁仕上材の除去 ・ 有り ・ 無し [9. 2. 3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・ 有り (mm) ・ なし [9. 2. 4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。 特記事項は図示 [9. 4. 1～4] 路盤材料 [9. 5. 4] [表9. 5. 3] ※再生クラッシュラン (R0-40) ・ クラッシュラン (0-40) 又はクラッシュラン鉄鋼スラグ (GS-40) 透水性の高いものを使用する。 フィルター層及び凍上抑制層の材料 [9. 5. 3] ・ フィルター層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン 切込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 [9. 5. 3] [表8. 28. 1] ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 路床安定処理 [9. 5. 3] [表9. 5. 2] ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 高炉セメントB種 ・ 生石灰 () ・ 消石灰 () 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う 表層 アスファルト混合物 [9. 5. 5] [9. 5. 6] [表9. 5. 5～6] 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性舗装 [9. 5. 9] 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う 表層の切取り試験 ※行わない ・ 行う	3 合成樹脂調合ペイント塗り (SP)	②地下調整 [7. 2. 1～7] [表7. 2. 1～7] 下地面の種類 下地調整の種別 備考 木部 ・ RA種 ※B種 新規図はRA種 鉄鋼面 ・ RA種 ※B種 垂れめっき鋼面 ・ RA種 ※B種 モルタル、プラスチック面 ・ RA種 ※B種 コンクリート、ALC及び押出成形 ・ RA種 ※B種 セメント板面 ・ RA種 ※B種 ゼツこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ※B種 既存下地面等のひび割れ部補修 [表7. 2. 5～6] ※行う ・ 行わない ※禁止め JIS K 5674 [7. 5. 2～4] [表7. 5. 1～3] 下地の種類 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 木部 ・ A種 ※B種 ※B種 下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516 鉄鋼面 ・ A種 ※B種 ※B種 穴埋め及びパテかけ JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516 [7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] 下地の種類 上塗りの等級 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 鉄鋼面 ①級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 垂れめっき面 ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 コンクリート ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ・ A種 ・ B種 ※C種 ・ A種 ・ B種 ※C種 JIS K 5658 鉄鋼面、垂れめっき面 下塗り JASS 18 M-109、JIS K 5552 コンクリート、押出成形セメント板面 下塗り JASS 18 M-201 [7. 9. 2～5] [表7. 9. 1～4] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660 [7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663 [7. 11. 2] [表7. 11. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502 [7. 12. 2] [表7. 12. 1] ワトコオイル製品同等品とする。 [7. 13. 2] [表7. 13. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307	②アスベスト含有吹付材囲い込み工事	③アスベスト含有外壁仕上げ材の除去 [9. 1. 5] 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 プレキャスト 12 雨樋への勾配根 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。 吹付アスベストの施工数量調査を行う。 [1. 6. 2] アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 測定場所 測定点数 備考 (各処理工区毎) 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業中 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 アスベスト含有外壁仕上げ材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ・ 部分除去 ②局部除去 アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事であること。 (剝離剤併用手工具ケレン工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(兼任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(兼任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。
	②地下調整	[7. 2. 1～7] [表7. 2. 1～7] 下地面の種類 下地調整の種別 備考 木部 ・ RA種 ※B種 新規図はRA種 鉄鋼面 ・ RA種 ※B種 垂れめっき鋼面 ・ RA種 ※B種 モルタル、プラスチック面 ・ RA種 ※B種 コンクリート、ALC及び押出成形 ・ RA種 ※B種 セメント板面 ・ RA種 ※B種 ゼツこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ※B種 既存下地面等のひび割れ部補修 [表7. 2. 5～6] ※行う ・ 行わない ※禁止め JIS K 5674 [7. 5. 2～4] [表7. 5. 1～3] 下地の種類 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 木部 ・ A種 ※B種 ※B種 下塗り JASS 18 M-304 中塗り及び上塗り JIS K 5516 鉄鋼面 ・ A種 ※B種 ※B種 穴埋め及びパテかけ JASS 18 M-110 中塗り及び上塗り JIS K 5516 [7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] 下地の種類 上塗りの等級 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 鉄鋼面 ①級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 垂れめっき面 ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 コンクリート ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ・ A種 ・ B種 ※C種 ・ A種 ・ B種 ※C種 JIS K 5658 鉄鋼面、垂れめっき面 下塗り JASS 18 M-109、JIS K 5552 コンクリート、押出成形セメント板面 下塗り JASS 18 M-201 [7. 9. 2～5] [表7. 9. 1～4] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660 [7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663 [7. 11. 2] [表7. 11. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502 [7. 12. 2] [表7. 12. 1] ワトコオイル製品同等品とする。 [7. 13. 2] [表7. 13. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307		③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	③アスベスト含有外壁仕上げ材の除去 [9. 1. 5] 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 プレキャスト 12 雨樋への勾配根 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。 吹付アスベストの施工数量調査を行う。 [1. 6. 2] アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 測定場所 測定点数 備考 (各処理工区毎) 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業中 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 アスベスト含有外壁仕上げ材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ・ 部分除去 ②局部除去 アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事であること。 (剝離剤併用手工具ケレン工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(兼任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(兼任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。						
	③耐候性塗料塗り (DP)	[7. 8. 2～4] [表7. 8. 1～3] 下地の種類 上塗りの等級 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備考 鉄鋼面 ①級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 垂れめっき面 ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ※A種 ・ B種 ・ A種 ※B種 JIS K 5659 コンクリート ・ 1級 ・ 2級 ※3級 ・ A種 ・ B種 ※C種 ・ A種 ・ B種 ※C種 JIS K 5658 鉄鋼面、垂れめっき面 下塗り JASS 18 M-109、JIS K 5552 コンクリート、押出成形セメント板面 下塗り JASS 18 M-201 [7. 9. 2～5] [表7. 9. 1～4] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660 [7. 10. 2] [表7. 10. 1] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663 [7. 11. 2] [表7. 11. 1] ・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502 [7. 12. 2] [表7. 12. 1] ワトコオイル製品同等品とする。 [7. 13. 2] [表7. 13. 1] ・ A種 ※B種 JASS 18 M-307		③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	③アスベスト含有外壁仕上げ材の除去 [9. 1. 5] 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 プレキャスト 12 雨樋への勾配根 施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。 調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。 (3) アスベスト成形板使用数量の確認。 吹付アスベストの施工数量調査を行う。 [1. 6. 2] アスベスト粉塵濃度測定 ※行う 測定時期及び場所等については下表による。 測定時期 測定場所 測定点数 備考 (各処理工区毎) 処理作業前 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業中 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 アスベスト含有外壁仕上げ材の除去に先立つ試験の一部除去作業の方法 (1) 試験的除去の施工箇所は監督職員の指示による。施工面の範囲は口500mm程度とする。 (2) 試験的除去は剝離剤併用手工具ケレン工法にて実施。 アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ・ 部分除去 ②局部除去 アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1) 部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。 (2) 建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 なお、飛散防止処理工法の種別は除去処理工事であること。 (剝離剤併用手工具ケレン工法同等とすること) (3) 除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 (4) アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(兼任) 石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。 (5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(兼任) (6) アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。 (7) 関係官公署に届出を行う。 (大気汚染防止法―松戸市環境保全課 労働安全衛生法―柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。						
	5 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-Q)	[7. 9. 2～5] [表7. 9. 1～4] 新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 塗り替えの種別 ・ A種 ※B種 下塗り JIS K 5663 中塗り及び上塗り JIS K 5660		③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	9 その他	1 舗装工事 [22. 5. 3] [表22. 5. 1] 歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ 設計基準強度 (N/mm ²) 所定のスランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm) 車道及び駐車場 24 8 砂利の場合25又は40 砕石の場合20又は25 歩行者用通路 18 8 砂利の場合25 砕石の場合20 砂利敷き [22. 9. 2] [表22. 9. 1] 種別 ・ A種 ・ B種 植樹 [23. 3. 2] 樹 種 寸 法 数 量 備 考 ・ メッシュフェンス ○○機 ○○ 同等品とする。 ・ 目隠しフェンス ○○機 ○○ 同等品とする。 ・ ○○機 ○○ 同等品 とする。					
	6 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	新規の塗りの種別 ・ A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗り JIS K 5663		③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	2 植栽工事						
7 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・ A種 ※B種 1液形 JASS 18 M-301 2液形 JASS 18 M-502	③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	3 外構工事								
8 スティン塗り (ST)	ワトコオイル製品同等品とする。	③アスベスト含有吹付材囲い込み工事	4 下足入れ								
9 木材保護塗料塗り (MP)	・ A種 ※B種 JASS 18 M-307	③アスベスト含有吹付材囲い込み工事									
耐震改修工事	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。	③アスベスト含有外壁仕上げ材の除去									

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	改修工事特記仕様書4		
作成年月日	令和7年4月 日	変更年月日	
縮 尺		図面番号	A-4
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



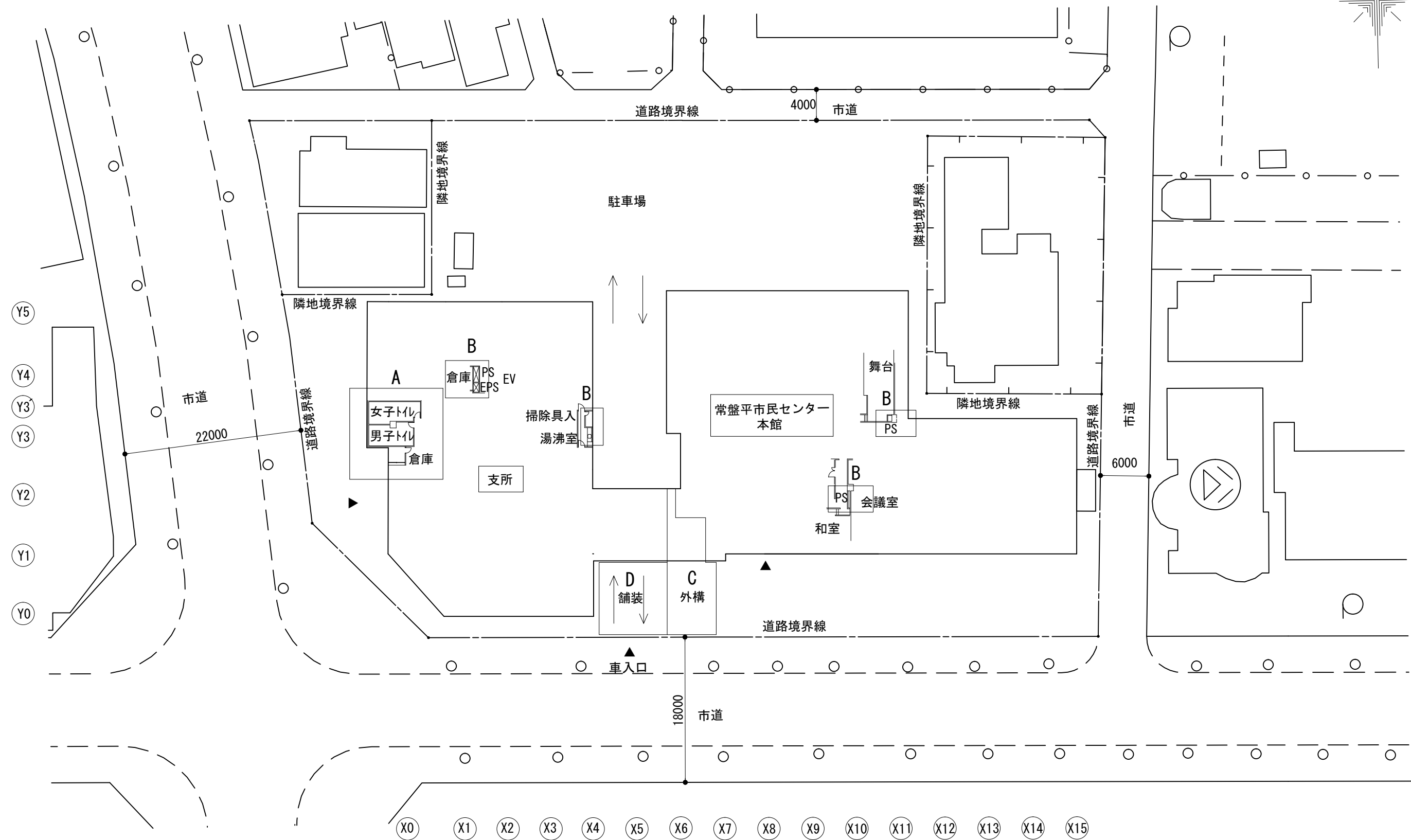
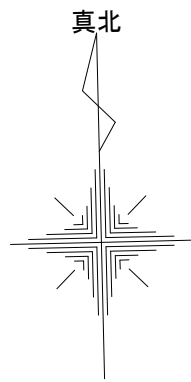
松戸市常盤平三丁目30番地

<凡例>



: 工事場所を示す

案内図 S=1:2500



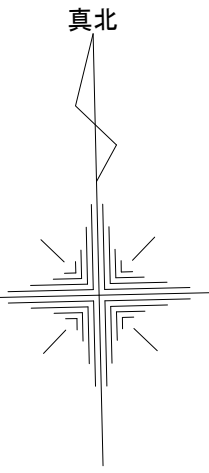
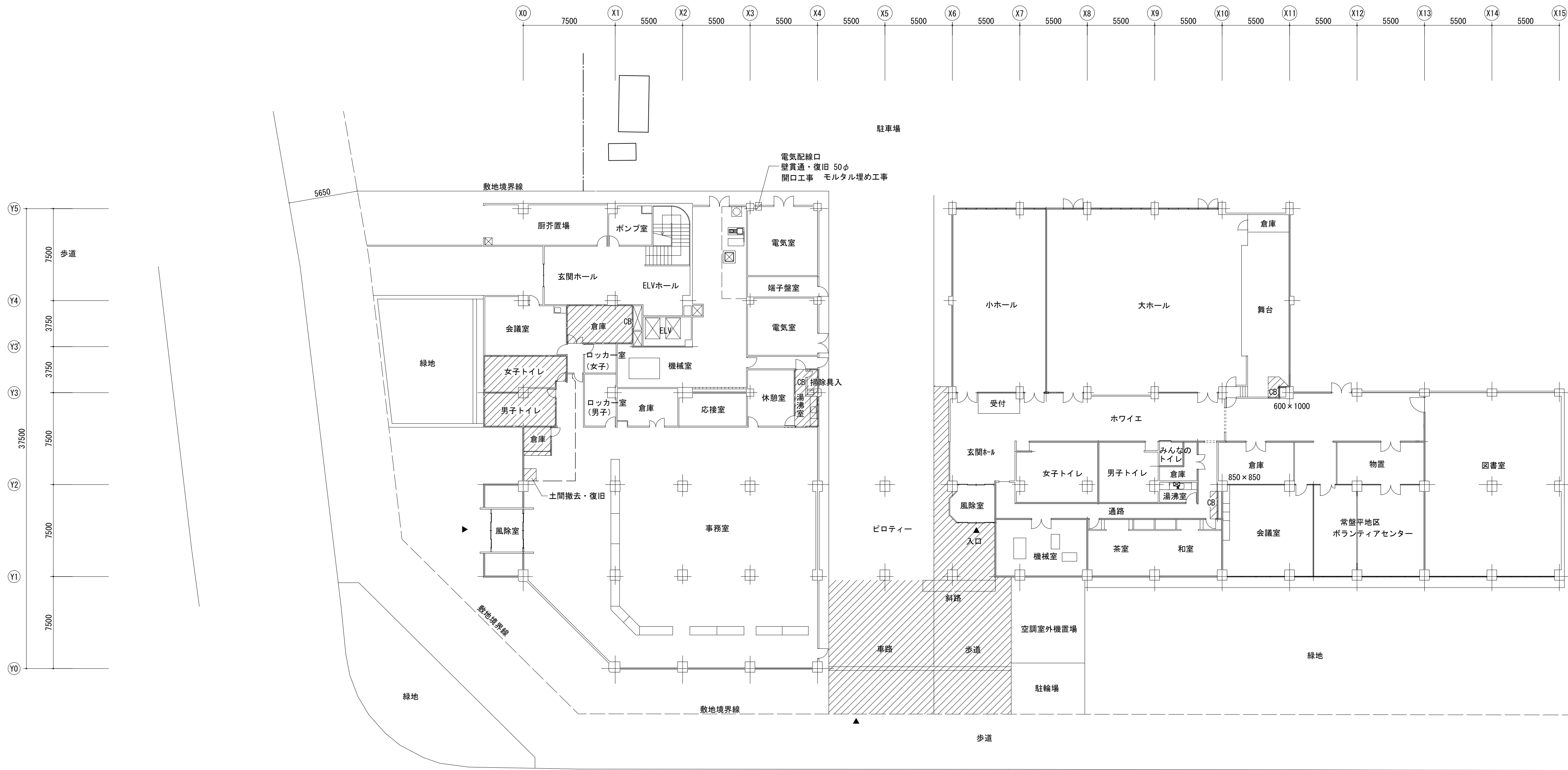
<凡例>



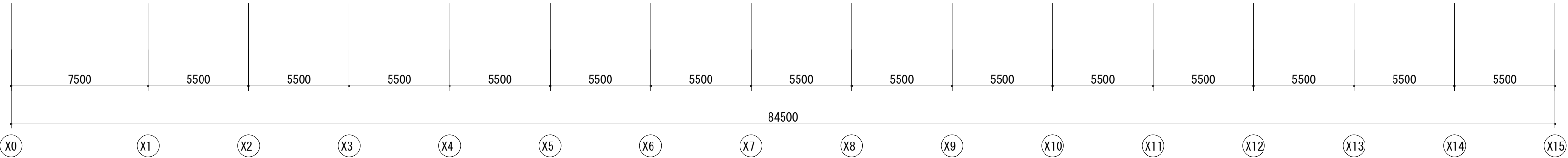
: 工事箇所を示す
A (トイレ改修)
B (既存ブロック壁撤去改修)
C (外構改修)
D (車道舗装改修)

配置図 S=1:500

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 500 1 : 2500	図面番号	A-05
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久		
	一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

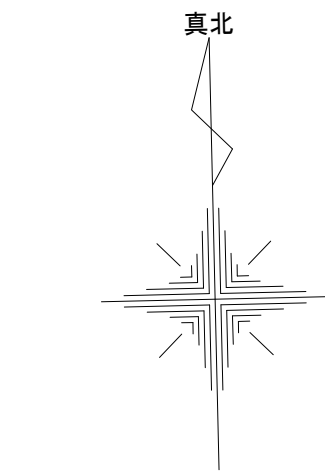
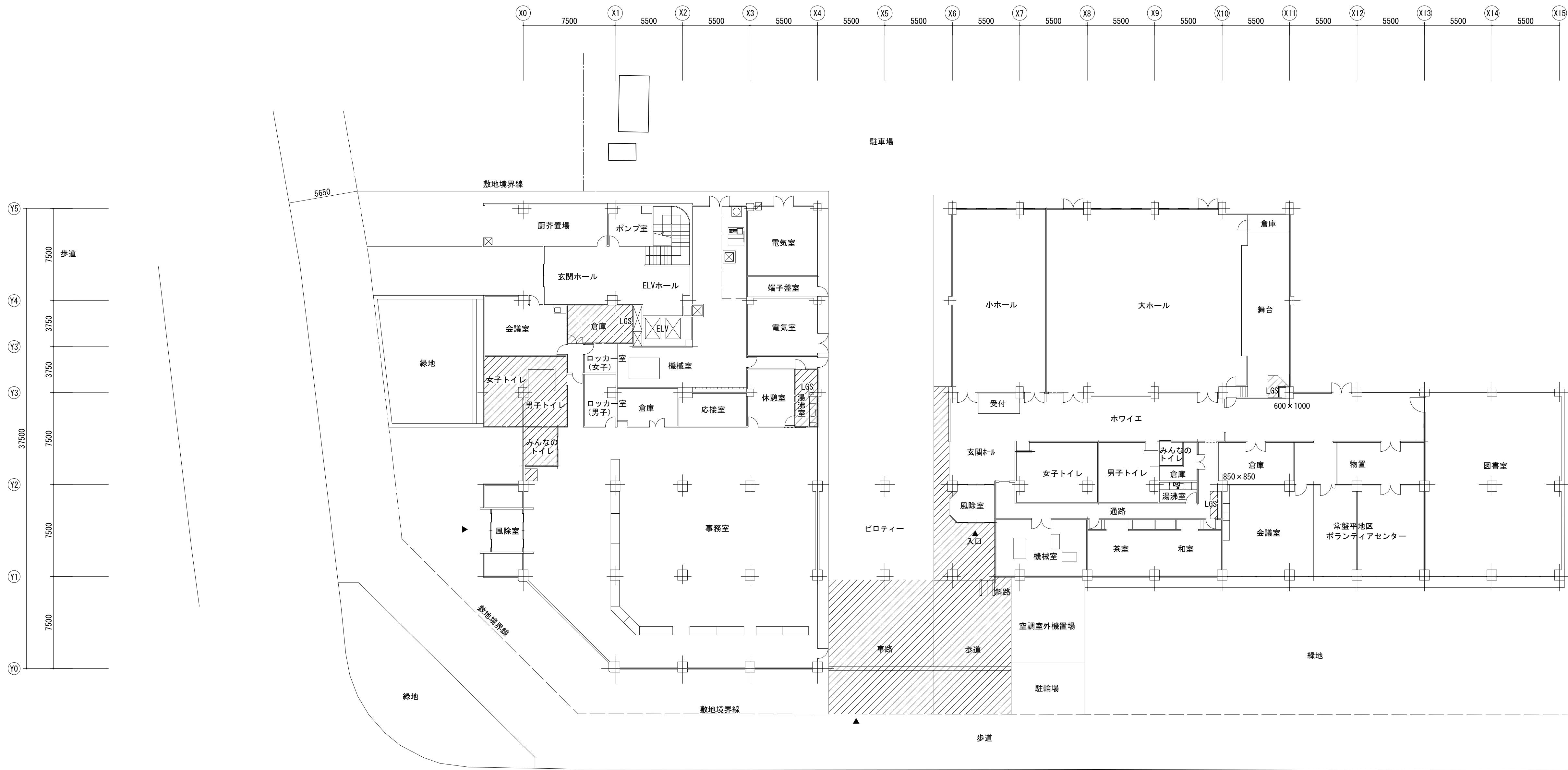


改修場所を示す



(改修前) 1階平面図 S = 1 / 200

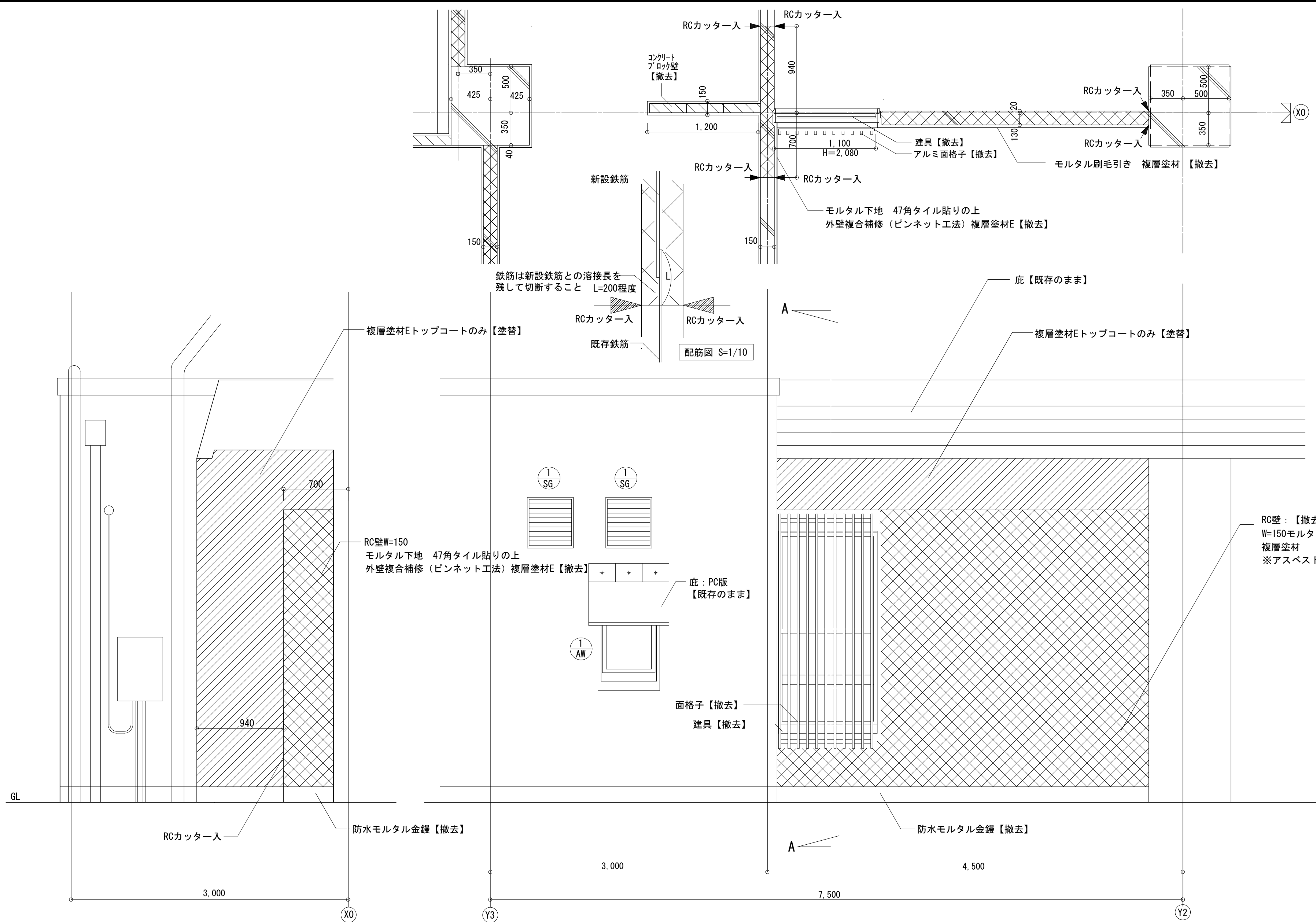
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前) 1階平面図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 200	図面番号	A-07
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



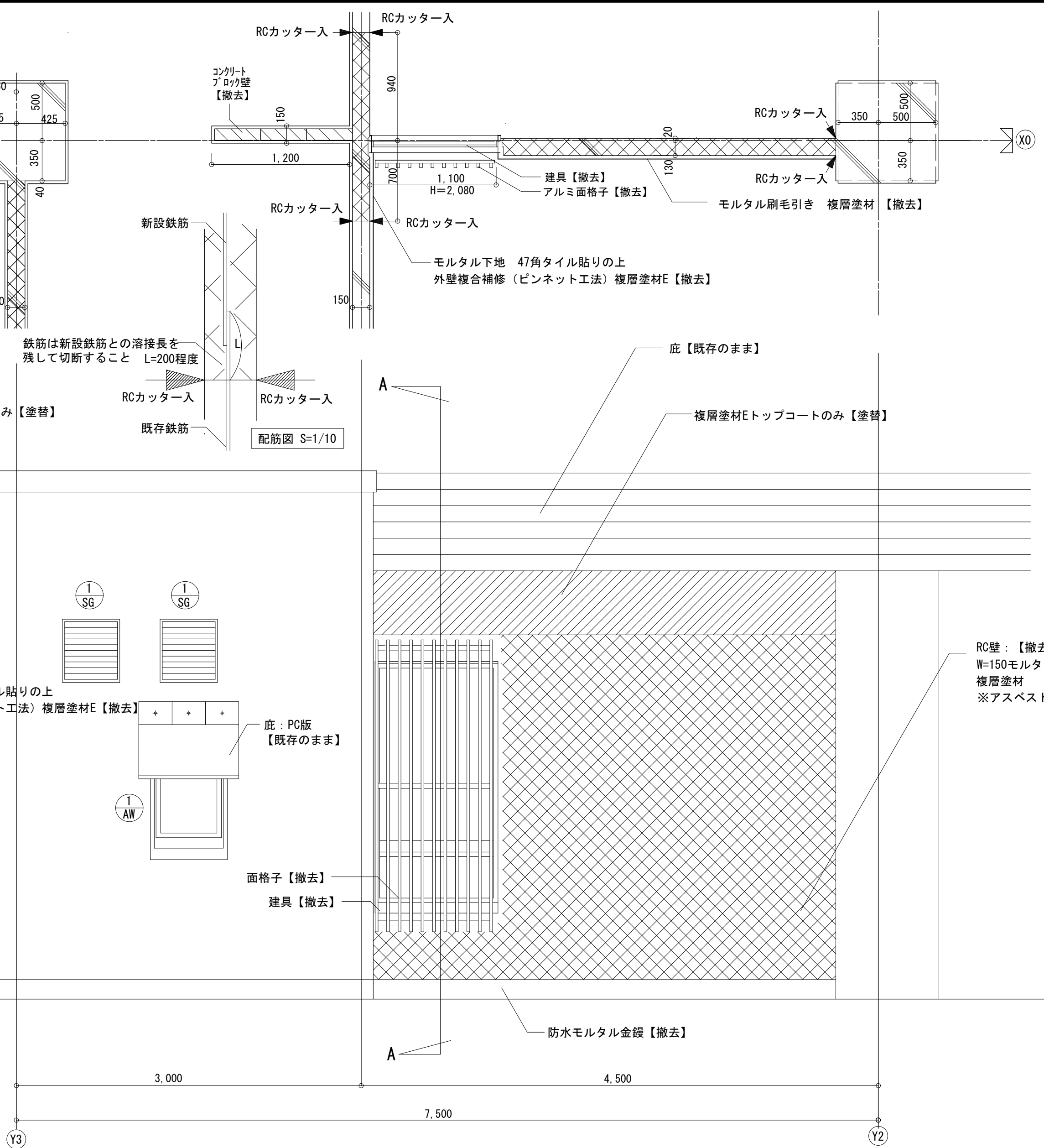
改修場所を示す

(改修後) 1階平面図 S = 1 / 200

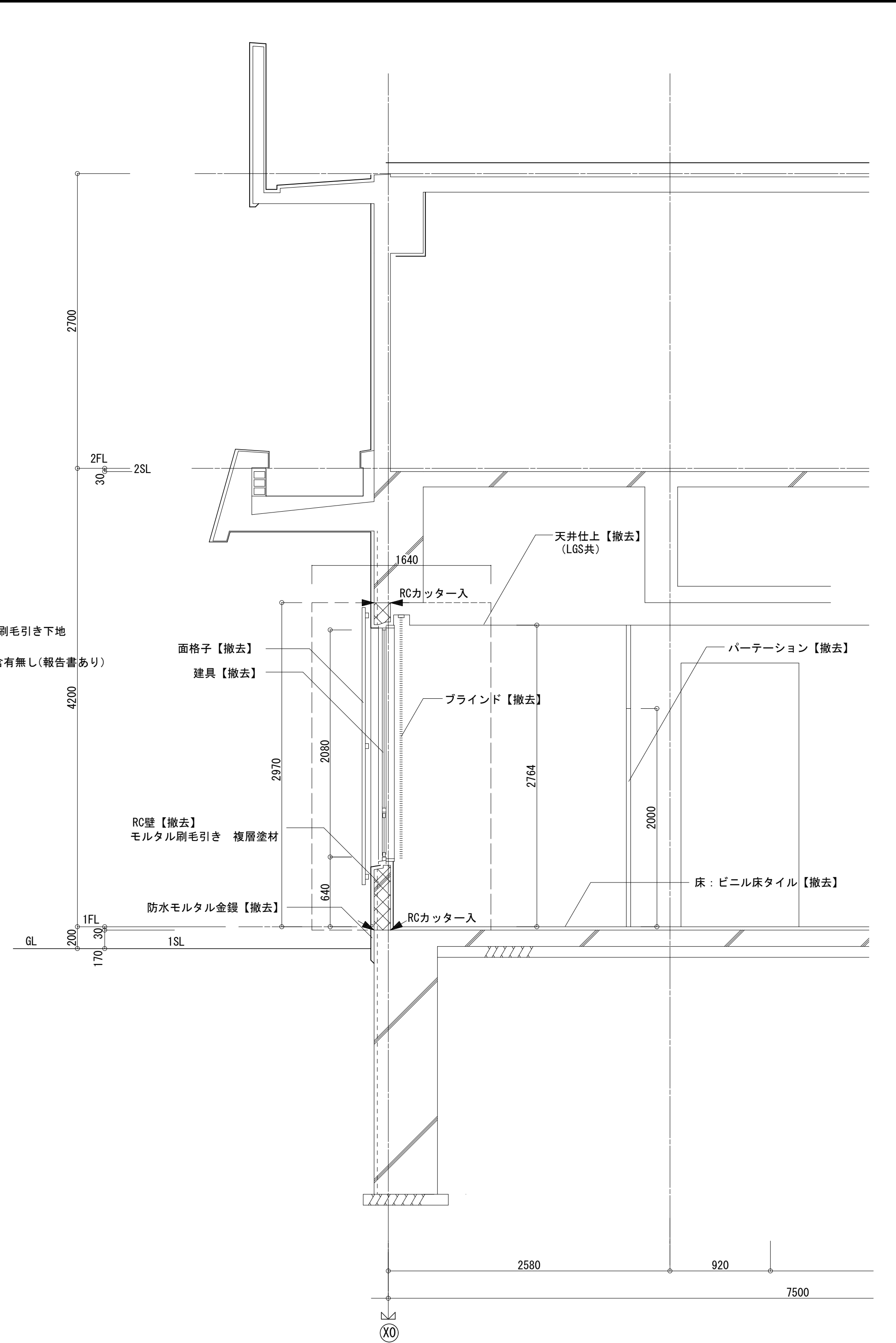
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修後) 1階平面図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 200	図面番号	A-08
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



(改修前) 便所南立面詳細図 S=1:30



(改修前) 倉庫立面詳細図 S=1:30

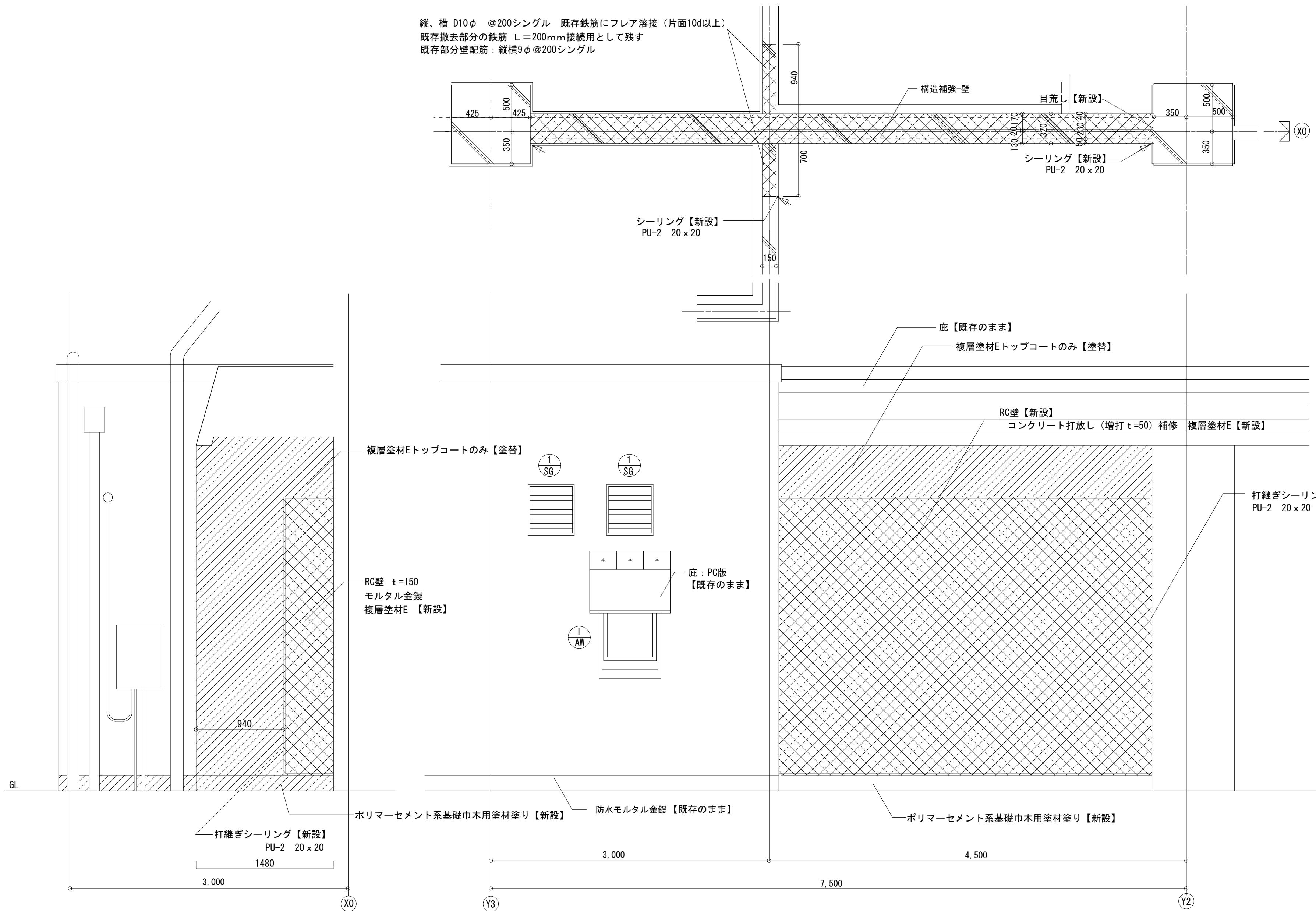


(改修前) 倉庫断面詳細図 S=1:30

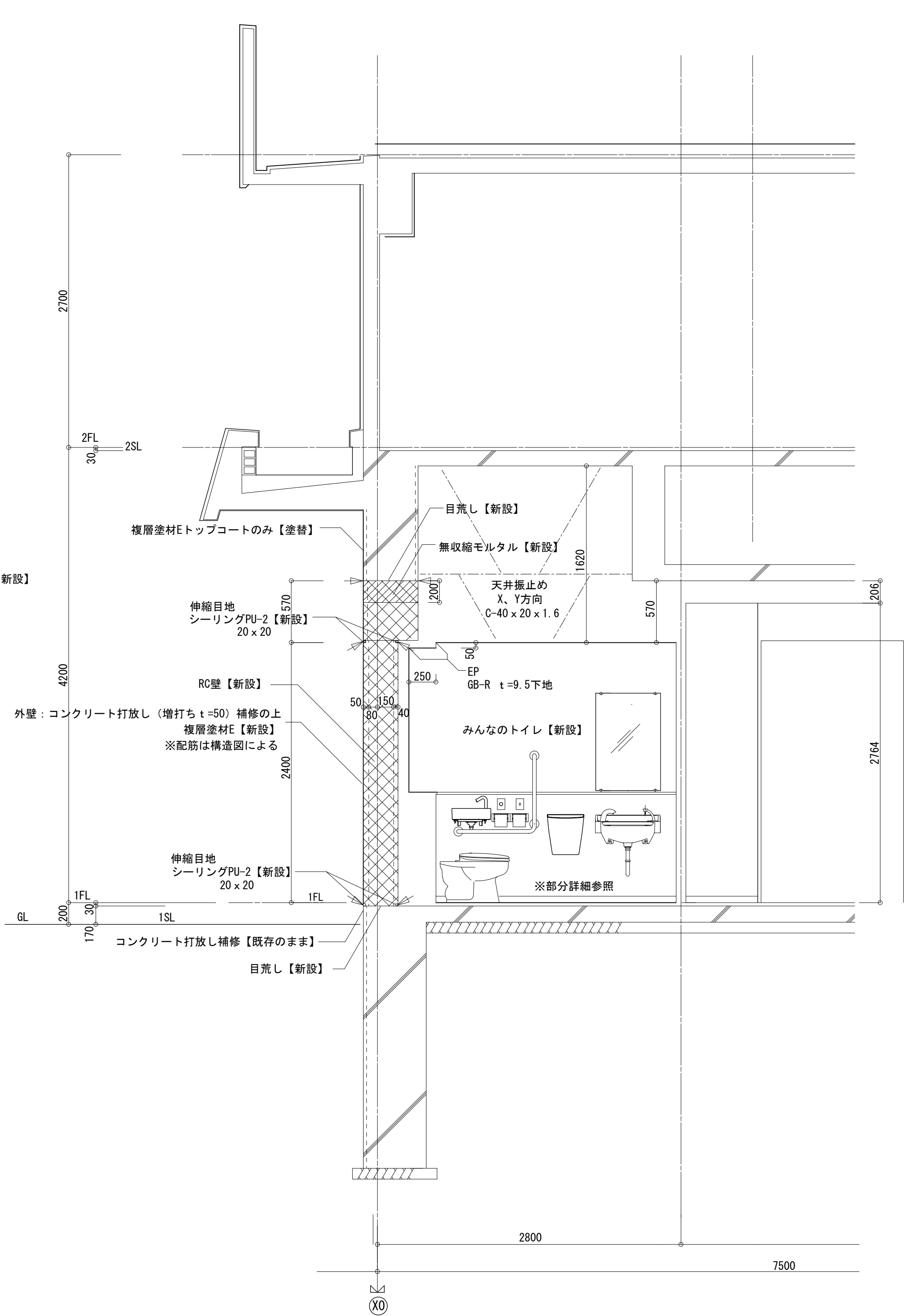
A-A 断面

1. 部分はRC壁撤去を示す
2. 部分はCB壁撤去を示す
3. 部分は塗替えの撤去を示す
4. ※全面撤去部はハッチングを省略する (共通)

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前) 倉庫、トイレ立面断面詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 30	図面番号	A-09
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



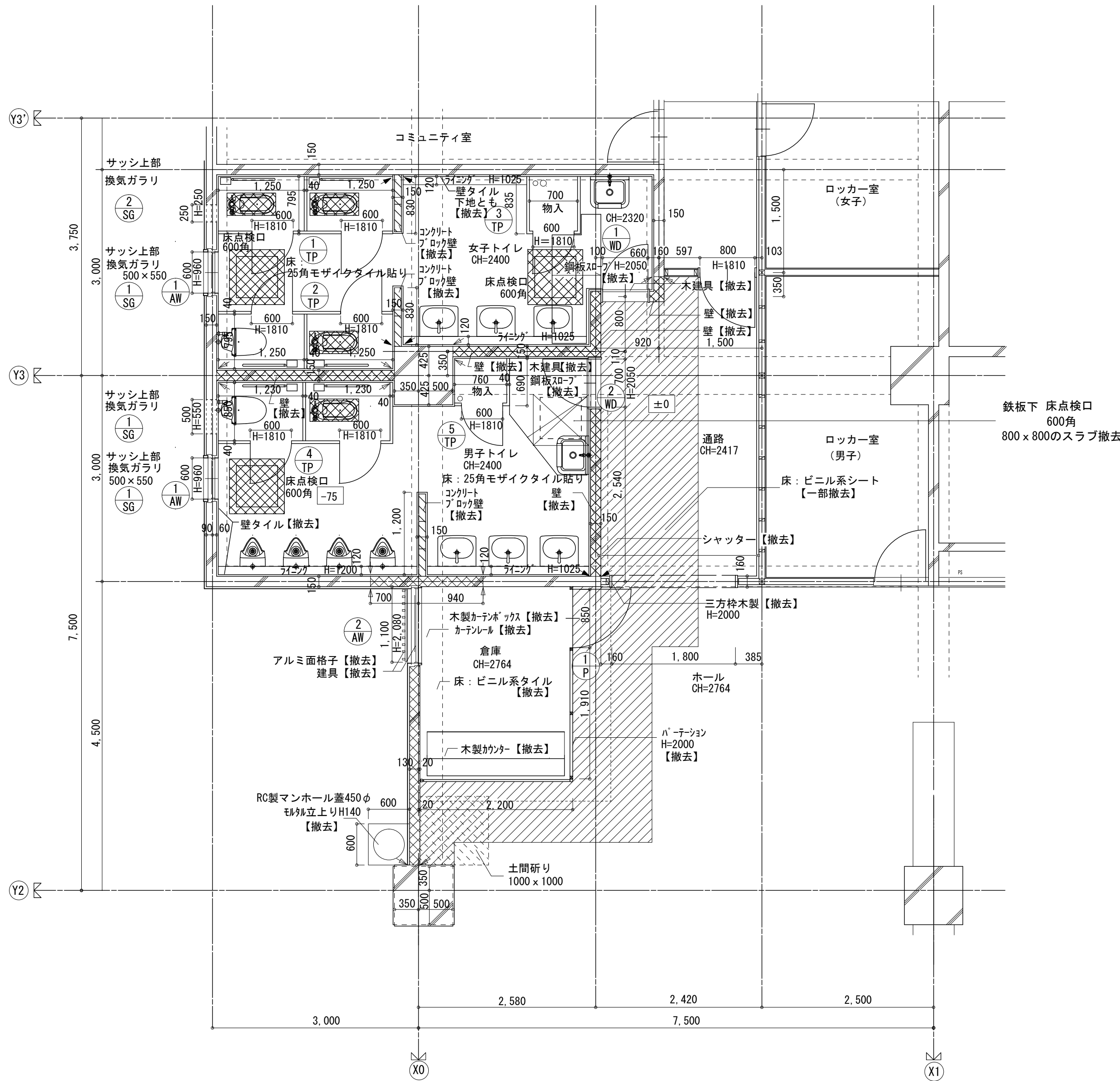
(改修後) 便所南立面詳細図 S=1:30



(改修後) 倉庫断面詳細図 S=1:30

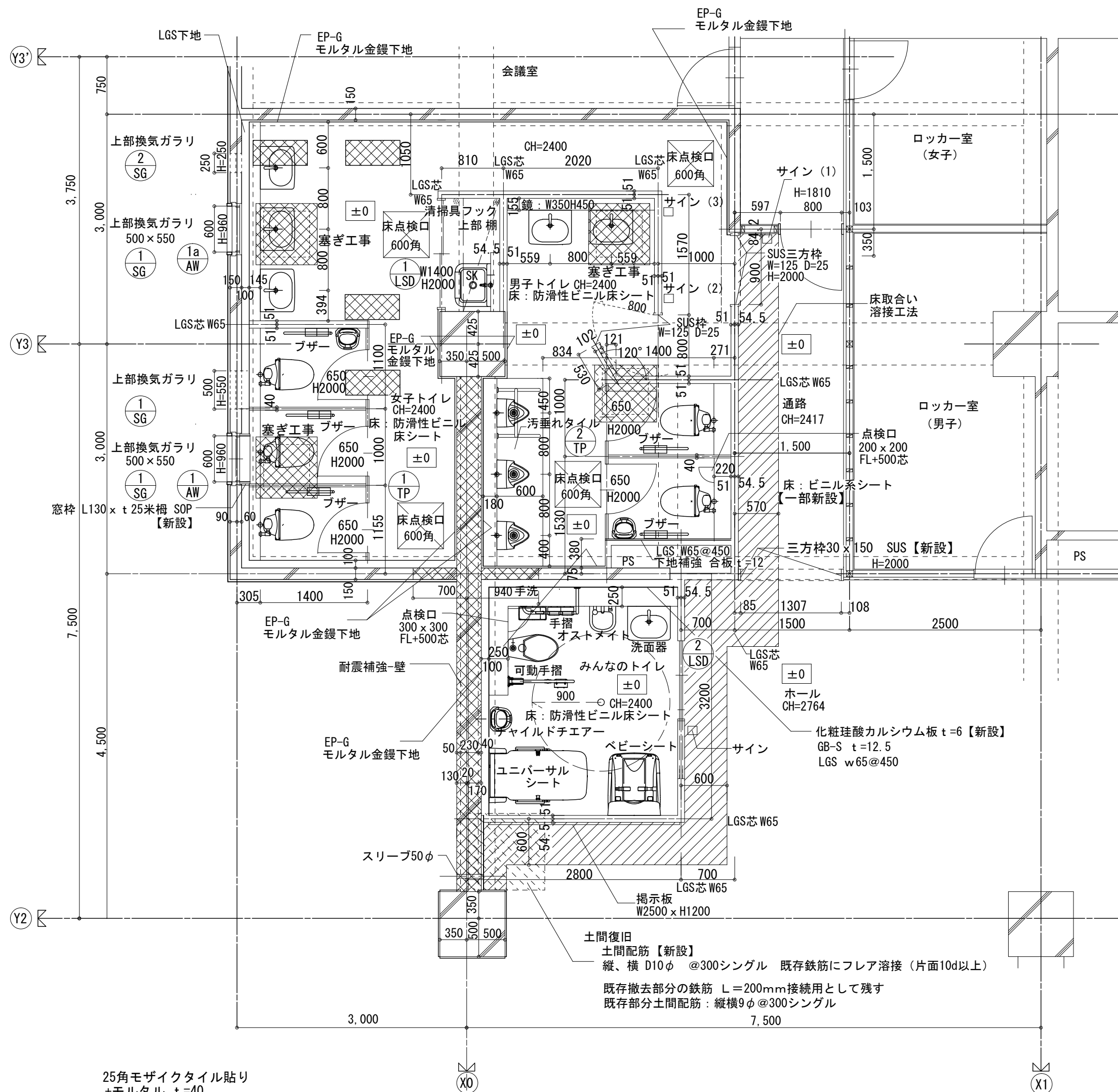
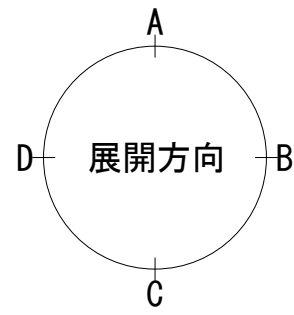
1. 衛生器具 (機械設備工事) トイレブース家具は全て新設とする
2. 部分はRC壁の新設を示す
3. 部分は仕上げの新設、塗替を示す
4. シーリング
5. ※全面撤去部はハッチングを省略する (共通)

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修後) 倉庫、トイレ立面断面詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 30	図面番号	A-10
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

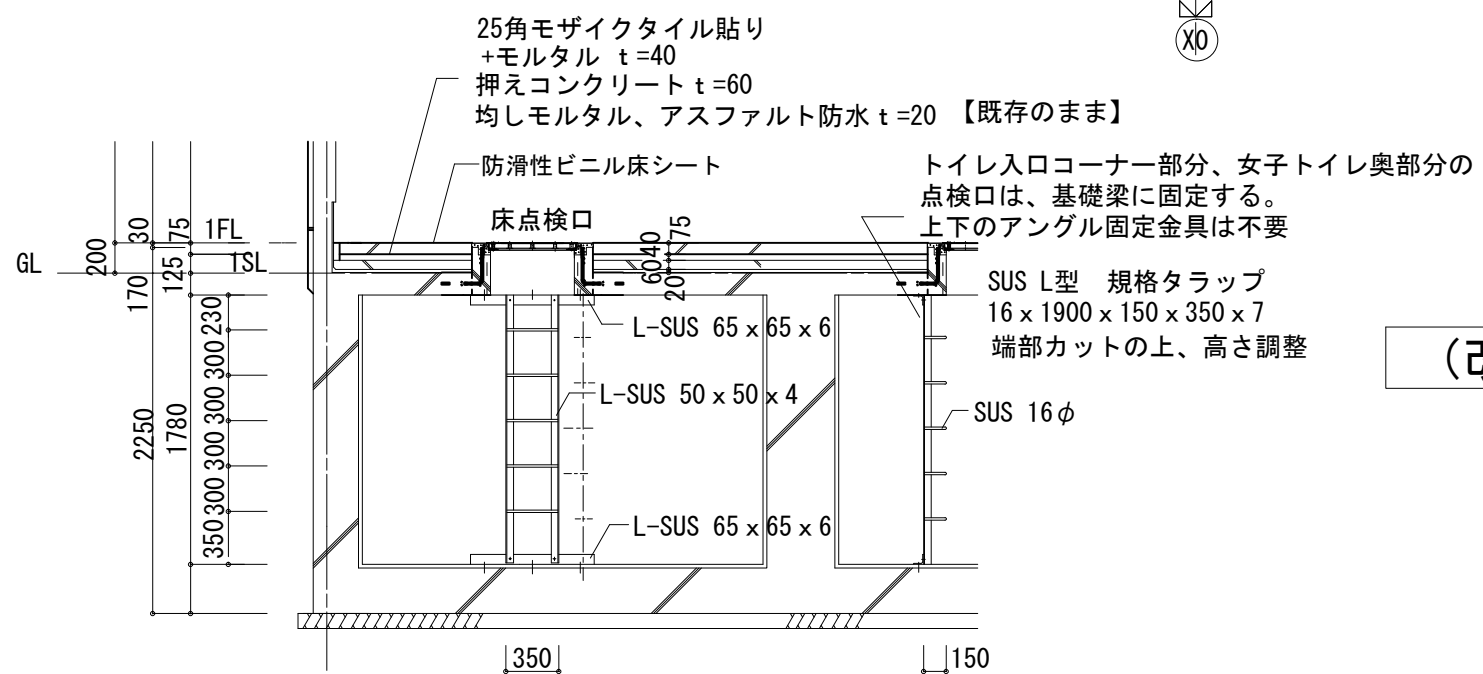


(改修前) トイレ平面詳細図 S=1:50

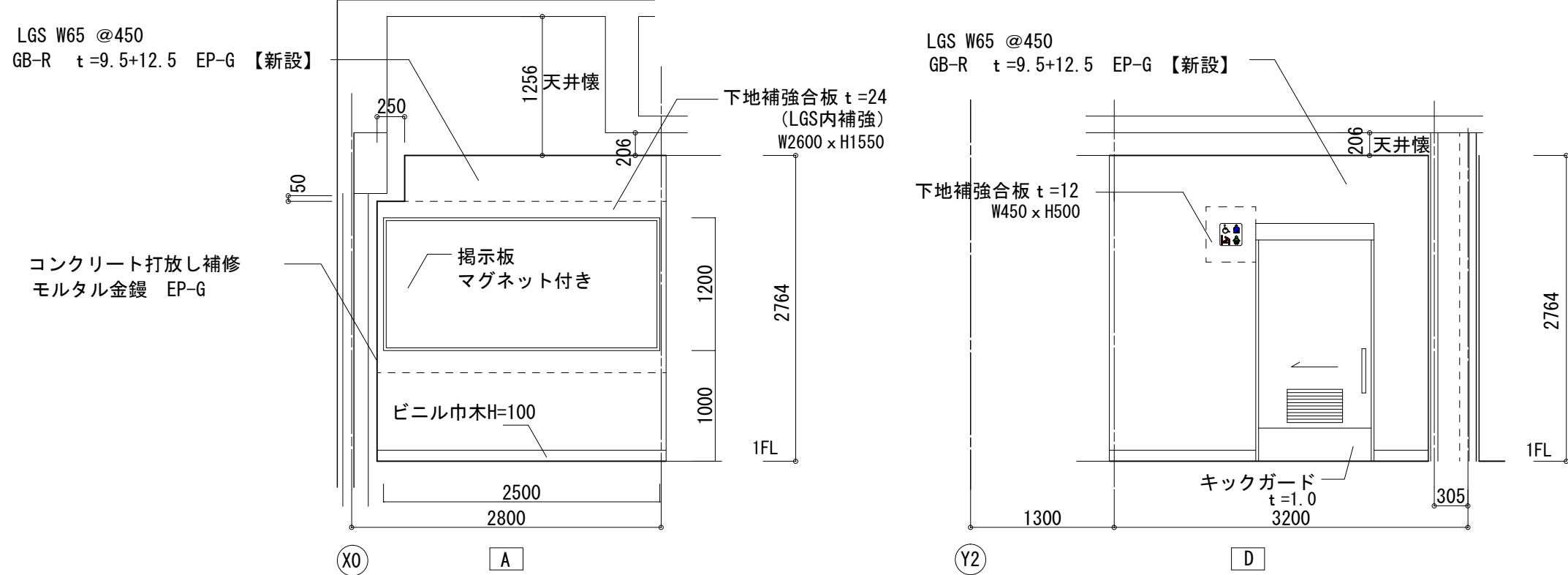
- 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
- 建具の改修内容は建具表に示す
- 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て撤去とする
- 部分はRC壁及びスラブ撤去を示す
- 部分はCB壁撤去を示す
- 部分はビニルシートの撤去を示す
- RCカッター入（RC面）
- モルタルカッター入（OBモルタル面）



(改修後) トイレ平面詳細図 S=1:50



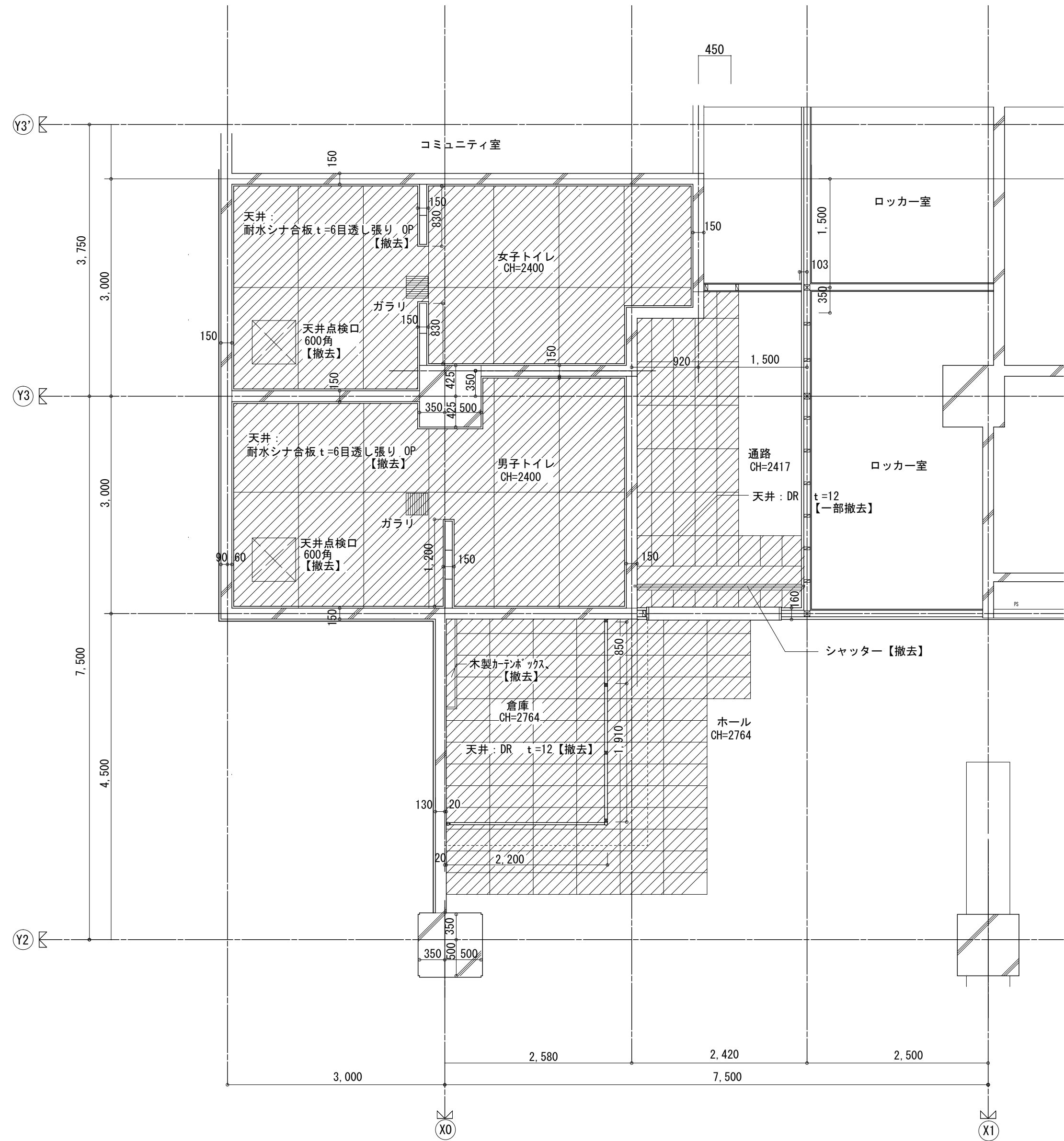
(改修後) タラップ詳細図 S=1:50



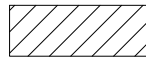
(改修後) みんなのトイレ ホール側展開図 S=1:50

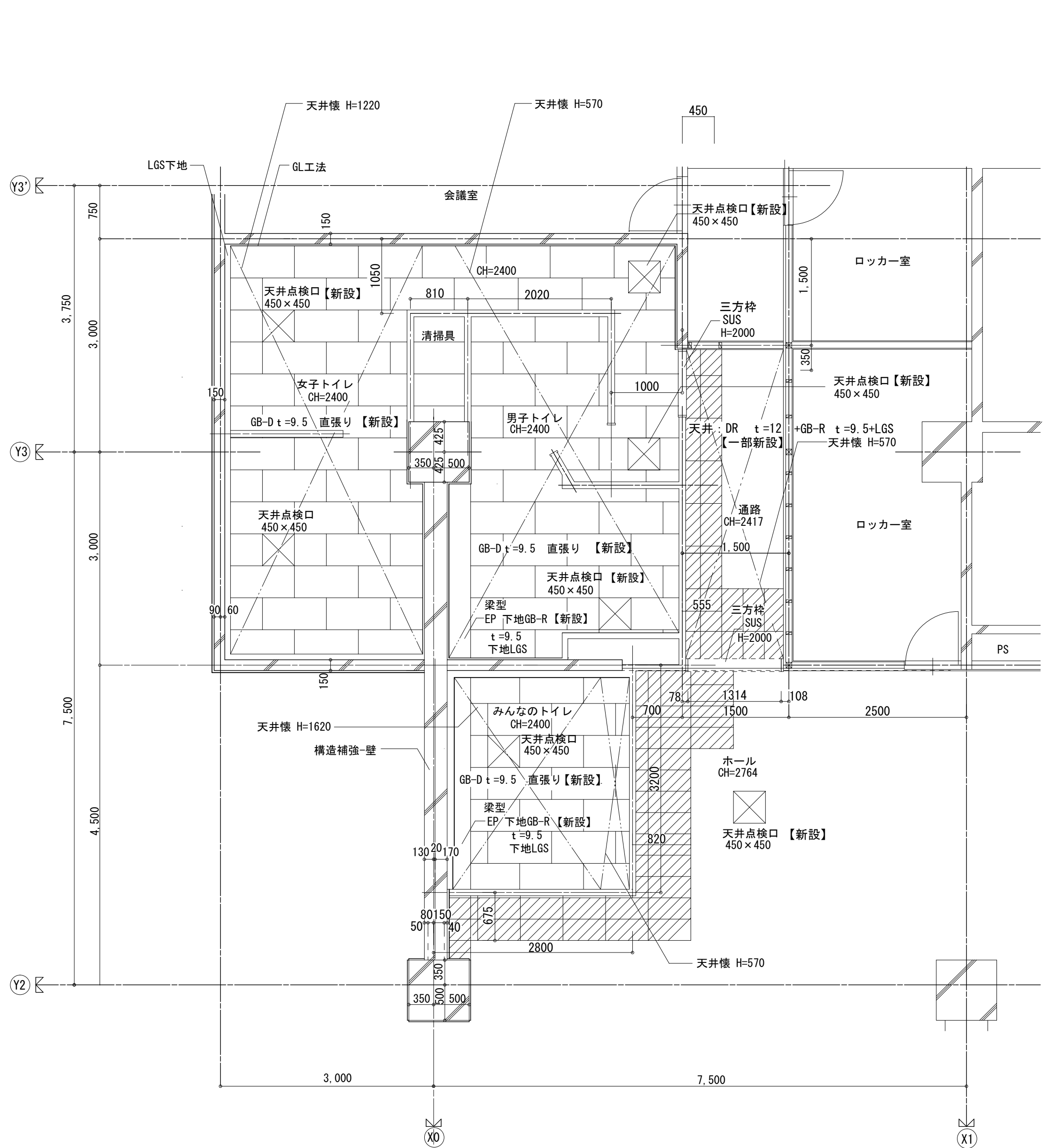
- 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
- 建具の改修内容は建具表に示す
- 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て新設とする
- 部分はRC壁及びスラブ新設を示す
- 部分は仕上げの新設を示す

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) トイレ平面詳細図 みんなのトイレ ホール側展開図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-11
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



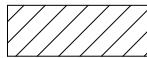
(改修前) トイレ天井伏図 S=1:50

1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3. 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て撤去とする
4.  部分は仕上撤去を示す ※女子トイレ、男子トイレ天井材塗料にアスベスト含む。レベル3
5.  RCカッター入（RC面）
6.  モルタルカッター入（CBモルタル面）

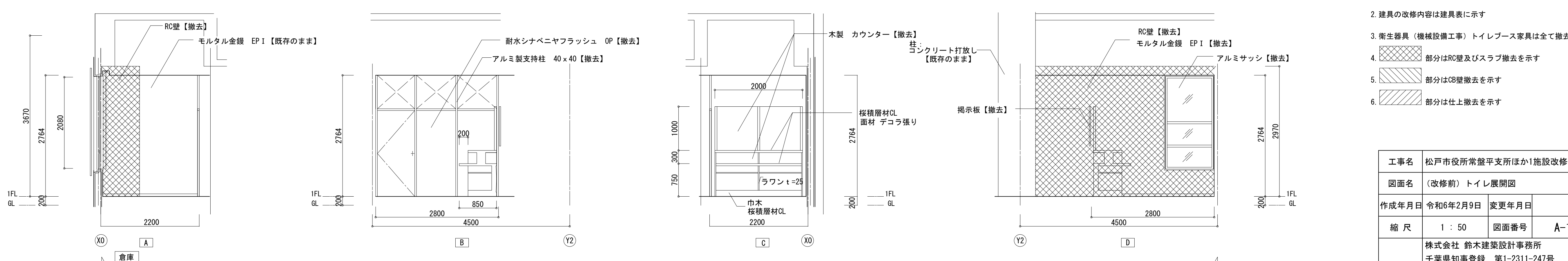
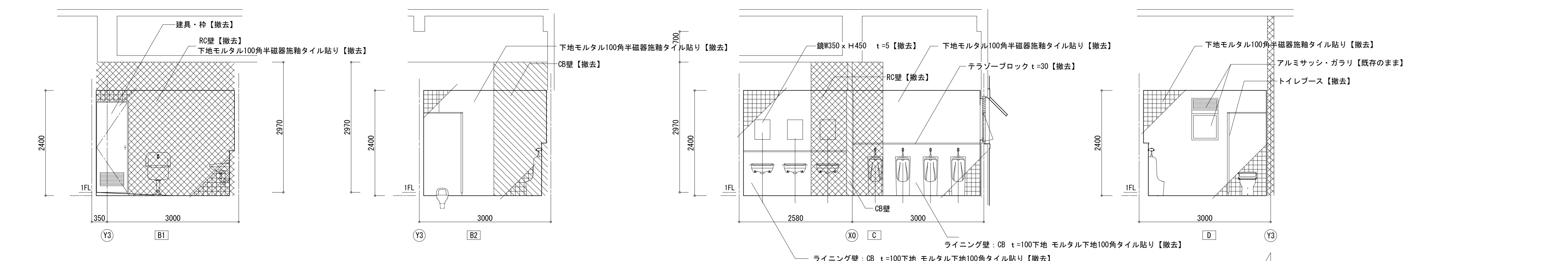
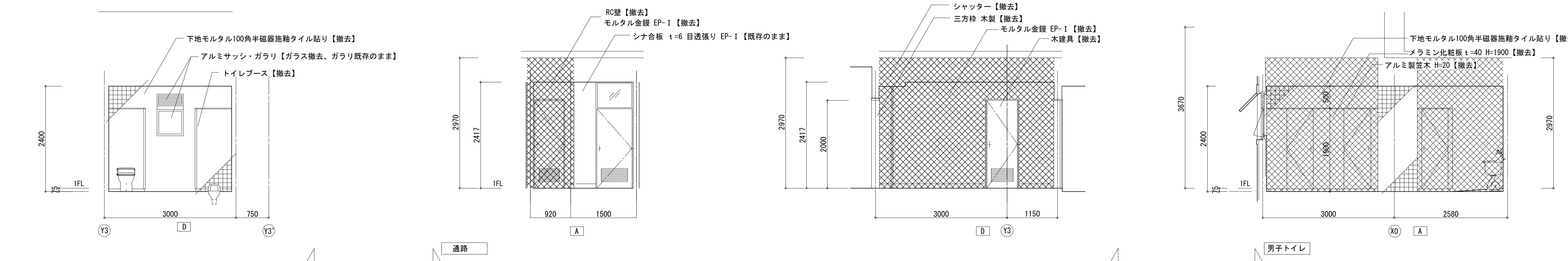
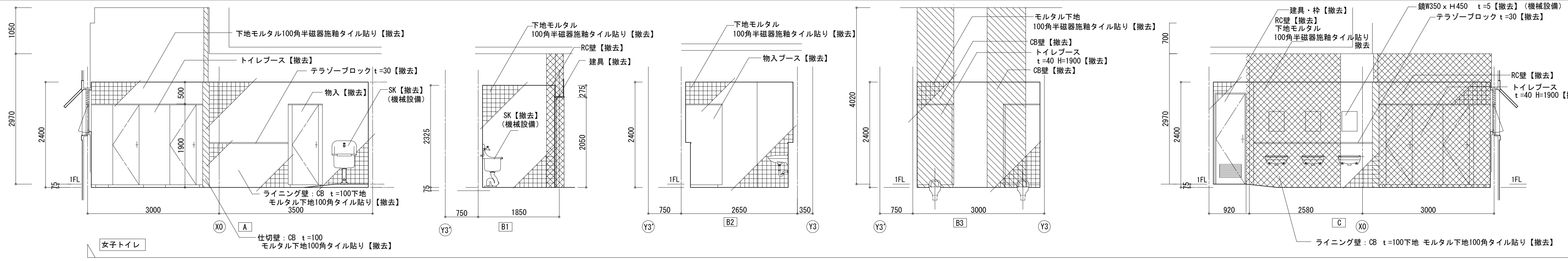


(改修後) トイレ天井伏図 S=1:50

- 埋込照明
- 電気のダウンライト用開口補強
- 女子トイレ：150角×8個
- 男子トイレ：150角×5個
- みんなのトイレ：150角×2個

1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3. 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て新設とする
4.  部分は仕上げの新設を示す 下地LGSも新設

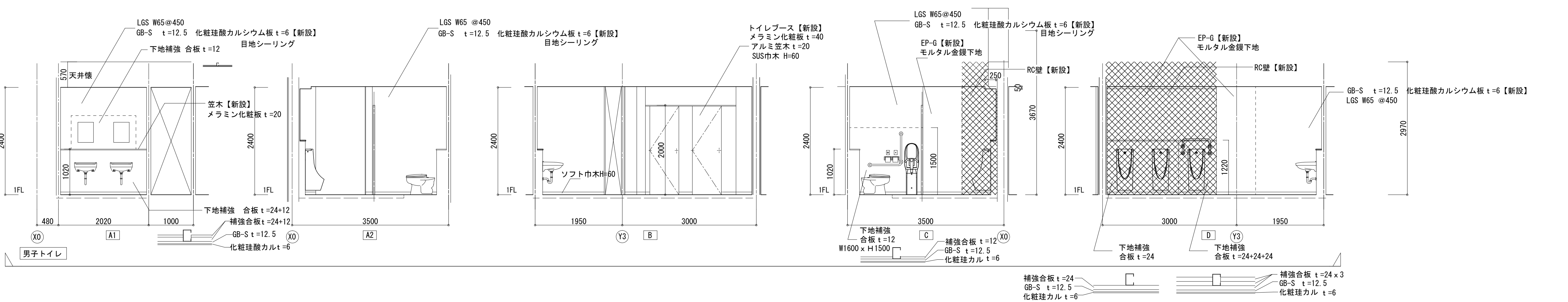
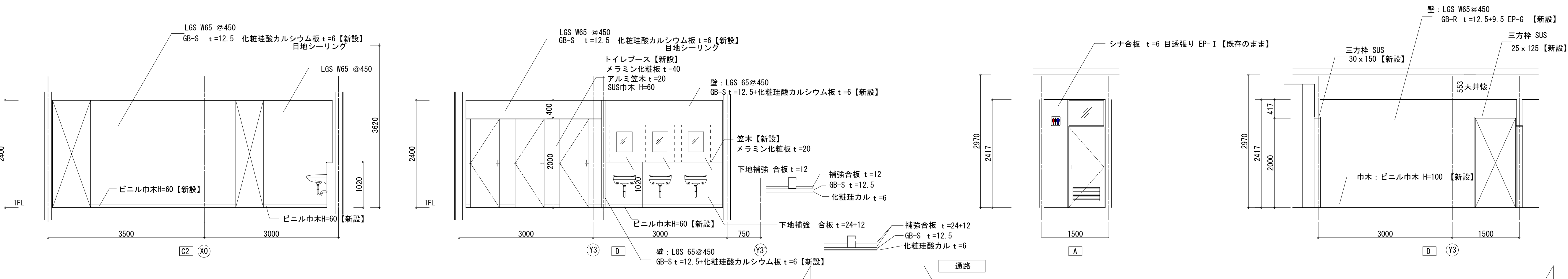
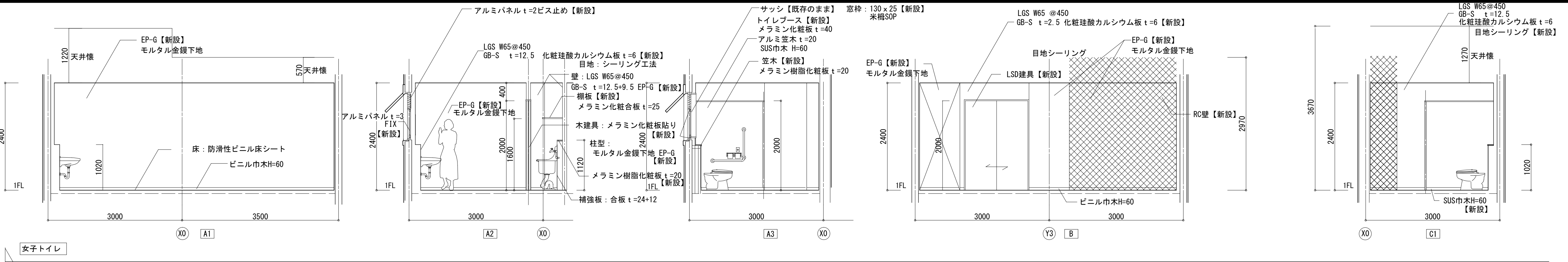
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) トイレ 天井伏図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-12
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3. 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て撤去とする
4. 部分はRC壁及びスラブ撤去を示す
5. 部分はCB壁撤去を示す
6. 部分は仕上撤去を示す

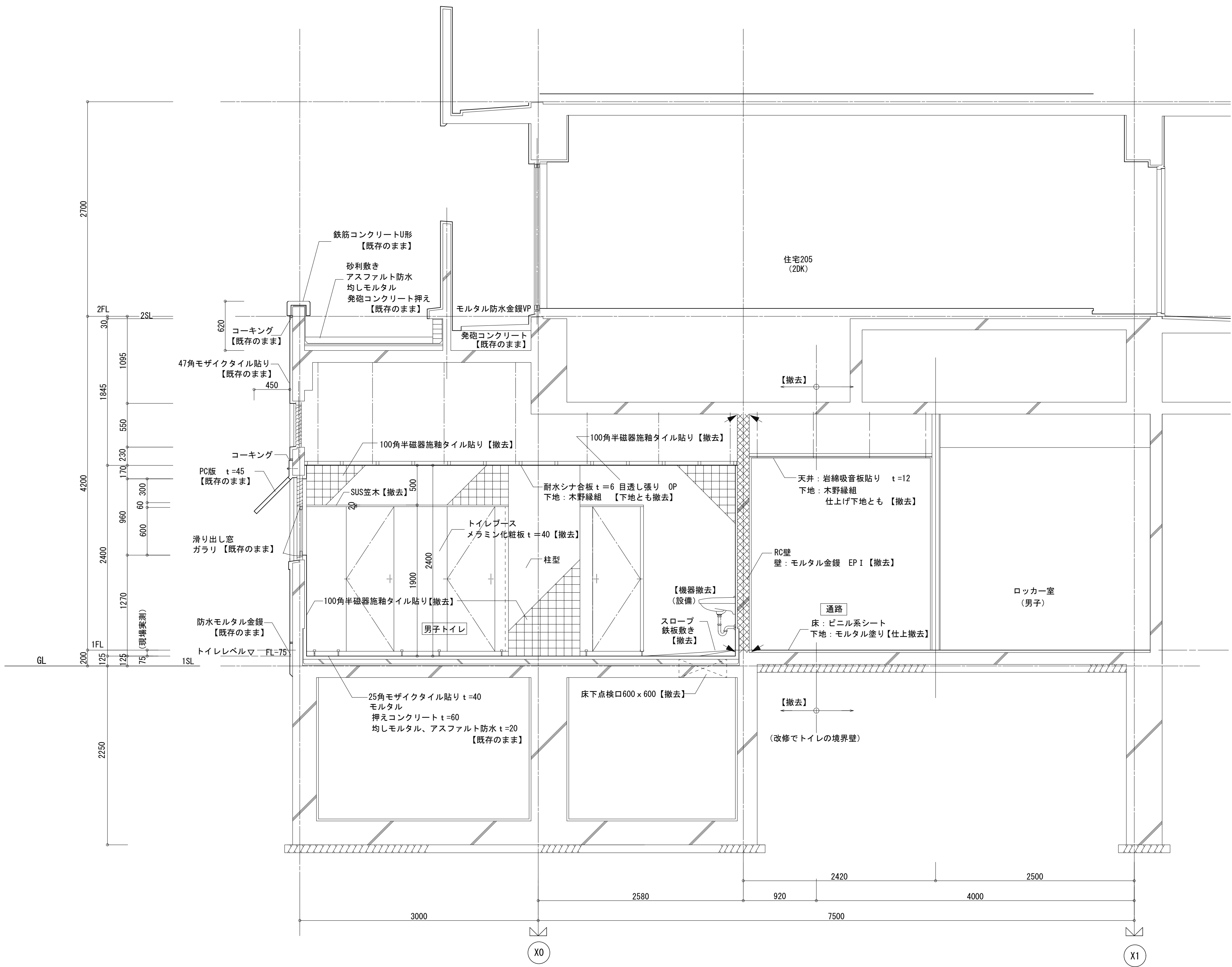
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前) トイレ展開図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-13
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

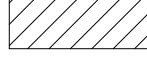
(改修前) トイレ展開図 S=1:50



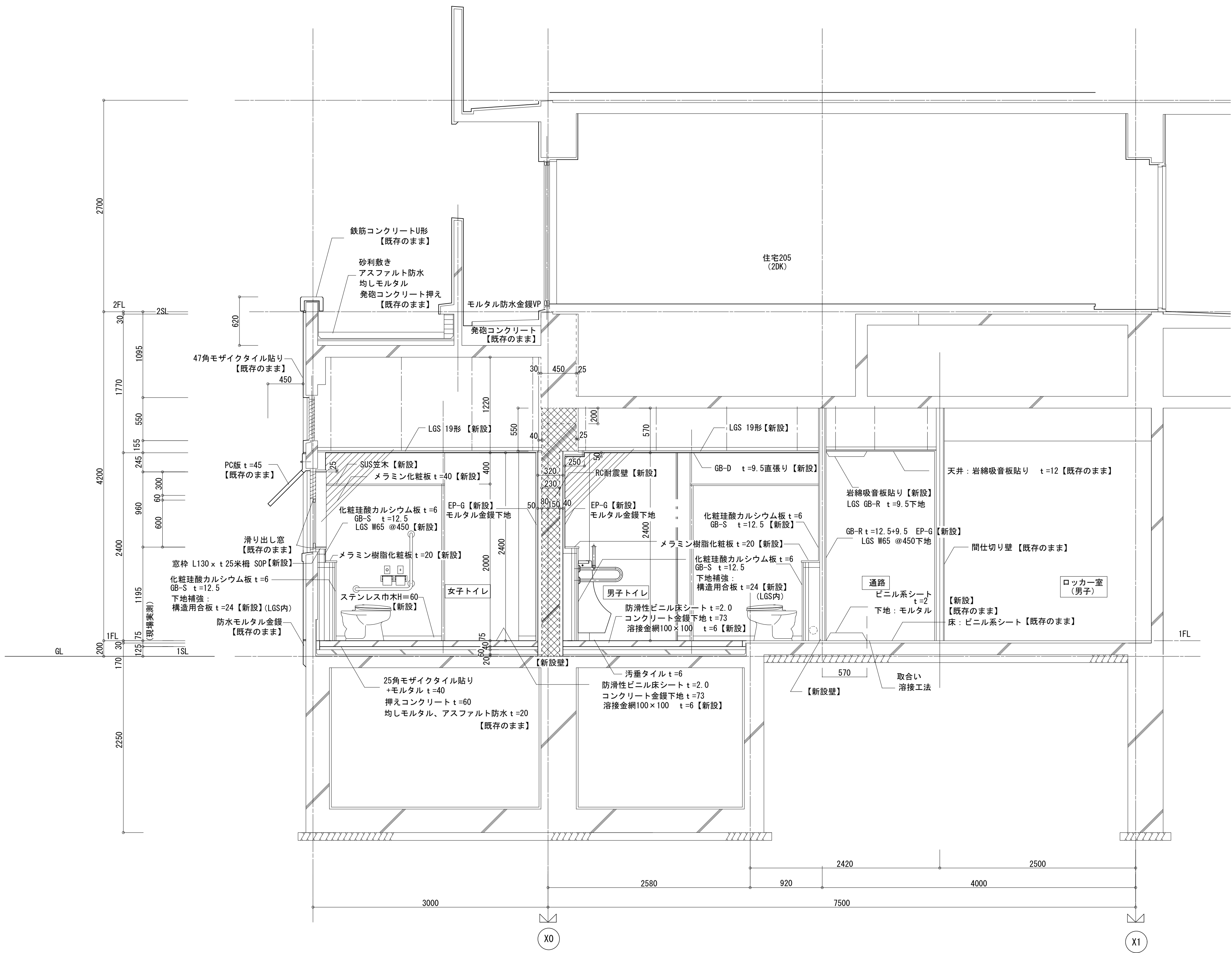
- 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
- 建具の改修内容は建具表に示す
- 衛生器具（機械設備工事）トイレブース家具は全て新設とする
- 部分はRC壁及びスラブ新設を示す
- 部分は仕上げの新設を示す

工事名		松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事	
図面名		(改修後) トイレ展開図	
作成年月日		令和6年2月9日	変更年月日
縮 尺		1 : 50	図面番号
			A-14
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1. 衛生器具 (機械設備工事) トイレブース家具は全て撤去とする
2.  部分はRC壁及びスラブ撤去を示す
3.  部分は仕上撤去を示す
4.  RCカッター入 (RC面)

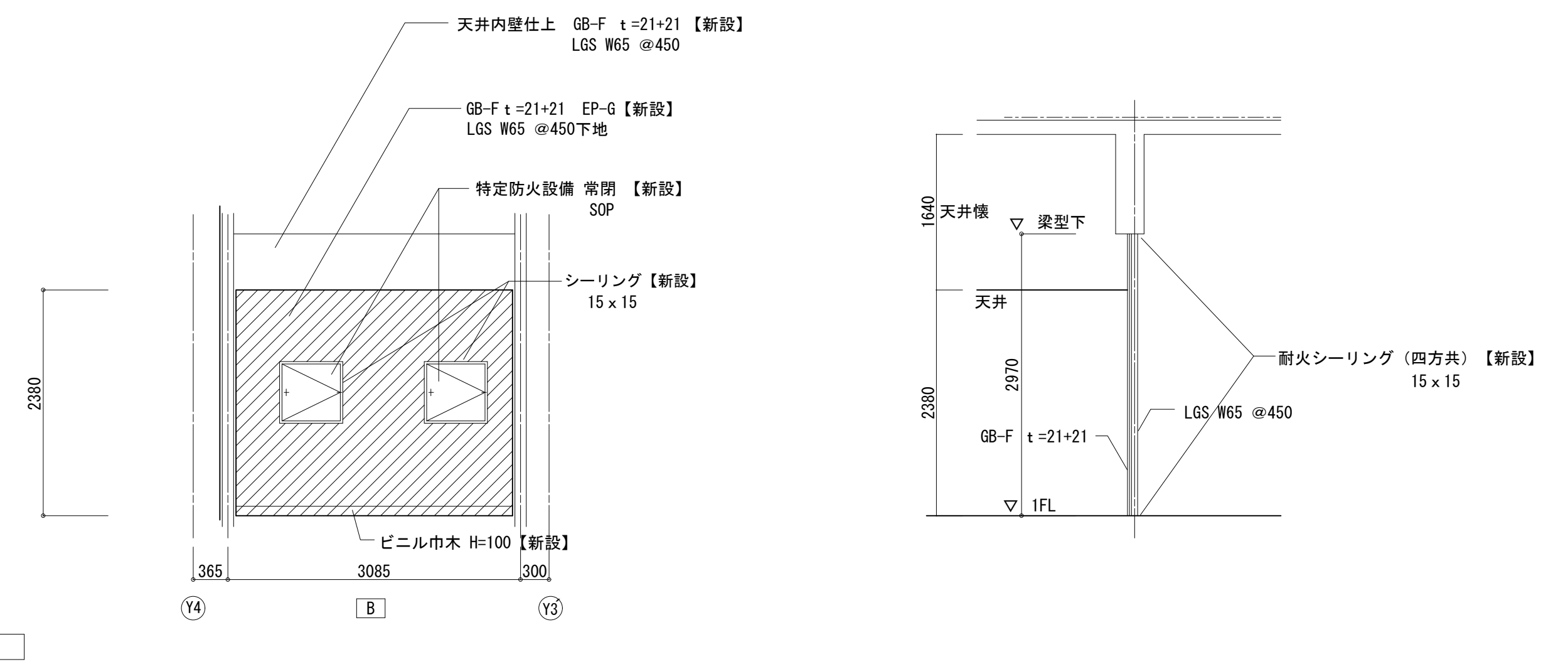
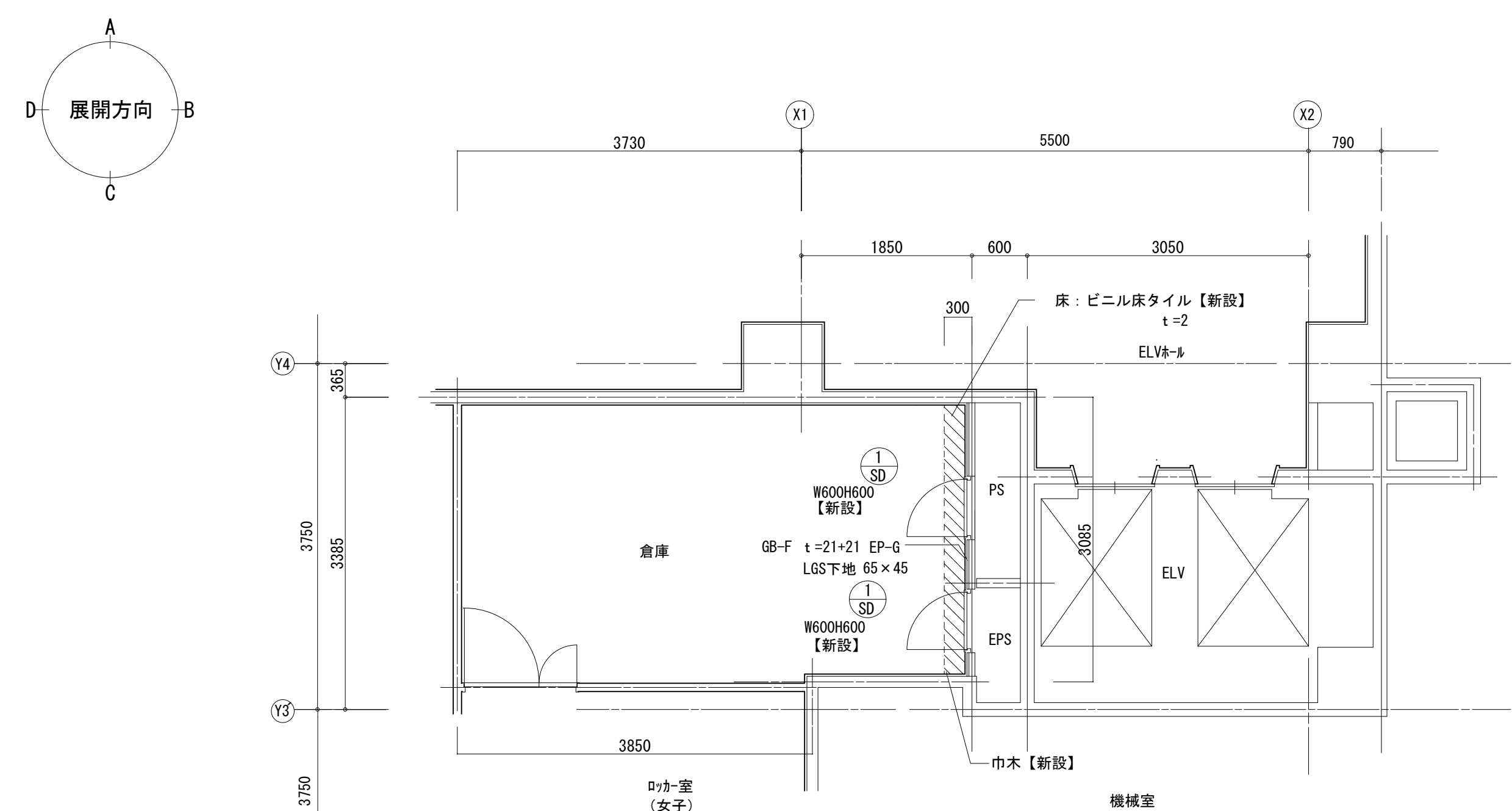
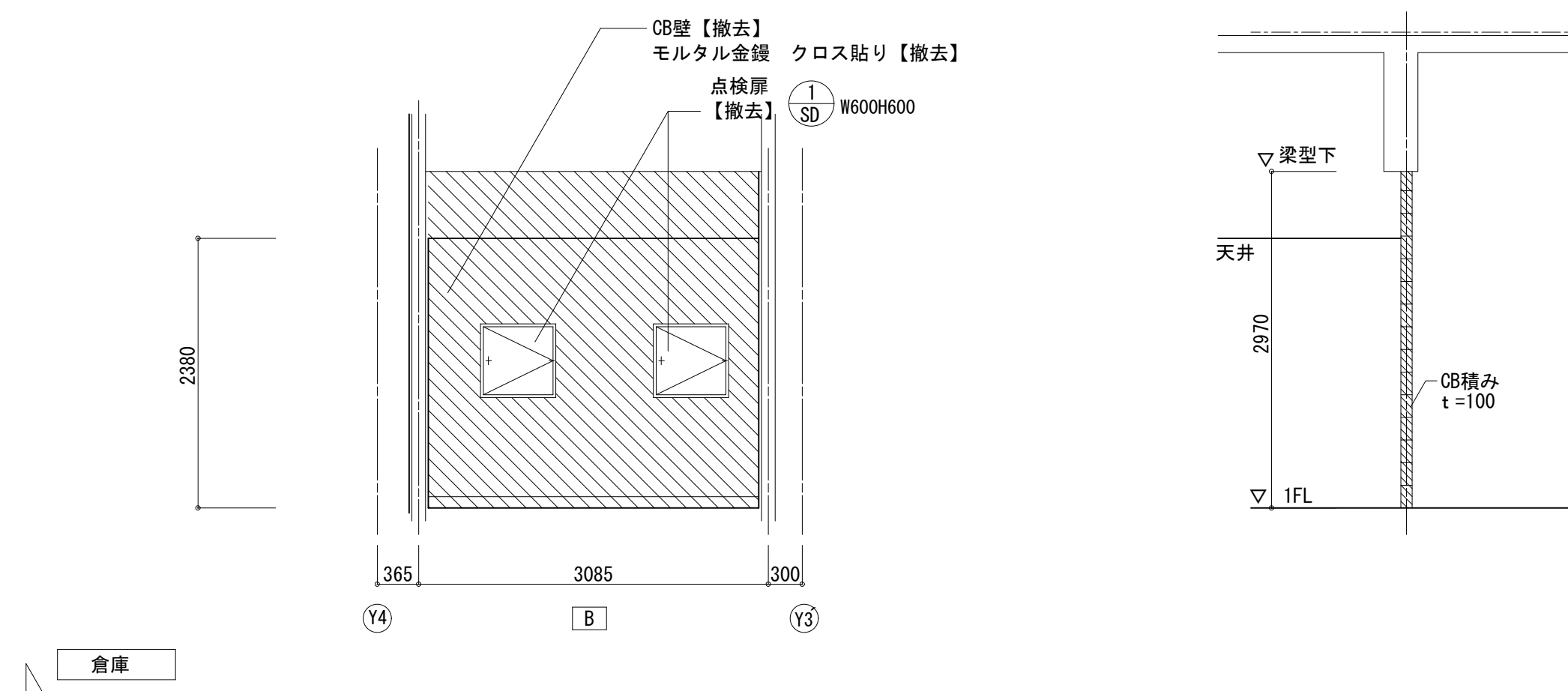
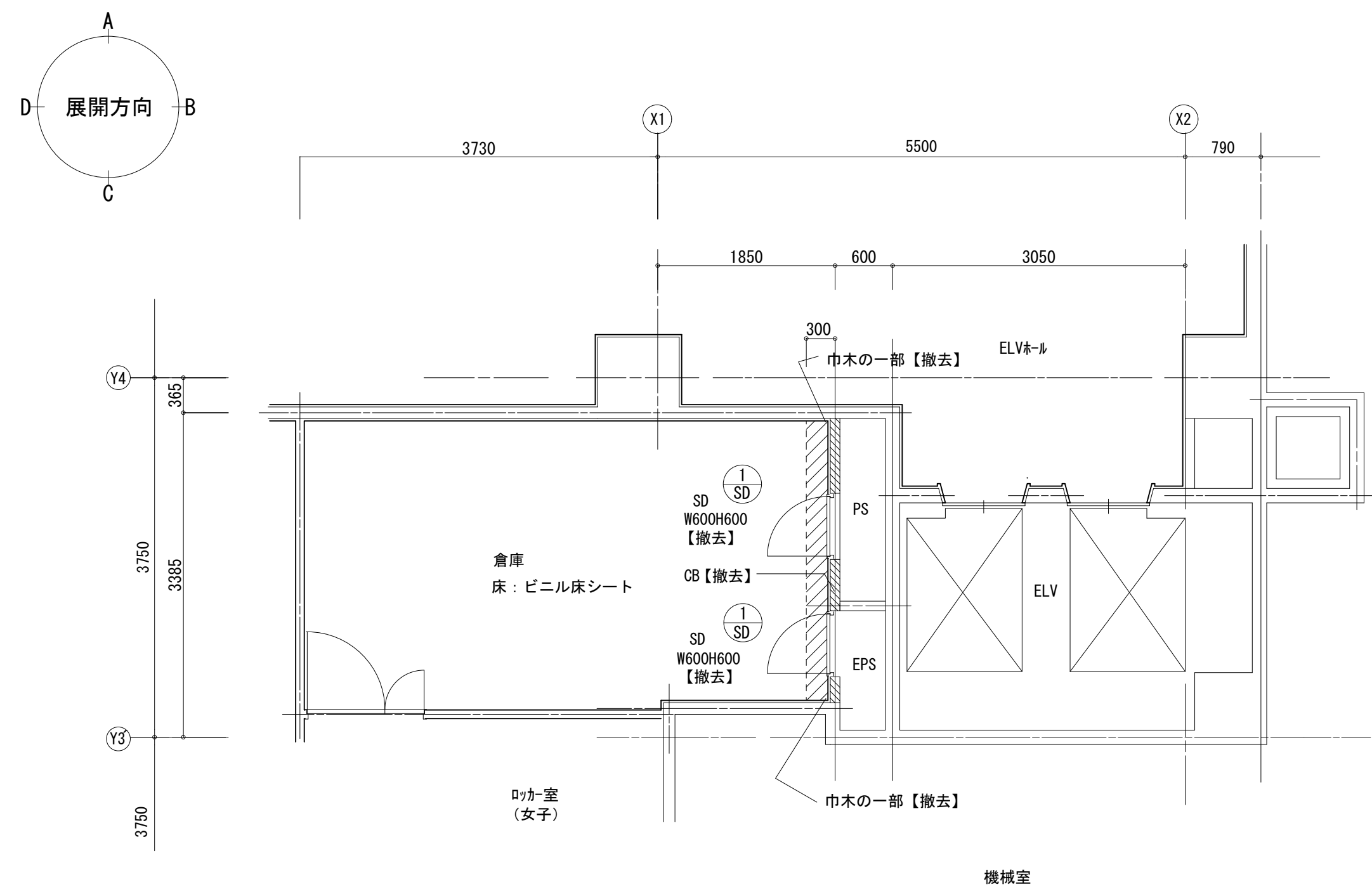
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前) 矩計図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 30	図面番号	A-15
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



(改修後) 矩計図 S=1 : 30

1. 部分はRC壁及びスラブの新設を示す
2. 部分は仕上の新設を示す

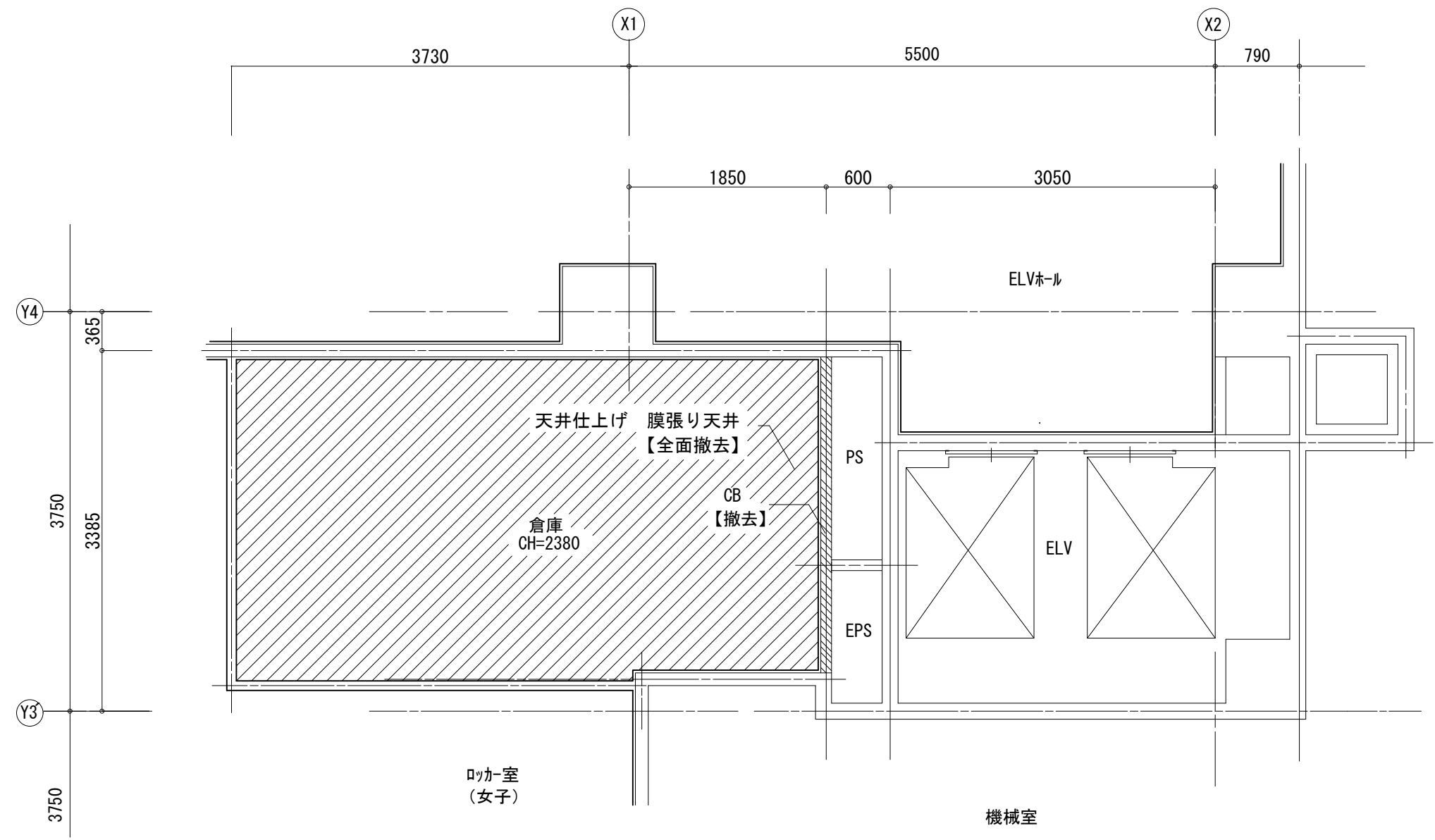
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修後) 矩計図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 30	図面番号	A-16
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



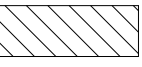
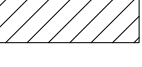
1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3.  部分はCB壁撤去を示す
4.  部分は仕上げの撤去を示す

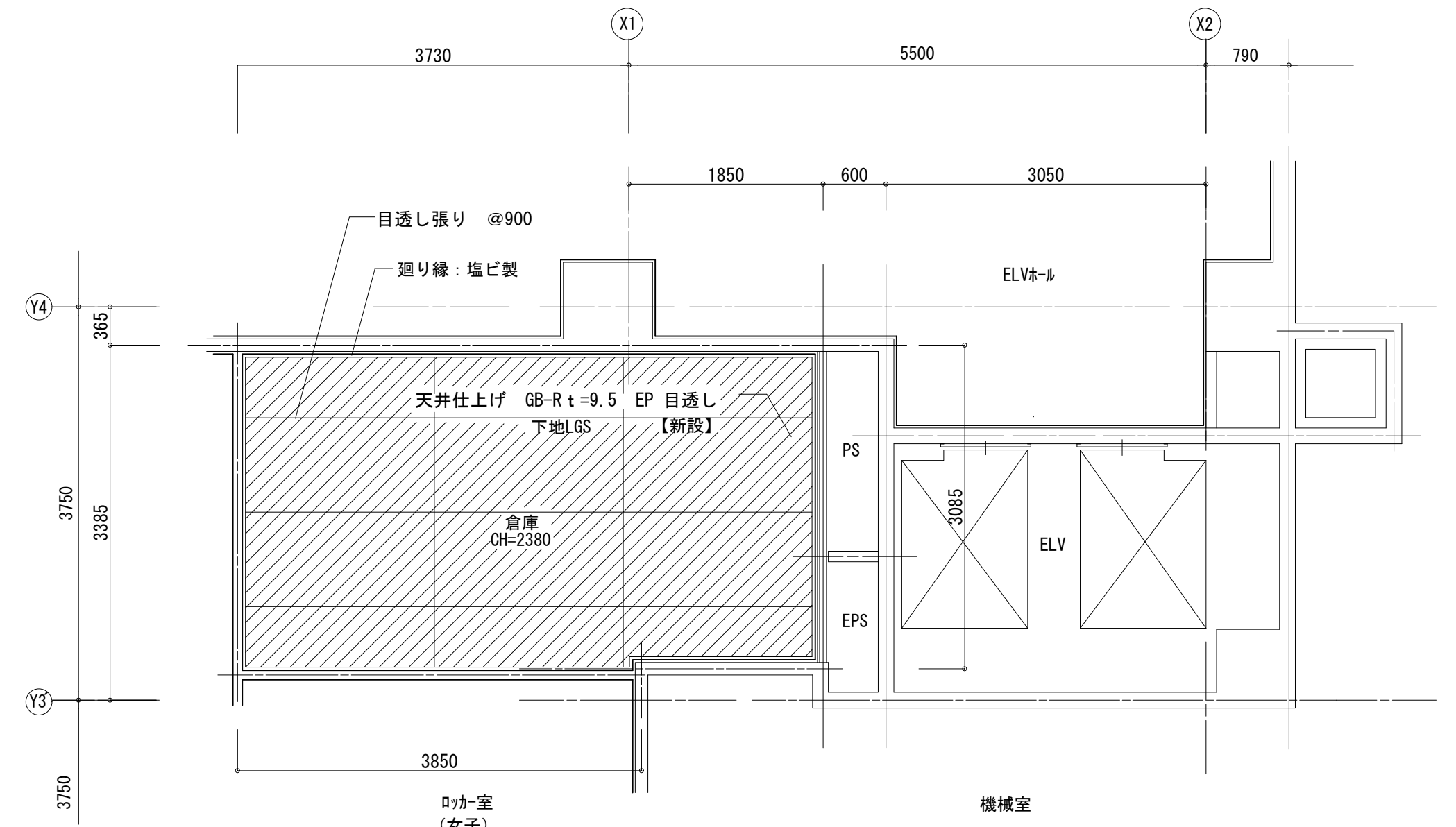
1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3.  部分は仕上げの新設を示す
4.  部分は仕上げ、下地の新設を示す

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 倉庫平面詳細図、展開図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-17
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久		
	一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

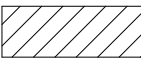


(改修前) 倉庫天井伏図 S = 1 / 50

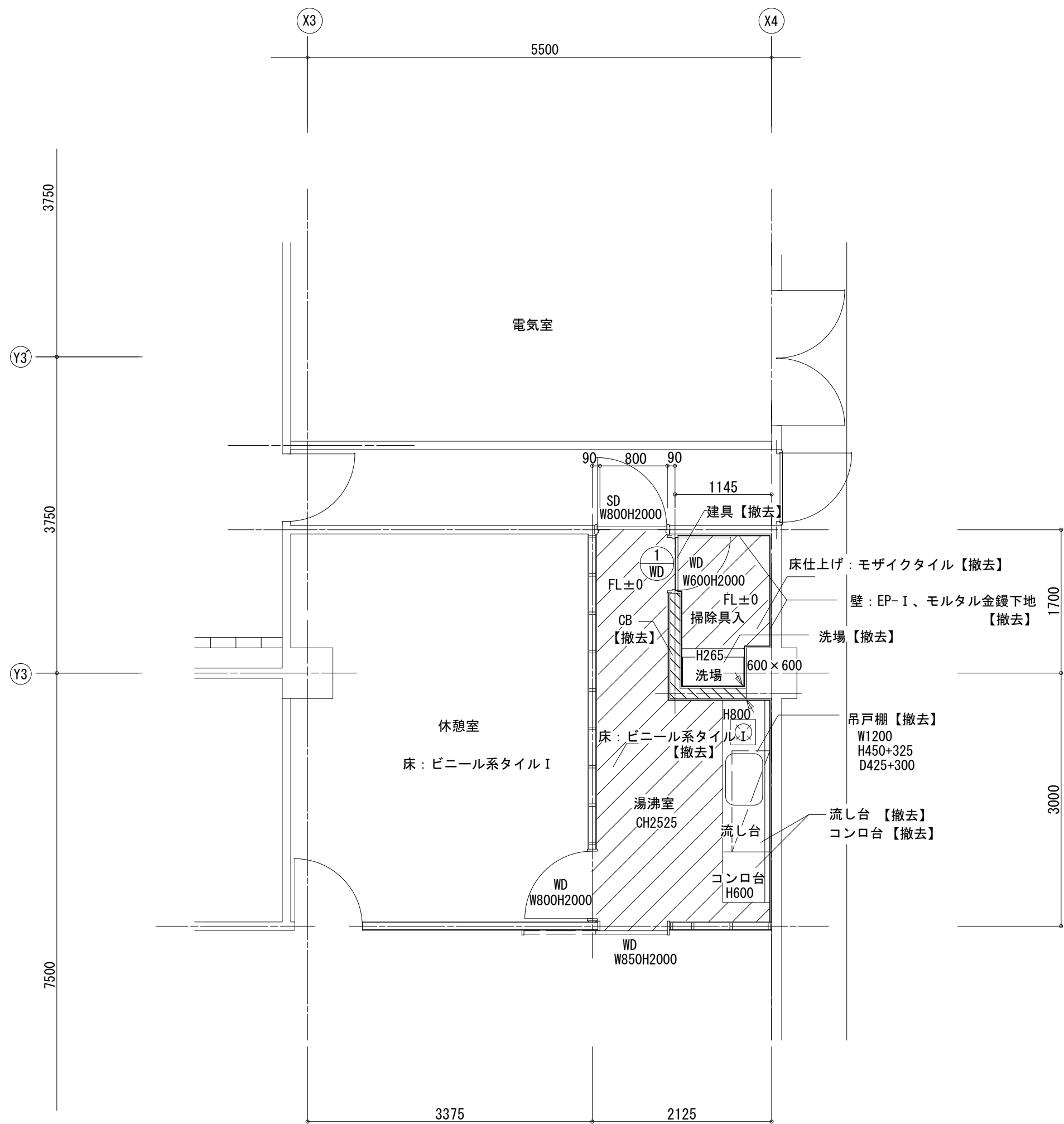
1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3.  部分はCB壁撤去を示す
4.  部分は仕上げ、下地の撤去を示す



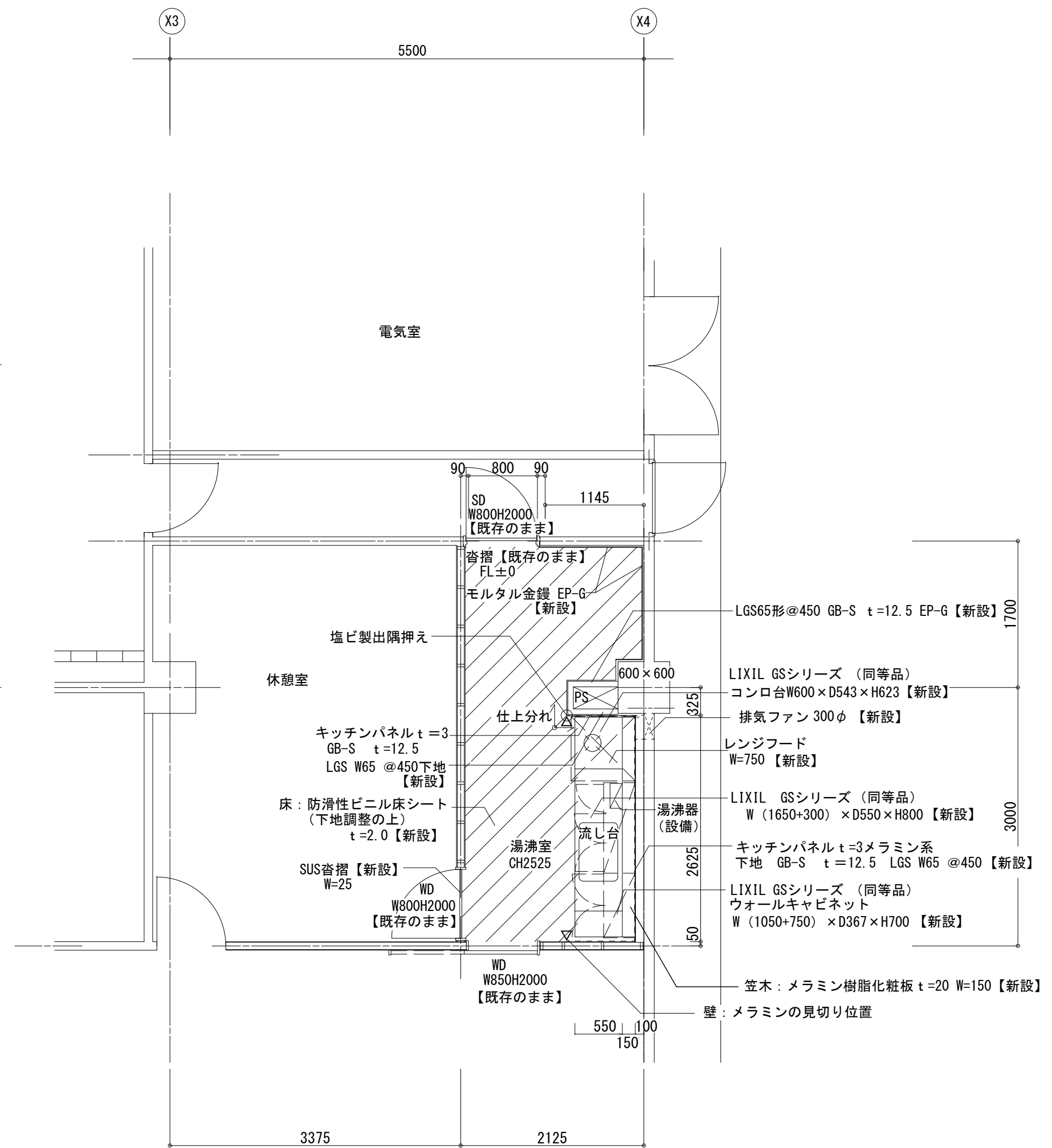
(改修後) 倉庫天井伏図 S = 1 / 50

1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3.  部分は仕上げ、下地の新設を示す

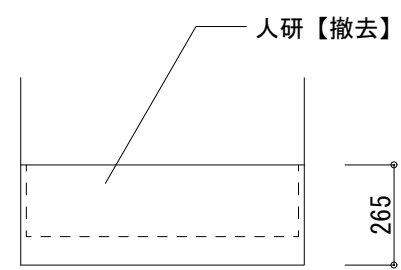
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 倉庫天井伏図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-18
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



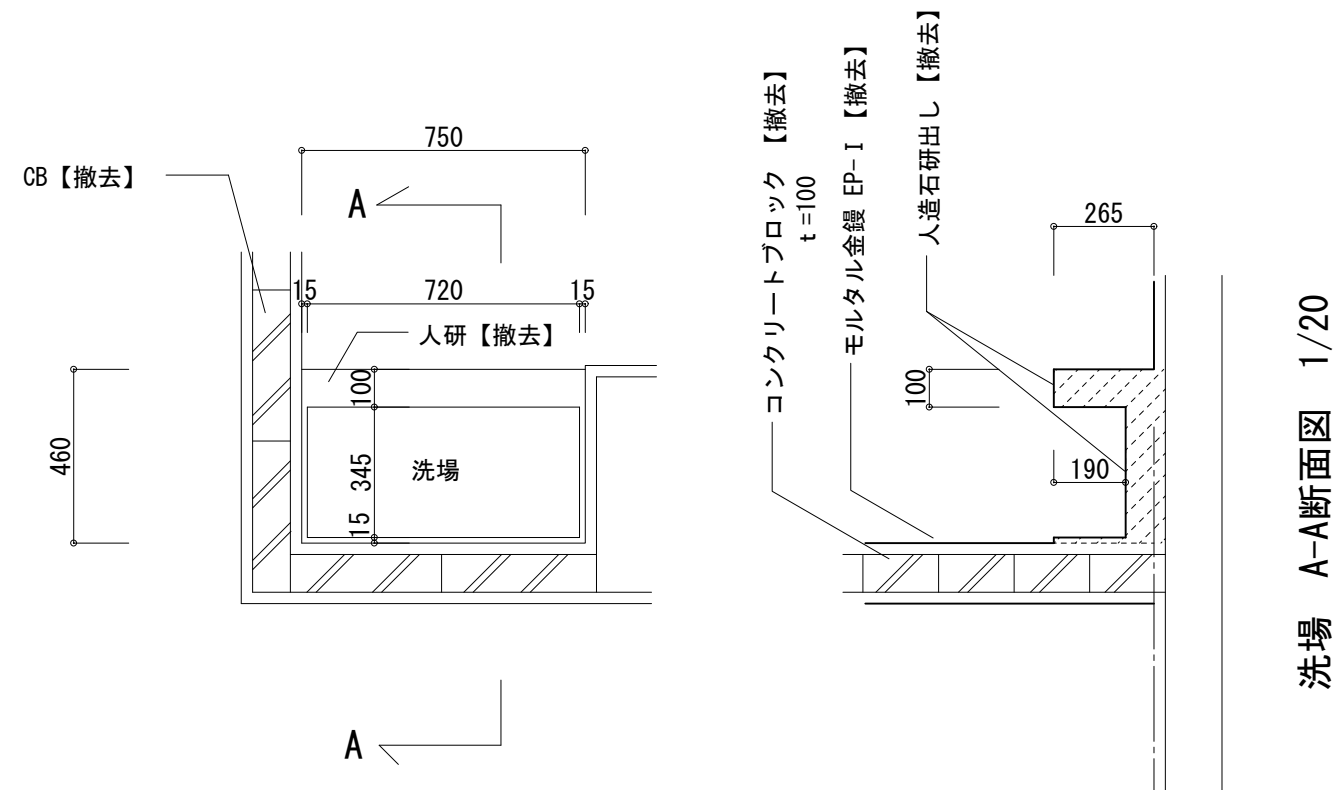
(改修前) 湯沸室平面詳細図 S = 1 / 50



(改修後) 湯沸室平面詳細図 S = 1 / 50

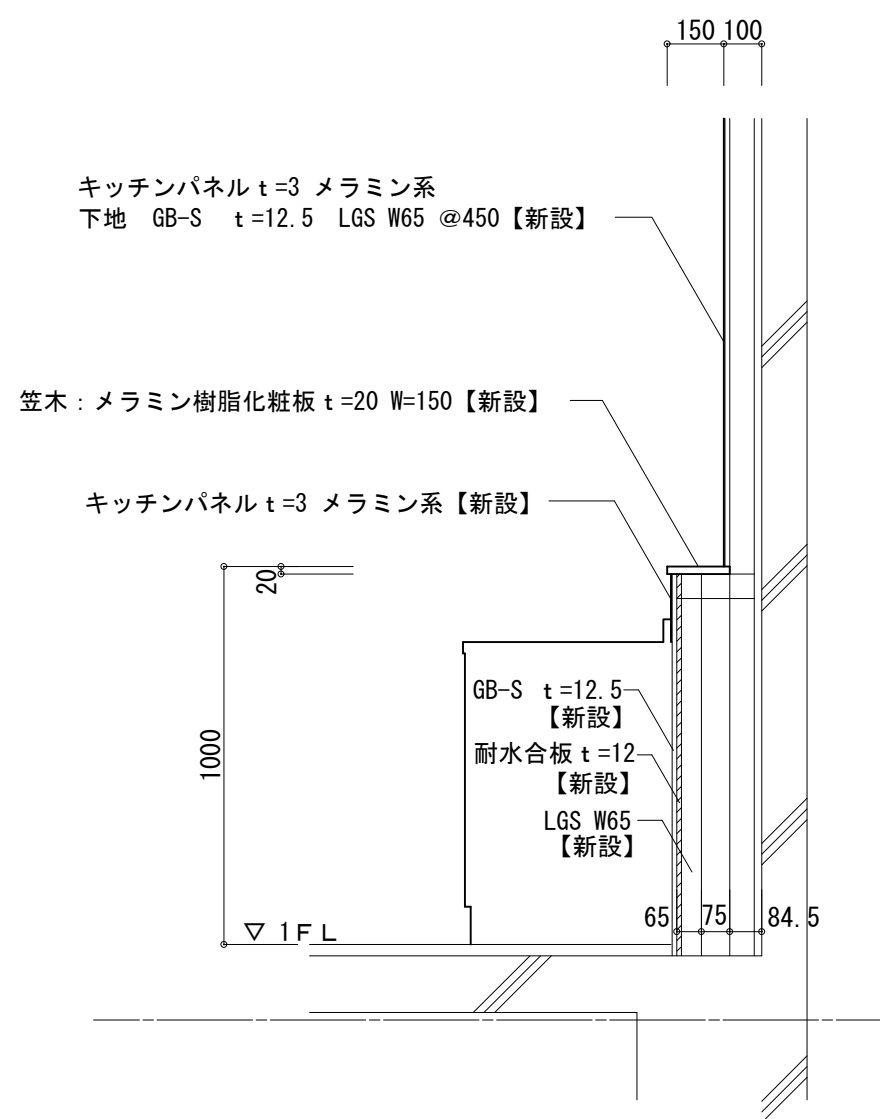


洗場正面図 1/20



洗場平面詳細図 1/20

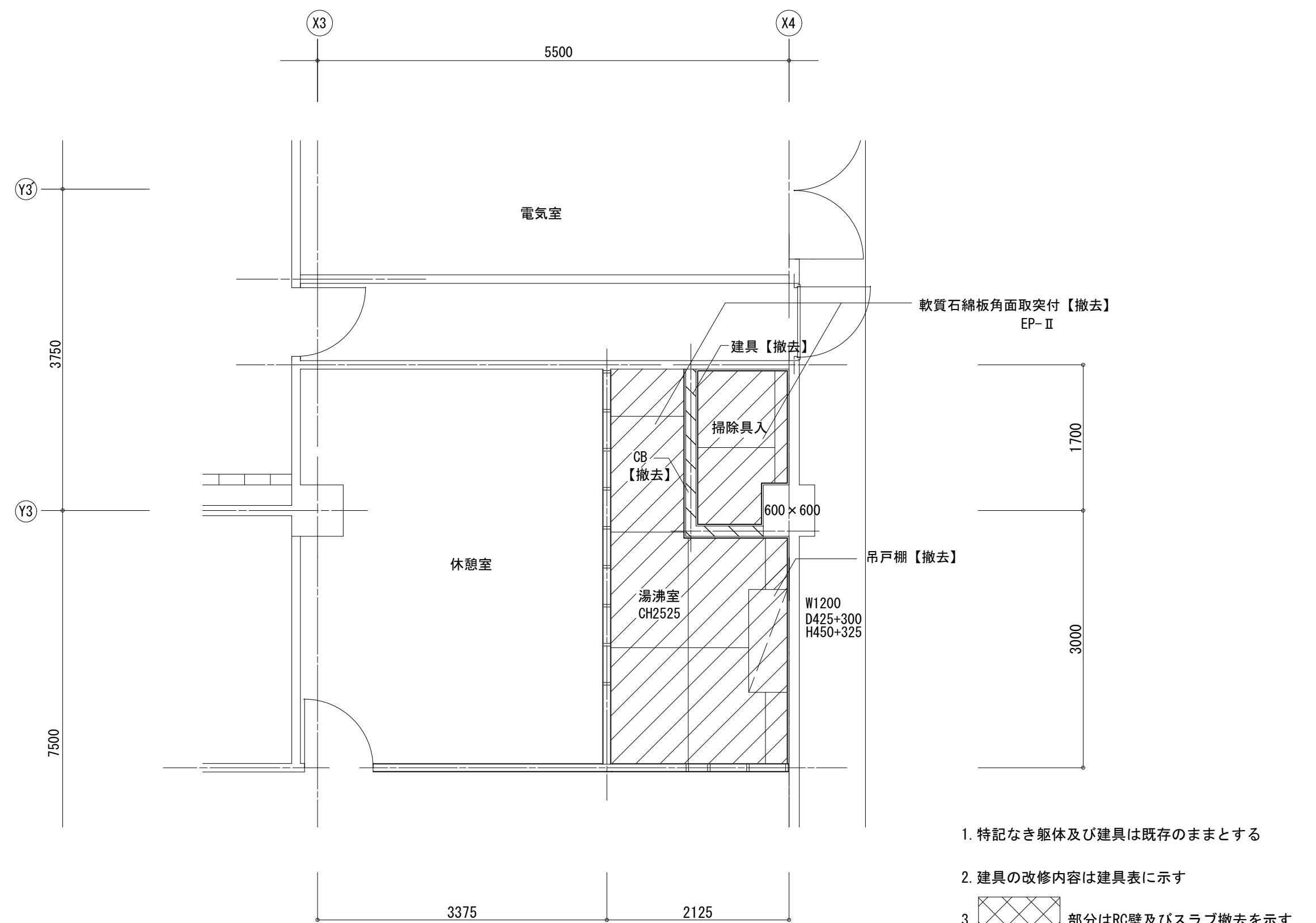
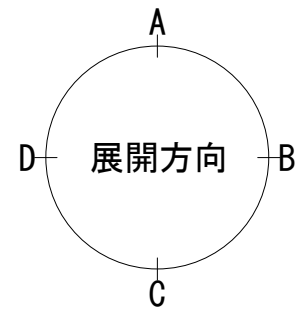
- 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
- 建具の改修内容は建具表に示す
- 部分はCB壁撤去を示す
- 部分は仕上げの撤去を示す
- モルタルカッター入 (CBモルタル面)



ライニング詳細図 1/20

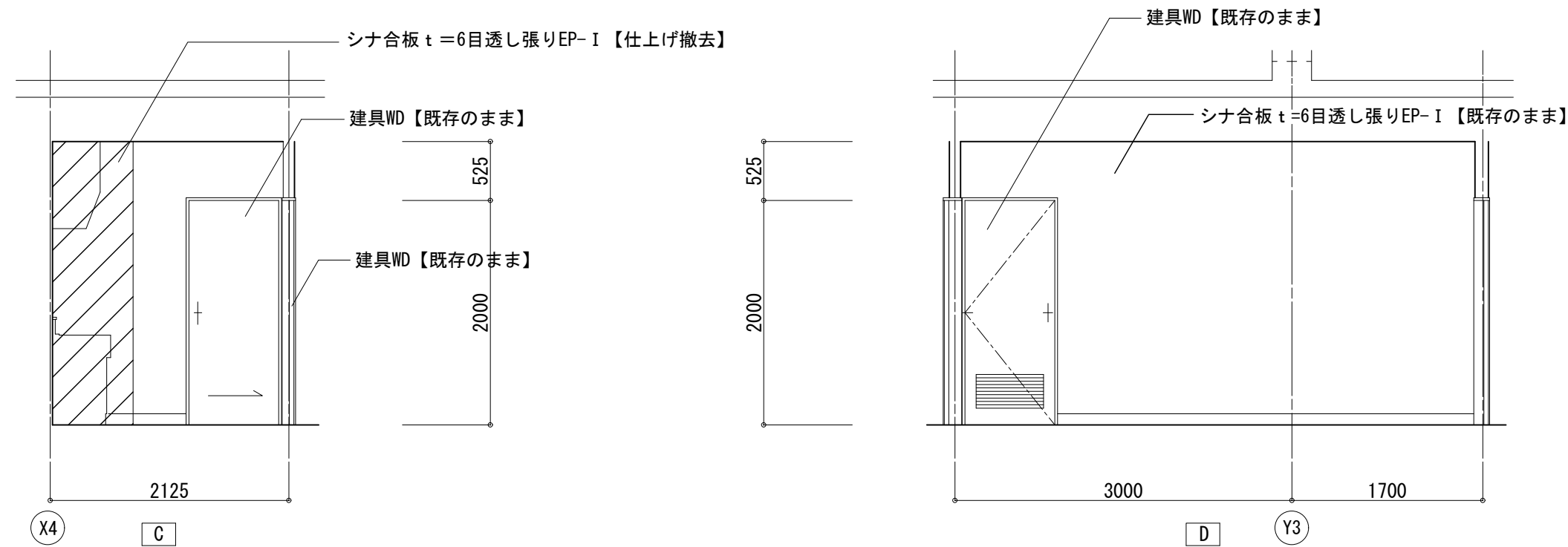
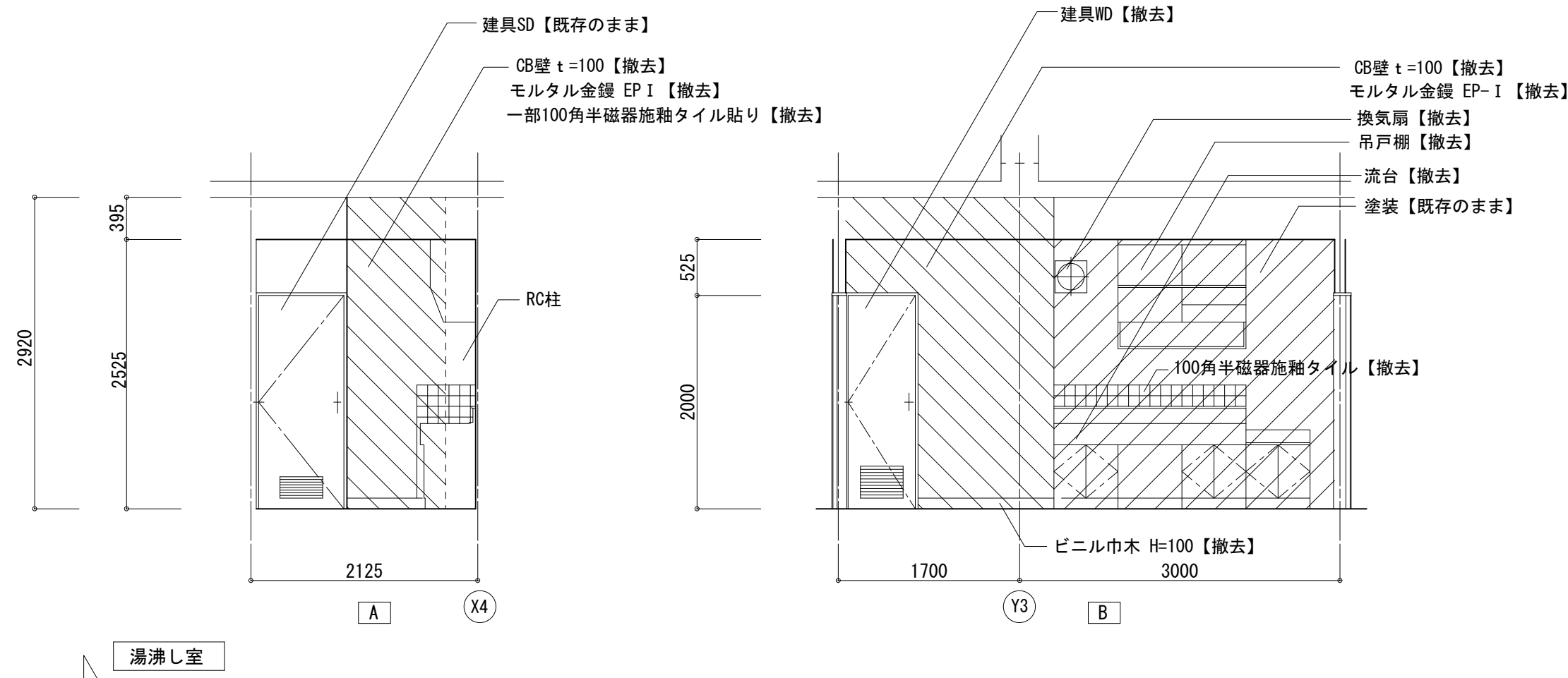
- 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
- 建具の改修内容は建具表に示す
- 部分は仕上げの新設を示す

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 湯沸室平面詳細図 部分詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50、1 : 20	図面番号	A-19
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

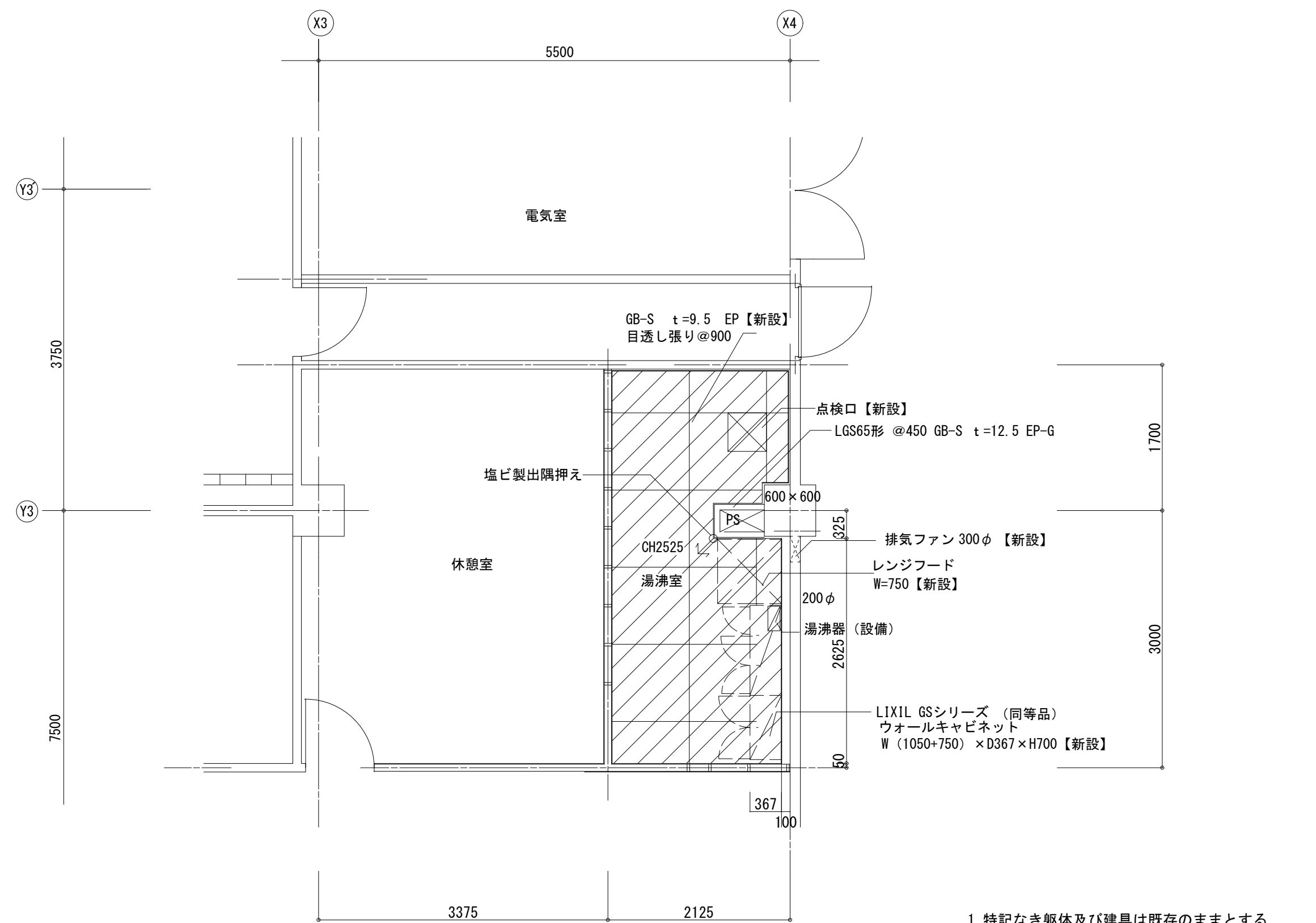
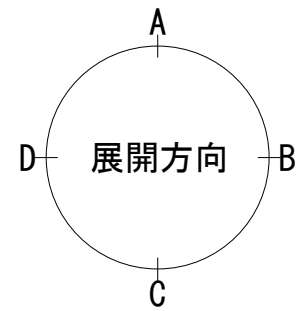


(改修前) 湯沸室天井伏図 S = 1 / 50

1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3. 部分はRC壁及びスラブ撤去を示す
4. 部分はCB壁撤去を示す
5. 部分は仕上げ、下地の撤去を示す
6. モルタルカッター入 (CBモルタル面)

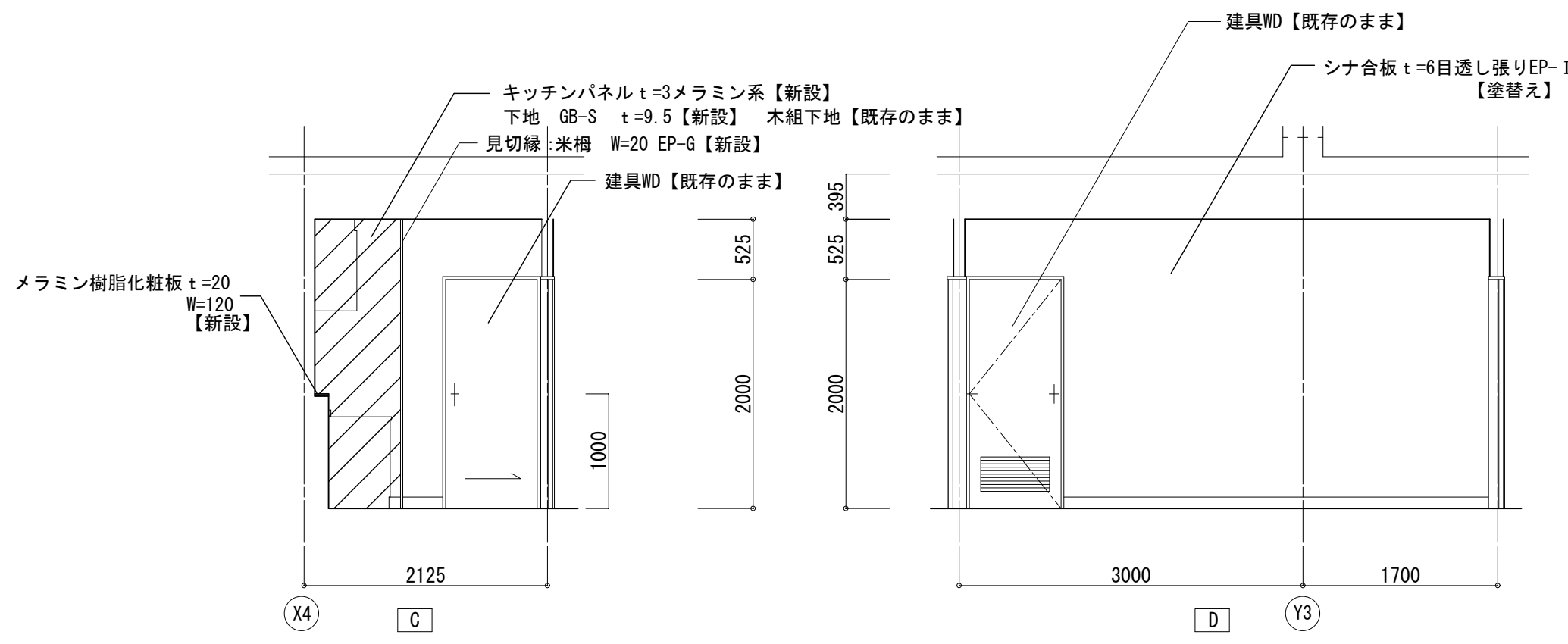
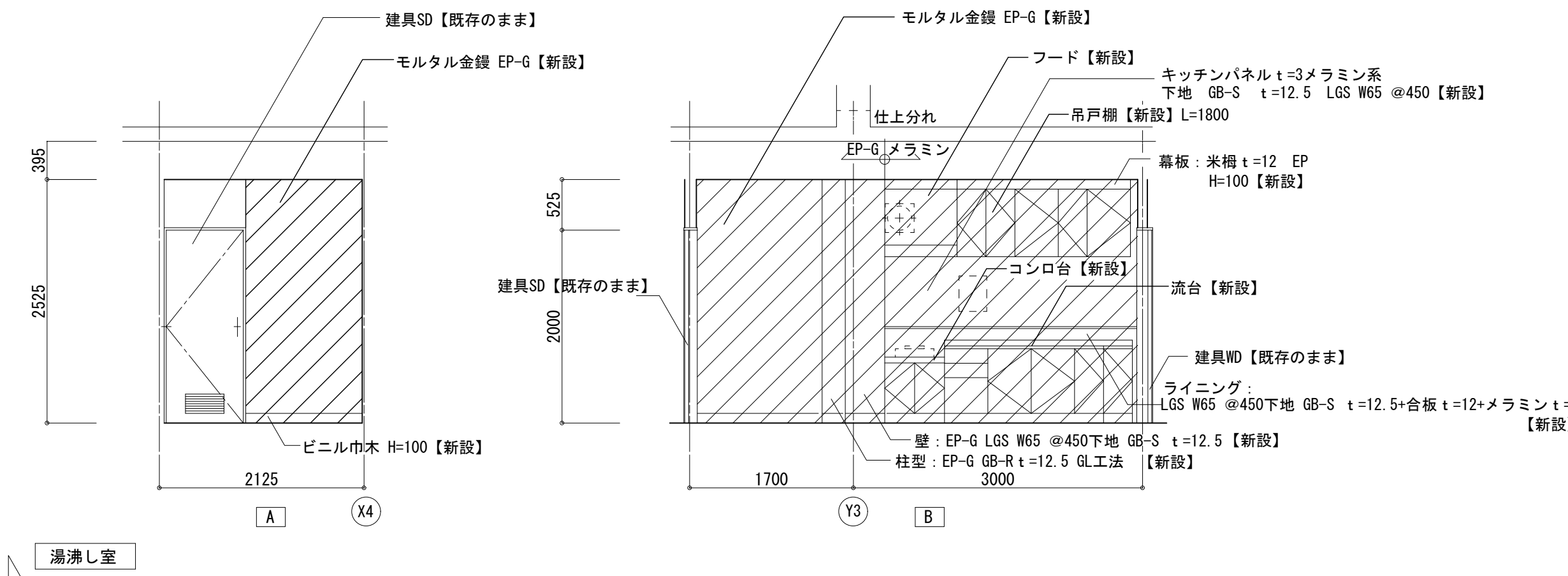


(改修前) 湯沸室展開図 S = 1 / 50



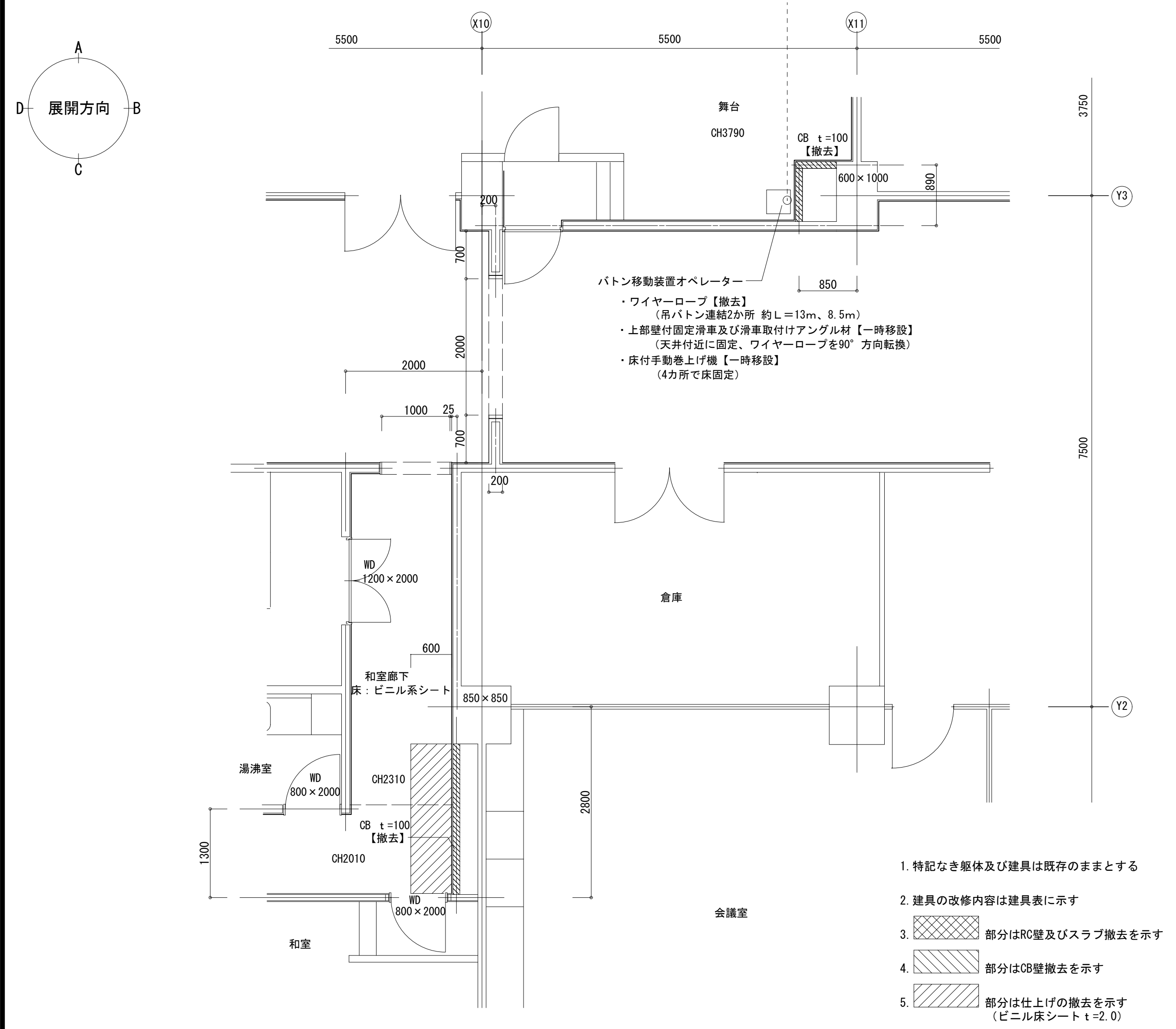
(改修後) 湯沸室天井伏図 S = 1 / 50

1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3. 部分はRC壁及びスラブ新設を示す
4. 部分は仕上げ、下地の新設を示す

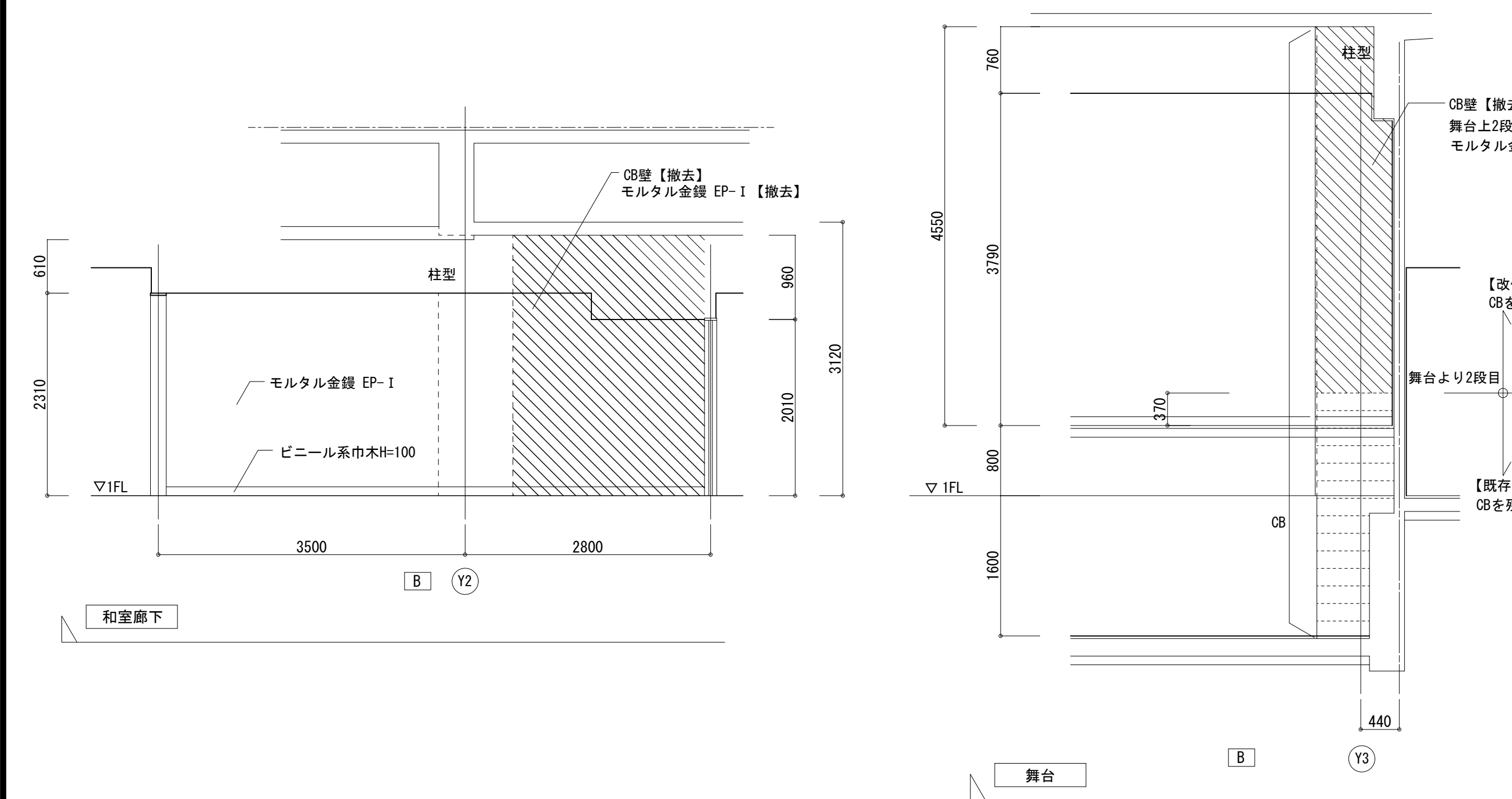


(改修後) 湯沸室展開図 S = 1 / 50

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 湯沸室 天井伏図、展開		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-20
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

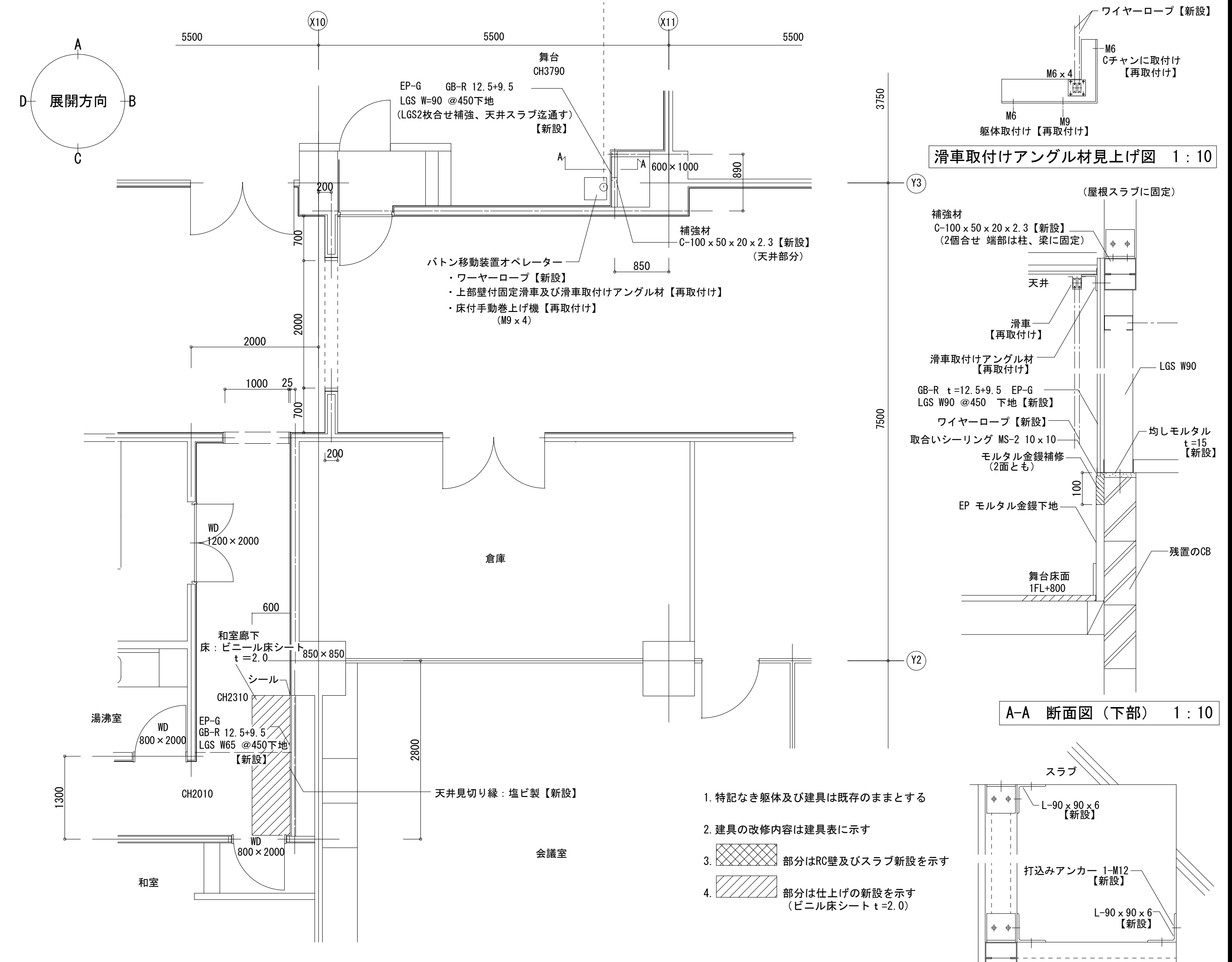


(改修前) 和室廊下、舞台平面詳細図 S = 1 / 50

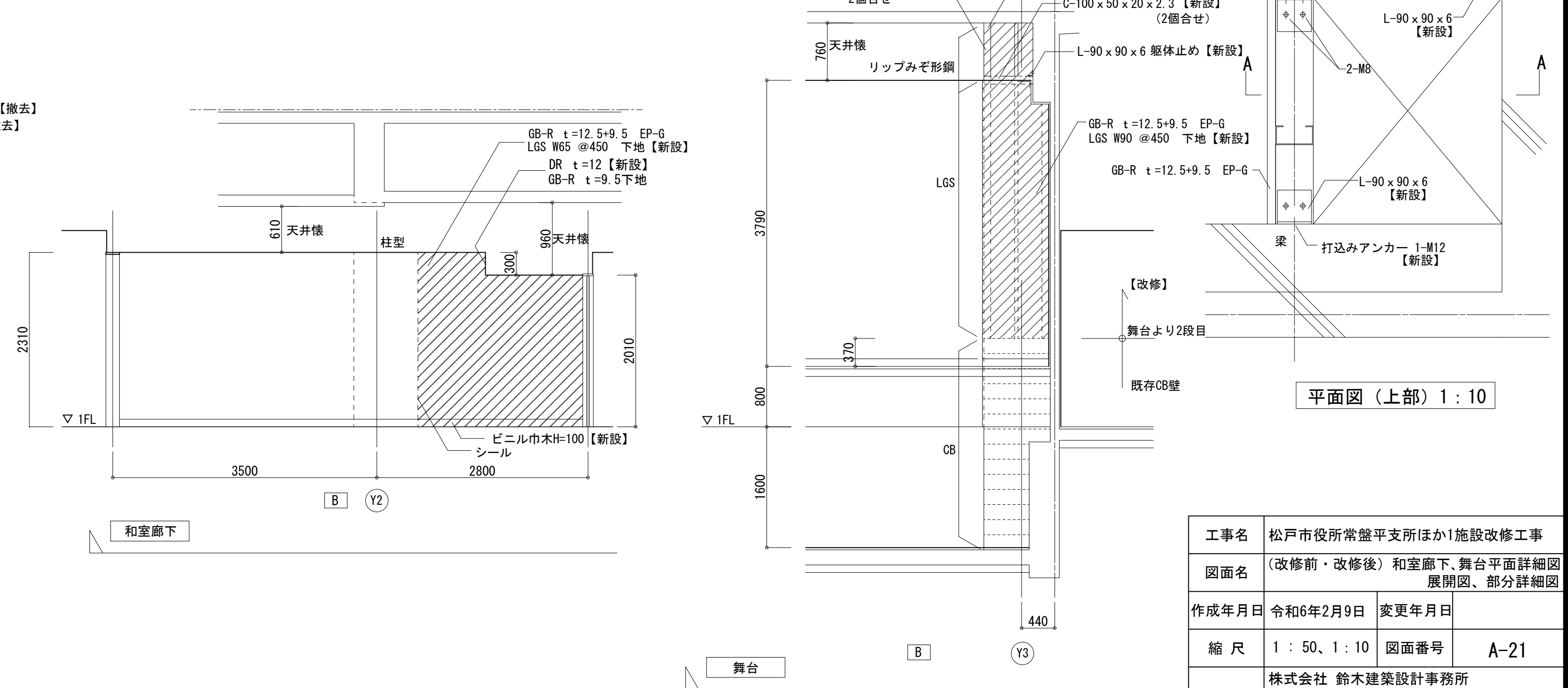


(改修前) 和室廊下展開図 S = 1 / 50

(改修前) 舞台展開図 S = 1 / 50

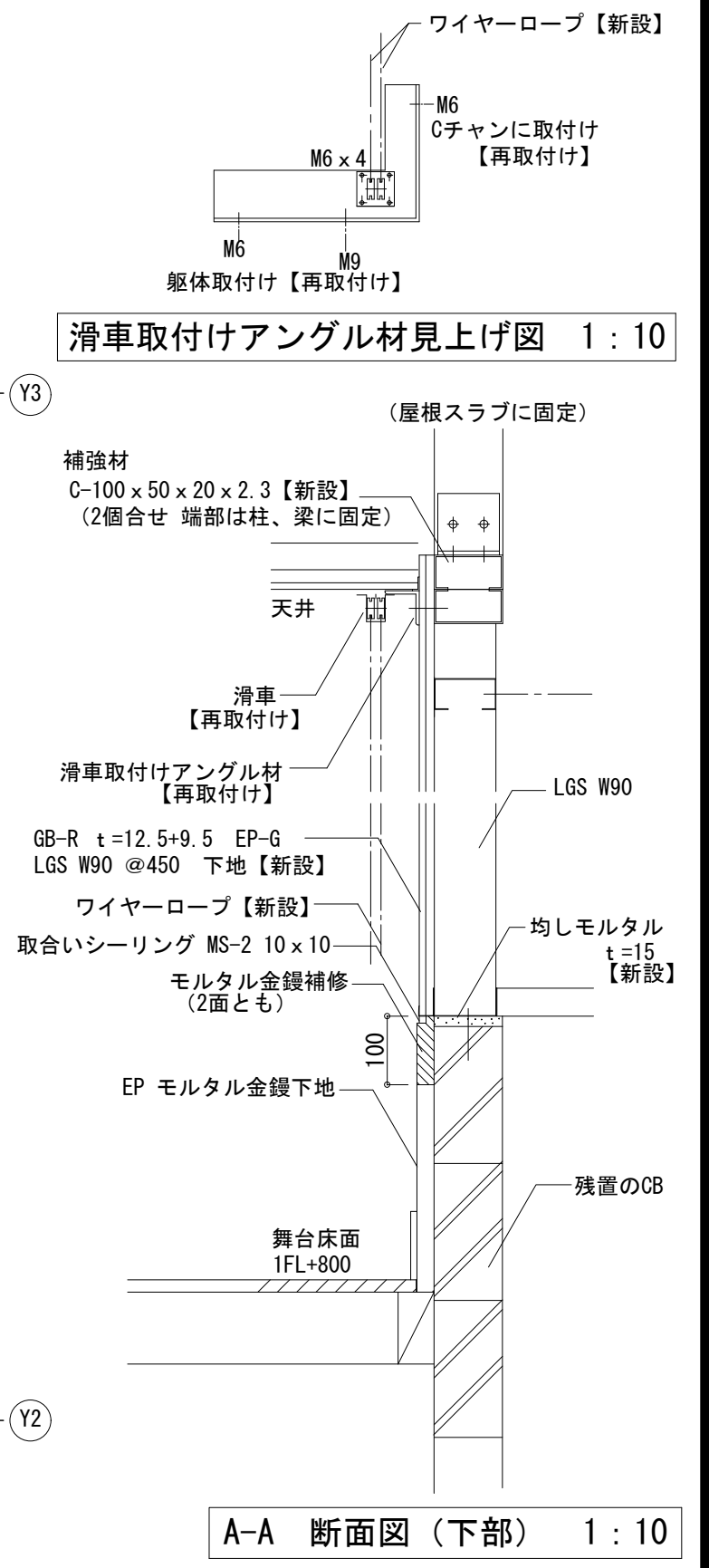


(改修後) 和室廊下、舞台平面詳細図 S = 1 / 50

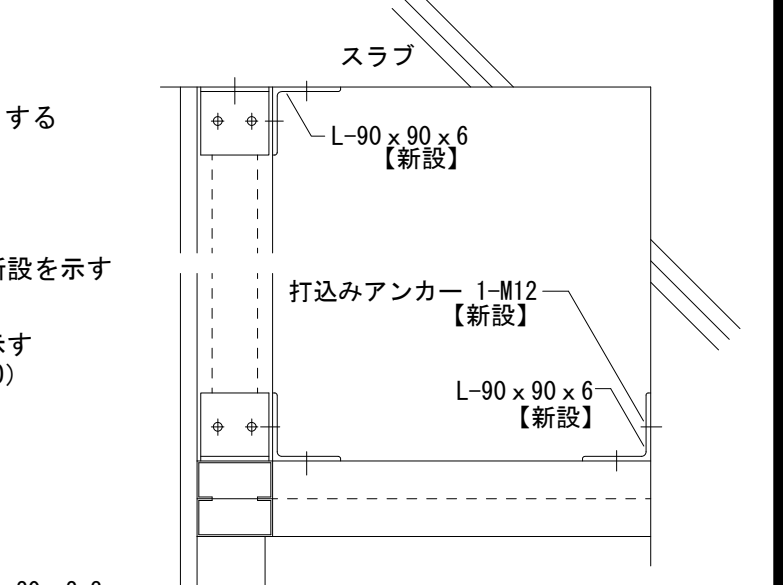


(改修後) 舞台展開図 S = 1 / 50

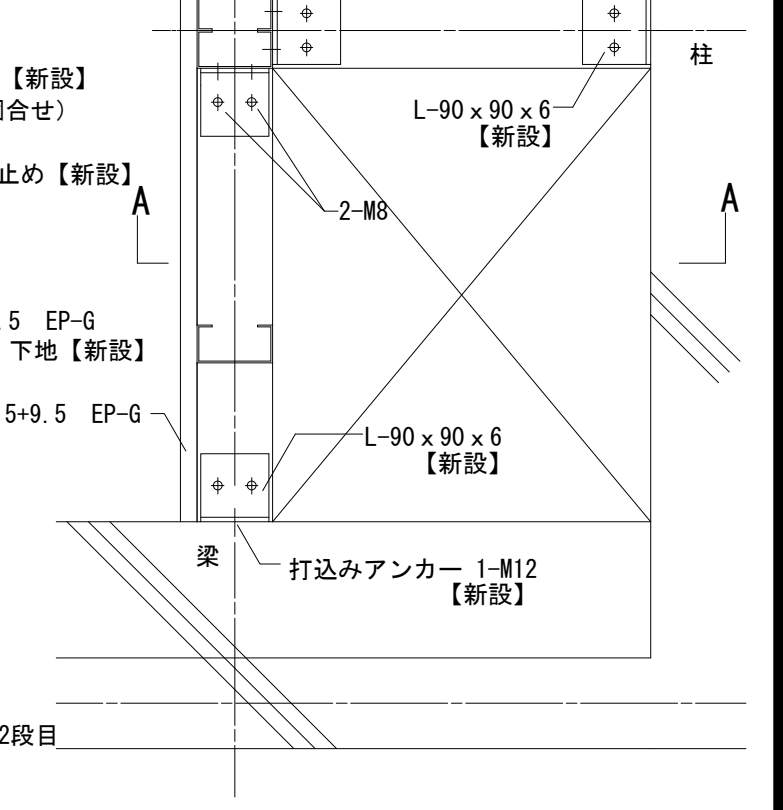
(改修後) 和室廊下展開図 S = 1 / 50



A-A 断面図 (下部) 1 : 10



A-A 断面図 (上部) 1 : 10



平面図 (上部) 1 : 10

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 和室廊下、舞台平面詳細図 展開図、部分詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1：50、1：10	図面番号	A-21
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



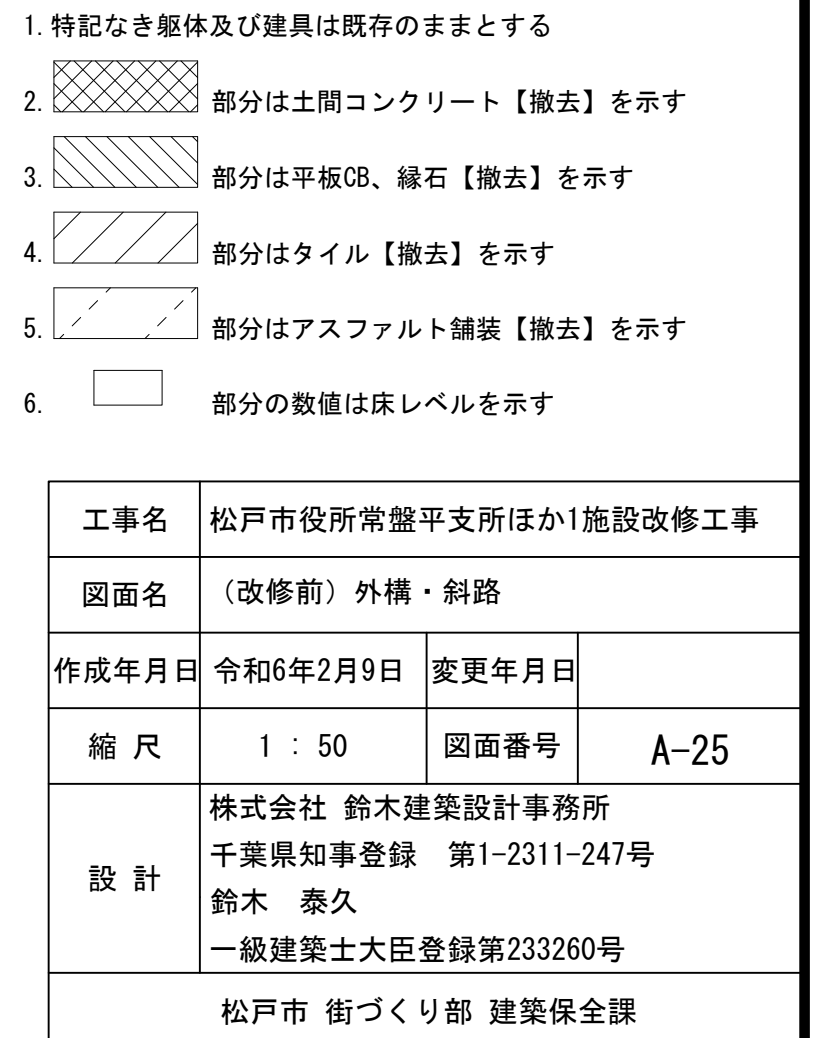
1. 特記なき躯体及び建具は既存のままとする
2. 建具の改修内容は建具表に示す
3.  部分はRC壁及びスラブ新設を示す
4.  部分は仕上げの新設を示す

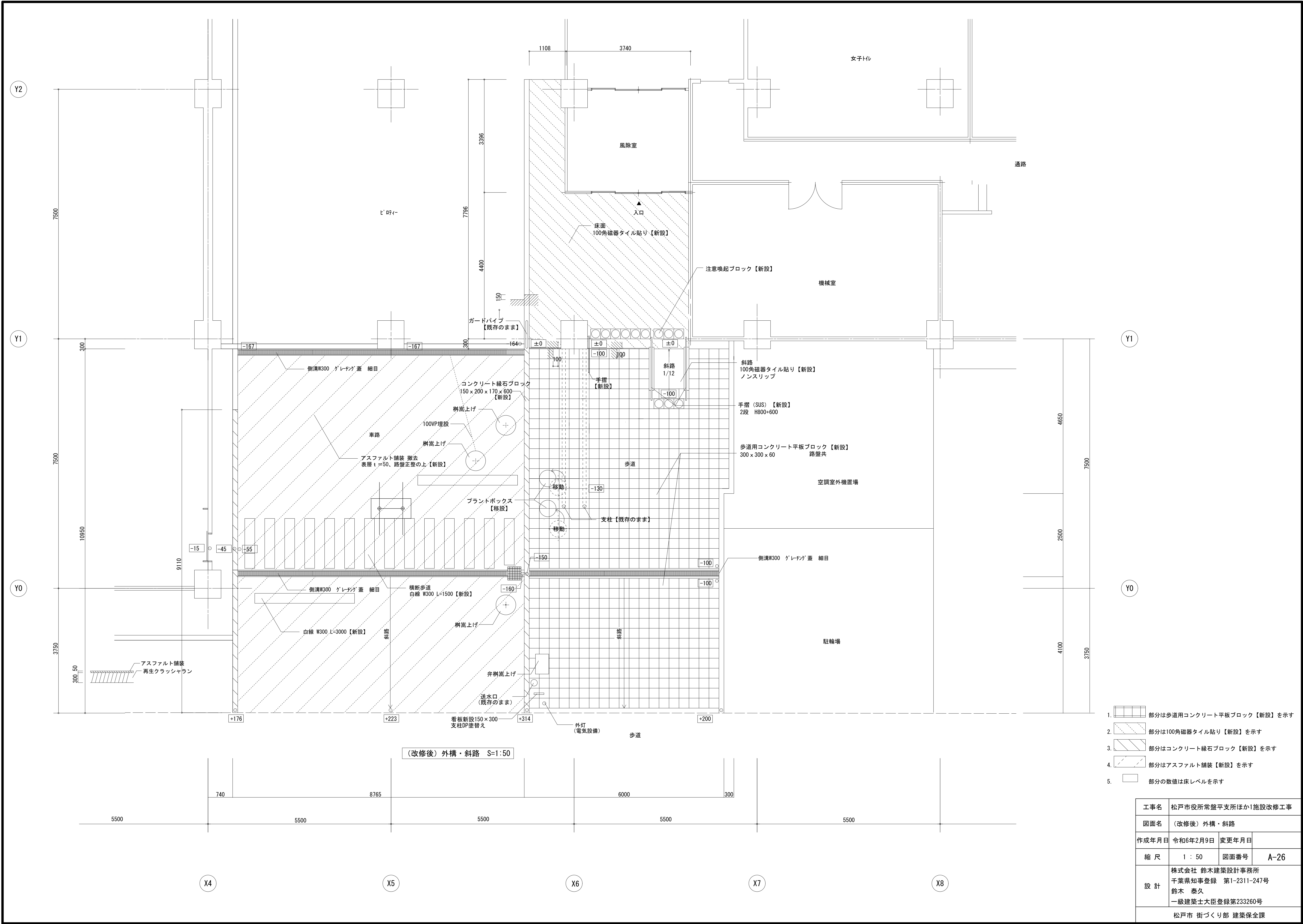
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前・改修後) 和室廊下・舞台 天井伏図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-22
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

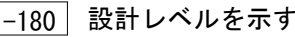
符号・数量	1 AW 男女トイレ 数量2		2 AW 倉庫 数量1		1 SG 男女トイレ天井裏 数量3		2 SG 女子トイレ天井裏 数量1		1 WD 女子トイレ 数量1	
改修内容	既存のまま内外清掃内部周辺のタイル撤去清掃		撤去	外部の格子とも撤去	既存のまま清掃	既存のまま清掃	撤去			
姿図										
形式	上部ガラリ付じり出し窓		上部嵌め殺しスベリ出し窓		ガラリ		ガラリ		ガラリ付き片開きフラッシュ戸	
材質・仕上	アルミアルマイト		アルミアルマイト		スチール OP		スチール OP		耐水シナ合板 OP塗装	
硝子	透明ガラス t=3		じり出し 透明 t=3、FIX 透明 t=5							
付属金物	一式		一式		一式		一式		125丁番3枚吊 ドアーチェック スットバー付き	
備考										
符号・数量	2 WD 男子トイレ 数量1		1 TP 女子トイレ 数量1		2 TP 女子トイレ 数量1		3 TP 女子トイレ 数量1		4 TP 男子トイレ 数量1	
改修内容	撤去		撤去		撤去		撤去		撤去	
姿図										
形式	ガラリ付き片開きフラッシュ戸		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
材質・仕上	耐水シナ合板 OP塗装		木製フラッシュ OP塗装		木製フラッシュ OP塗装		木製フラッシュ OP塗装		木製フラッシュ OP塗装	
硝子										
付属金物	125丁番3枚吊 ドアーチェック スットバー付き		一式		一式		一式		一式	
備考										
符号・数量	5 TP 男子トイレ 数量1		1 P 倉庫 数量1							
改修内容	撤去		撤去							
姿図										
形式	トイレブース		間仕切りパネル							
材質・仕上	木製フラッシュ OP塗装		木製フラッシュ OP塗装							
硝子										
付属金物	一式		一式							
備考										
符号・数量	1 SD EV廻り倉庫 数量2						1 WD 湯沸し室 数量1			
改修内容	撤去						撤去			
姿図										
形式	片開きアングル戸						ガラリ付き片開きフラッシュ戸			
材質・仕上	スチール t=1.6片面フラッシュ						耐水シナ合板 OP塗装			
硝子										
付属金物	75丁番2枚吊 打掛締り（ハンドル取外し）						100丁番2枚吊 戸当り 煽り止め			
備考	枠85、扉40									

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修前) 建具表		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-23
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

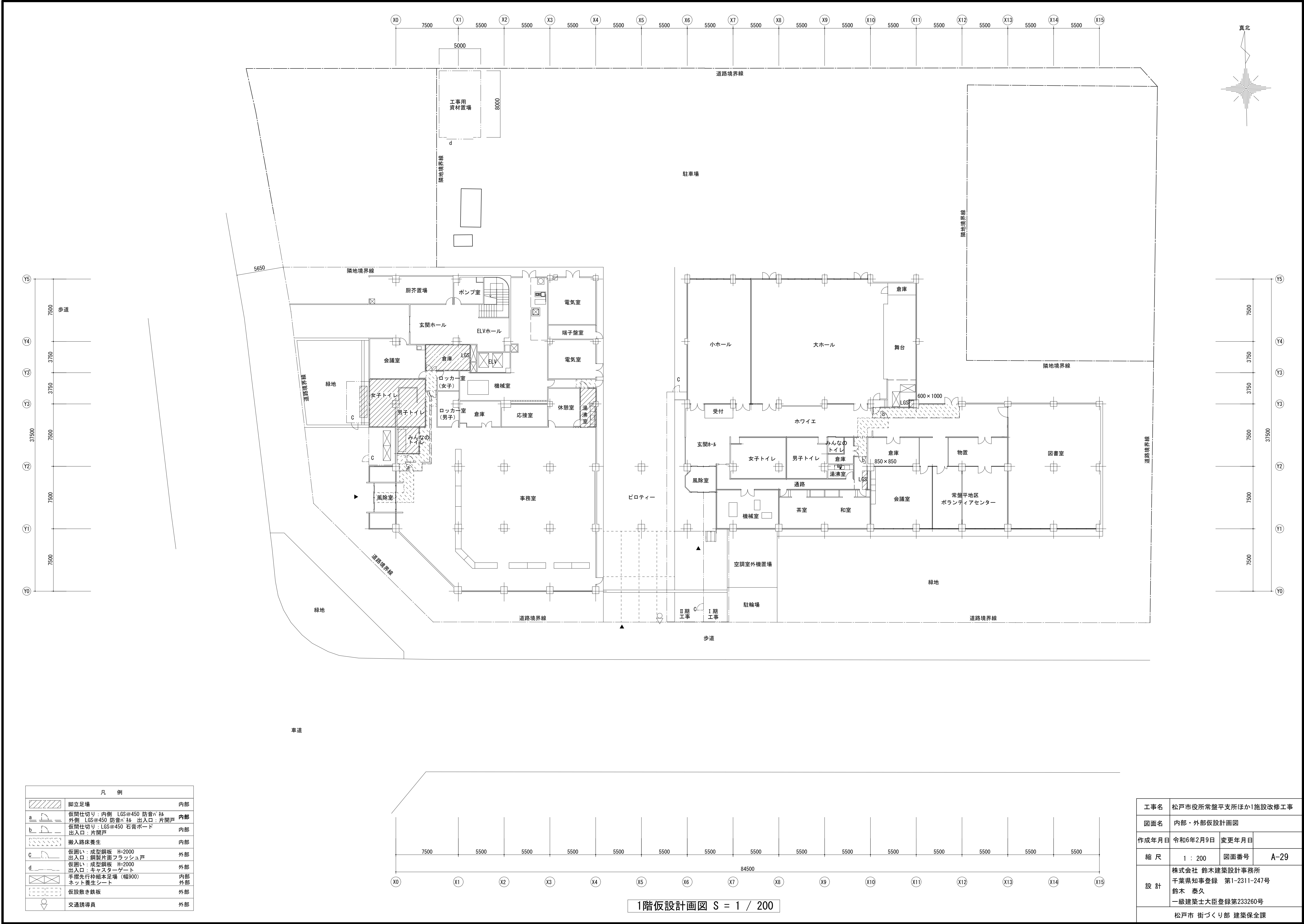
符号・数量	1a AW 女子トイレ 数量1		1 SG 女子トイレ天井裏 数量3		2 SG 女子トイレ天井裏 数量1		数量		1 LSD 女子トイレ 数量1																					
改修内容	既存のまま塞ぎ工事【新設】		既存のまま清掃		既存のまま清掃				新設																					
姿図																														
形式	上部ガラリ付スベリ出し窓ガラリ塞ぎアルミパネル t=2（内部）		ガラリ		ガラリ				引違い戸																					
材質・仕上	アルミアルマイト		スチール OP		スチール OP				化粧鋼板 t=0.8 見込 t=36 枠見込125																					
硝子	アルミパネル t=3ガラスをアルミパネルに変更																													
付属金物	一式		一式		一式				一式 Uステンレール 戸車42φ 引手																					
備考																														
符号・数量	2 LSD みんなのトイレ 数量1		1 TP 女子トイレ 数量1		2 TP 男子トイレ 数量1																									
改修内容	新設		新設		新設																									
姿図																														
形式	片引き引込みハンガー戸（上吊式）		トイレブース		トイレブース				トイレブース																					
材質・仕上	化粧鋼板 t=0.8 見込 t=36 枠見込125		メラミン化粧板 ペーパーコア t=40		メラミン化粧板 ペーパーコア t=40				メラミン化粧板 ペーパーコア t=40																					
硝子																														
付属金物	一式 非常開錠		一式 非常開錠		一式 非常開錠				一式 非常開錠																					
備考	アルミガラリ W580 x H300 キックガード SUS t=1.0		手摺、紙巻器、下地補強		鍵：パニックオープン				鍵：パニックオープン																					
符号・数量	1 SD 倉庫 数量2		1 AW 女子トイレ 数量1		数量		数量		数量																					
改修内容	新設		既存のまま																											
姿図																														
形式	片開きアングル戸		上部ガラリ付スベリ出し窓																											
材質・仕上	スチール t=1.6片面フラッシュ SOP		アルミアルマイト																											
硝子			透明ガラス t=3																											
付属金物	75丁番2枚吊 打掛締り（ハンドル取外し）		一式																											
備考	枠85、扉40 特定防火戸 常閉		アルミアングル（4方）、米桐額縁（4方）【新設】 W25 x D130																											
符号・数量	数量		数量		数量		数量		数量																					
改修内容																														
姿図																														
形式																														
材質・仕上																														
硝子																														
付属金物																														
備考																														
						<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事</td></tr><tr><td>図面名</td><td colspan="3">（改修後）建具表</td></tr><tr><td>作成年月日</td><td>令和6年2月9日</td><td>変更年月日</td><td></td></tr><tr><td>縮尺</td><td>1：50</td><td>図面番号</td><td>A-24</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号</td></tr><tr><td colspan="4">松戸市 街づくり部 建築保全課</td></tr></table>	工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事			図面名	（改修後）建具表			作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日		縮尺	1：50	図面番号	A-24	設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号			松戸市 街づくり部 建築保全課			
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事																													
図面名	（改修後）建具表																													
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日																												
縮尺	1：50	図面番号	A-24																											
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号																													
松戸市 街づくり部 建築保全課																														





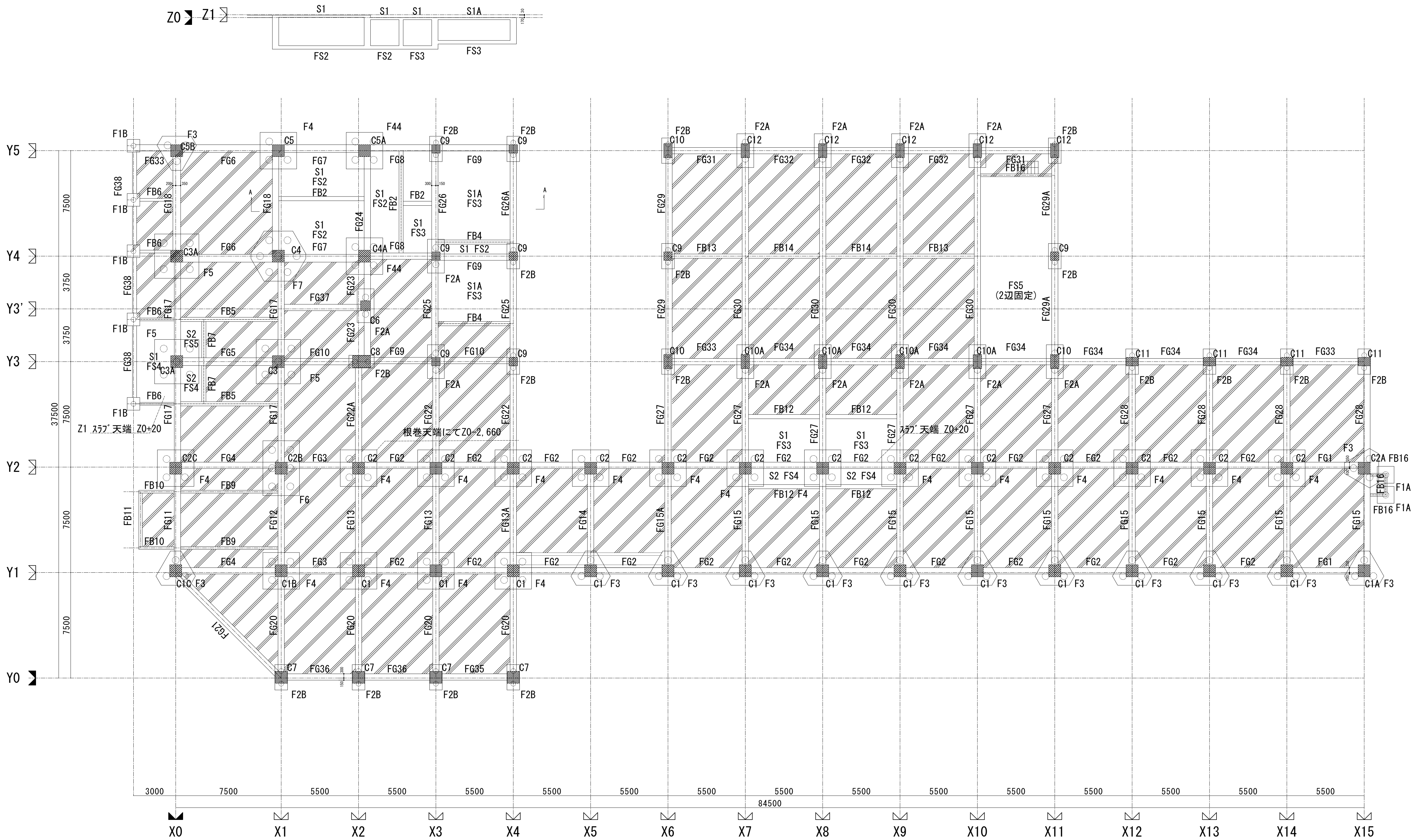


工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	(改修後) 斜路、手摺、階段部分詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 20	図面番号	A-27
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号 松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	内部・外部仮設計画図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 200	図面番号	A-29
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2311-247号		
	鈴木 泰久		
	一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																			
④ 改修工事 (グラウト工事編)	グラウト工事編 ① 材料	○ 構造体用モルタル 材料 ○ 改修標準仕様書[8.2.6] 圧縮強度 ・ 図示 ・ フロー値 ・ 図示 ・ 材料の種類 [8.2.12] <table><tr><th>種 類</th><th></th></tr><tr><td>○ 無収縮グラウト</td><td>無収縮グラウトはプレミックスタイプとし、材齢28日：40.0N/mm²以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。</td></tr><tr><td>○ 無収縮モルタル</td><td>無収縮モルタルはプレミックスタイプとし、材齢28日：45.0N/mm²以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。</td></tr></table>	種 類		○ 無収縮グラウト	無収縮グラウトはプレミックスタイプとし、材齢28日：40.0N/mm ² 以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。	○ 無収縮モルタル	無収縮モルタルはプレミックスタイプとし、材齢28日：45.0N/mm ² 以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。	⑥ 改修工事 (鉄骨工事編)	鉄骨工事編 ① 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 [8.1.5] (7.1.3) ○ 建築基準法第7条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能認定機関として認定を受けた㈱日本鉄骨評価センター及び㈱全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ M ）グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・ 監督職員の承諾する製作工場 施工管理技術者 [8.1.6] (7.1.4) ※ 適用する ・ 適用しない 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※ 図示 ・ 適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 <table><tr><th>種 類 の 記 号</th><th>使 用 箇 所</th><th>規 格 等</th></tr><tr><td>※ SS400 ・ SN400</td><td>※ 柱鋼板巻き補強</td><td>※ J I S規格</td></tr><tr><td>○ SS400</td><td>○ トラス梁補強部材</td><td>※ J I S規格</td></tr></table> 区分 [8.2.9] (7.2.2) ○ トルシア形高力ボルト 2種（S I O T）（建築基準法に基づき認定を受けたもの） ○ JIS形高力ボルト 2種（F I O T）（JIS B 1186（摩擦接合用高力ボルト）） 高力ボルトの径 ※ 図示 ・ すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う ※ 図示 ・ (7.3.2) セットの種類 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）（建築基準法に基づき認定を受けたもの） ・ 摩擦面の処理 ※ プラスト処理（表面粗度 50μmRz以上） ・ リン酸塩処理 すべり耐力の確認方法 ※ 図示 ・ 次の規格品のうち、母材の種類・寸法及び溶接条件に適した種類のものとする[8.2.10] (7.2.5) JIS Z 3211, JIS Z 3214, JIS Z 3312, JIS Z 3313, JIS Z 3315, JIS Z 3320 JIS Z 3313, JIS Z 3183, JIS Z 3351, JIS Z 3352, JIS Z 3353 隅肉溶接の開先標準 (単位：mm) <table><tr><th colspan="3">H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）</th></tr><tr><th>1（片面溶接）</th><th>2（両面溶接）</th><th>16<t≤40</th></tr><tr><td>t≤16</td><td>t≤16</td><td>16<t≤40</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 隅肉溶接のサイズ (単位：mm) <table><tr><th>t</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>19</th><th>22</th></tr><tr><th>s</th><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>11</td><td>13</td></tr></table>	種 類 の 記 号	使 用 箇 所	規 格 等	※ SS400 ・ SN400	※ 柱鋼板巻き補強	※ J I S規格	○ SS400	○ トラス梁補強部材	※ J I S規格	H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）			1（片面溶接）	2（両面溶接）	16<t≤40	t≤16	t≤16	16<t≤40				t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	⑥ 改修工事 (鉄骨工事編)	13. 溶融亜鉛メッキ	種別等 (7.12.4) (表14.2.2) <table><tr><th>亜鉛メッキの種別</th><th>材料</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ A種（HDZ55）</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td><td rowspan="3">※ 図示 ・</td></tr><tr><td>・ B種（HDZ45）</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td></tr><tr><td>・ C種（HDZ35）</td><td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td></tr></table> めっき作業はJIS認定工場において行う。 素地ごしえらは、J I S H 8 6 4 1 溶融亜鉛メッキ作業標準による。 ・ 実施する （ ） ※ 実施しない [8.13.10]	亜鉛メッキの種別	材料	適用箇所	・ A種（HDZ55）	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	※ 図示 ・	・ B種（HDZ45）	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	・ C種（HDZ35）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	⑦ 改修工事 (その他)	① 既存部分の撤去・処理	騒音、粉塵、落下防止等、十分考慮して施工すること。 [8.21.2] 既存腰壁、アルミサッシ取り壊し前にカッター入れを行い既存柱・梁を損傷しないこと。 適用範囲 [8.21.3] [8.22.3] [8.23.3] ※ 既存コンクリートとの打ち継ぎ面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合部 ・ 既存コンクリートの目荒しの範囲 ○ 平均深さで2～5mm程度の凹面を、全体にわたってつける。 ・ 既存コンクリートの目荒しの程度 ○ 既存柱、梁面 打継ぎ面の30%程度 ○ 既存壁 打継ぎ面の10～15%程度 ・														
	種 類																																																																																													
	○ 無収縮グラウト	無収縮グラウトはプレミックスタイプとし、材齢28日：40.0N/mm ² 以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。																																																																																												
○ 無収縮モルタル	無収縮モルタルはプレミックスタイプとし、材齢28日：45.0N/mm ² 以上とする。その他詳細は「改修標準仕様書8.2.12」による。																																																																																													
種 類 の 記 号	使 用 箇 所	規 格 等																																																																																												
※ SS400 ・ SN400	※ 柱鋼板巻き補強	※ J I S規格																																																																																												
○ SS400	○ トラス梁補強部材	※ J I S規格																																																																																												
H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）																																																																																														
1（片面溶接）	2（両面溶接）	16<t≤40																																																																																												
t≤16	t≤16	16<t≤40																																																																																												
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22																																																																															
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13																																																																															
亜鉛メッキの種別	材料	適用箇所																																																																																												
・ A種（HDZ55）	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	※ 図示 ・																																																																																												
・ B種（HDZ45）	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																																																													
・ C種（HDZ35）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																																																													
② 圧入工事 (既存構造体との取合)	圧入工事はグラウトポンプ等により行い、空隙が密塞に充填できるように計画すること。 グラウト材の撈拌にはアルミ羽の撈拌機は用いないこと。 オーバーフロー管の流出先の高さは、圧入高さよりも10cm程度以上高くすること。	② 入熱、バス間 温度の溶接条件	14. 仮組み	・ 実施する （ ） ※ 実施しない [8.13.10]	2. 柱補強	・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.23.5] ・ 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8.23.6] ・ 連続繊維補強工法 [8.24.6]																																																																																								
③ 材料試験	改修標準仕様書8.2.11 による。 [8.2.12] ※ コンシステンシー試験 「J14ロート試験」による。1作業班ごとに午前と午後の作業開始前に測定する。 ※ 圧縮試験 ① 供試体は、JIS A 1132(コンクリートの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm高さ100mmの円柱とする。 ② 供試体の材令は3日、7日及び28日とし、養生は封かん養生とする。 ③ 供試体の採取は、午前、午後の打設前、及び最終打設時の3回を標準とする。 数量は材例に応じてそれぞれ1体とする。ただし1日の打設量が3m ² を超える場合、増加量2m ² 当り1回を追加する。	③ 鋼材の材質	⑮ ベースプレート 下面のモルタル	モルタルの種別 (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.1) [8.2.12] ○ 無収縮モルタル 圧縮強度 ・ 図示 ・ 材料、調合等 ○ 標準仕様書 7.2.9による 品質及び試験方法 ○ 標準仕様書 表7.2.5による 工法の種別 ○ 標準仕様書 表7.10.2 ・ A種[モルタル厚さ50] ・ B種[モルタル厚さ30]	3. 連続繊維シート巻き	材料・形状 [8.2.13] 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度（含浸硬化後） ・ 2500N/mm ² 以上 3000N/mm ² 以上 ヤング係数（含浸硬化後） ・ 2.35×10 ⁵ N/mm ² 程度 ・ 2.00×10 ⁵ N/mm ² 以上 工法 ※ （一財）日本建築防災協会の評価を受けた工法 [8.24.6] ・ 下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類 ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 柱の隅角部の面取り ※ 工法の評価内容による																																																																																								
章	項 目	特 記 事 項	⑥ 改修工事 (鉄骨工事編)	⑦ 溶接材料	次の規格品のうち、母材の種類・寸法及び溶接条件に適した種類のものとする[8.2.10] (7.2.5) JIS Z 3211, JIS Z 3214, JIS Z 3312, JIS Z 3313, JIS Z 3315, JIS Z 3320 JIS Z 3313, JIS Z 3183, JIS Z 3351, JIS Z 3352, JIS Z 3353 隅肉溶接の開先標準 (単位：mm) <table><tr><th colspan="3">H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）</th></tr><tr><th>1（片面溶接）</th><th>2（両面溶接）</th><th>16<t≤40</th></tr><tr><td>t≤16</td><td>t≤16</td><td>16<t≤40</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 隅肉溶接のサイズ (単位：mm) <table><tr><th>t</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>19</th><th>22</th></tr><tr><th>s</th><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>11</td><td>13</td></tr></table>	H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）			1（片面溶接）	2（両面溶接）	16<t≤40	t≤16	t≤16	16<t≤40				t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	⑧ アンカーボルト	材質 [7.2.4] ○ 構造用（JIS G 3138） ○ SNR400B ・ SNR490B ・ 建方用（JIS G 3101） ・ SS400 ・ スタッドは、JIS B1198-2011（SD2）とし、頭付きスタッドとする。 スタッドボルトが継手プレートに当たる場合は、原則としてプレートを避けて打つ。 (単位：mm) <table><tr><th>スタッド径</th><th>L 1（首下までのスタッド長）</th></tr><tr><td>・ 16φ</td><td>※ 150(ダブル) ・</td></tr><tr><td>・ 19φ</td><td>※ 150(ダブル) ・</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	スタッド径	L 1（首下までのスタッド長）	・ 16φ	※ 150(ダブル) ・	・ 19φ	※ 150(ダブル) ・	・		⑨ スタッド	10. ターンバックル	JIS A 5540 規格品とする。 (7.2.6)	⑩ ターンバックル	JIS A 5540 規格品とする。 (7.2.6)	⑪ 溶接工法	スカラップの形状 ・ 改良型 ・ エンドタブの切除 ・ 行う 適用箇所： ・ 全て ・ 構造図（ ）による ・ 行わない 下記錆止め塗料を工場1回、現場1回塗りとする。 [7.3.2] (18.3.3) ただし、コンクリートに接する摩擦接合面及び高力ボルト接合部摩擦面は塗布しない。 (改修標準仕様書8.16.2による。)	⑫ 錆止め塗料	鉄鋼面 錆止め塗料 <table><tr><th>種別</th><th>錆止め塗料</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>A種</td><td>○ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（1種） ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・</td><td></td></tr><tr><td>B種</td><td>・ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（2種） ・</td><td></td></tr></table> 亜鉛メッキ鉄鋼面 <table><tr><th>種別</th><th>錆止め塗料</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>A種</td><td>・ JIS K5629（鉛酸カルシウム） ・</td><td></td></tr><tr><td>B種</td><td>・ JASS18 M-109（変性エポキシ樹脂プライマー） ・</td><td></td></tr><tr><td>C種</td><td>・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・</td><td></td></tr></table>	種別	錆止め塗料	適用箇所	A種	○ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（1種） ・			・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・		B種	・ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（2種） ・		種別	錆止め塗料	適用箇所	A種	・ JIS K5629（鉛酸カルシウム） ・		B種	・ JASS18 M-109（変性エポキシ樹脂プライマー） ・		C種	・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・		⑬ 溶接工の資格	溶接技能者 溶接技能者は、JIS Z 3801又はJIS Z 3841に従う板厚、溶接方法、溶接姿勢に応じた溶接技術検定試験に合格した有資格者とする。 ※ 上向溶接は上向姿勢での溶接資格を持つものとする。
H（アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接）																																																																																														
1（片面溶接）	2（両面溶接）	16<t≤40																																																																																												
t≤16	t≤16	16<t≤40																																																																																												
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22																																																																															
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13																																																																															
スタッド径	L 1（首下までのスタッド長）																																																																																													
・ 16φ	※ 150(ダブル) ・																																																																																													
・ 19φ	※ 150(ダブル) ・																																																																																													
・																																																																																														
種別	錆止め塗料	適用箇所																																																																																												
A種	○ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（1種） ・																																																																																													
	・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・																																																																																													
B種	・ JIS K5674（鉛・クロムフリー）（2種） ・																																																																																													
種別	錆止め塗料	適用箇所																																																																																												
A種	・ JIS K5629（鉛酸カルシウム） ・																																																																																													
B種	・ JASS18 M-109（変性エポキシ樹脂プライマー） ・																																																																																													
C種	・ JASS18 M-111（水系さび止め） ・																																																																																													
⑤ 改修工事 (あと施工アンカー工事編)	あと施工アンカー工事編 ① あと施工アンカーの材料	あと施工アンカーの材料 [8.12.1] ・ 金属系アンカー（耐震補強用） ※ 接着系アンカー 接着材の材質及びカプセルの種類 ※ 回転・打撃式ガラス管タイプ有機系カプセル ・ 接合筋の種類 ※ 鉄筋コンクリート用棒鋼 ・ アンカー穿孔前に鉄筋探査機等を用いて障害物の確認をすること。 ※ 第一種あと施工アンカー施工士「（社）日本建築あと施工アンカー協会（J C A A）」 穿孔機械 ※ ハンマードリル ・ 穿孔に失敗した場合は、アンカー芯よりも内側に再度穿孔すること（下図ー1） 穿孔失敗部分は、躯体と同等以上の強度のモルタル等で補修すること。 アンカーの定着 ※ R C増設部は表ー1、S増設部は表ー2 ・ 図示 アンカー長さは、首下までの寸法とする。 [8.12.1] カプセルはガラス管製を使用すること。 表ー1（単位：mm） <table><tr><th>接着系アンカー径</th><th>L1</th><th>L2</th><th>L</th></tr><tr><td>○ D19（一般部）</td><td>380</td><td>133</td><td>152</td></tr><tr><td>○ D19（梁下部）</td><td>380</td><td>86</td><td>95</td></tr><tr><td>○ D19（梁主筋）</td><td>380</td><td>190</td><td>209</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> L：コンクリートの穿孔深さ L1：アンカー筋の定着長さ L2：アンカーの有効埋め込み長さ (表ー1参考図) 	接着系アンカー径	L1	L2	L	○ D19（一般部）	380	133	152	○ D19（梁下部）	380	86	95	○ D19（梁主筋）	380	190	209					② あと施工アンカーの施工	アンカー長さ、首下までの寸法とする。 [8.12.1] カプセルはガラス管製を使用すること。 表ー2（単位：mm） <table><tr><th>接着系アンカー径</th><th>h'</th><th>L1</th><th>L2</th><th>ラップ長</th></tr><tr><td>・ D16</td><td>※ 160 ・</td><td>※ 120 ・</td><td>160</td><td>60以上</td></tr><tr><td>・ D19</td><td>※ 200 ・</td><td>※ 150 ・</td><td>190</td><td>80以上</td></tr><tr><td>・ D22</td><td>※ 200 ・</td><td>※ 150 ・</td><td>220</td><td>130以上</td></tr></table> (表ー2参考図) 	接着系アンカー径	h'	L1	L2	ラップ長	・ D16	※ 160 ・	※ 120 ・	160	60以上	・ D19	※ 200 ・	※ 150 ・	190	80以上	・ D22	※ 200 ・	※ 150 ・	220	130以上	③ あと施工アンカーの確認試験	打音確認 ※ 接着系アンカー（※ 全数 ・ ） ・ 引張試験 [8.12.7] 引張試験は、改修標準仕様書8.12.7により行うこと。 ただし、1ロットは、1日に施工されたものの各径及び各仕様ごととする。 <table><tr><th>アンカー径</th><th>確認強度</th><th>備考</th></tr><tr><td>D19</td><td>46kN</td><td>下向き、L=152mm</td></tr><tr><td>D19</td><td>49kN</td><td>横向き、L=152mm</td></tr><tr><td>D19</td><td>67kN</td><td>梁主筋：横向き、L=209mm</td></tr><tr><td>D19</td><td>18kN</td><td>上向き、L=95mm</td></tr></table>	アンカー径	確認強度	備考	D19	46kN	下向き、L=152mm	D19	49kN	横向き、L=152mm	D19	67kN	梁主筋：横向き、L=209mm	D19	18kN	上向き、L=95mm	④ スリットの施工	形状 [8.25.2] ※ 完全スリット ○ 部分スリット スリット部の配管等の探査 ※ 探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し																															
	接着系アンカー径	L1	L2	L																																																																																										
	○ D19（一般部）	380	133	152																																																																																										
○ D19（梁下部）	380	86	95																																																																																											
○ D19（梁主筋）	380	190	209																																																																																											
接着系アンカー径	h'	L1	L2	ラップ長																																																																																										
・ D16	※ 160 ・	※ 120 ・	160	60以上																																																																																										
・ D19	※ 200 ・	※ 150 ・	190	80以上																																																																																										
・ D22	※ 200 ・	※ 150 ・	220	130以上																																																																																										
アンカー径	確認強度	備考																																																																																												
D19	46kN	下向き、L=152mm																																																																																												
D19	49kN	横向き、L=152mm																																																																																												
D19	67kN	梁主筋：横向き、L=209mm																																																																																												
D19	18kN	上向き、L=95mm																																																																																												
		工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事																																																																																											
		図面名	構造特記仕様書（2）																																																																																											
		作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日																																																																																										
		縮 尺	NS	図面番号	S-02																																																																																									
		設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号																																																																																											
		松戸市 街づくり部 建築保全課																																																																																												



基礎伏図

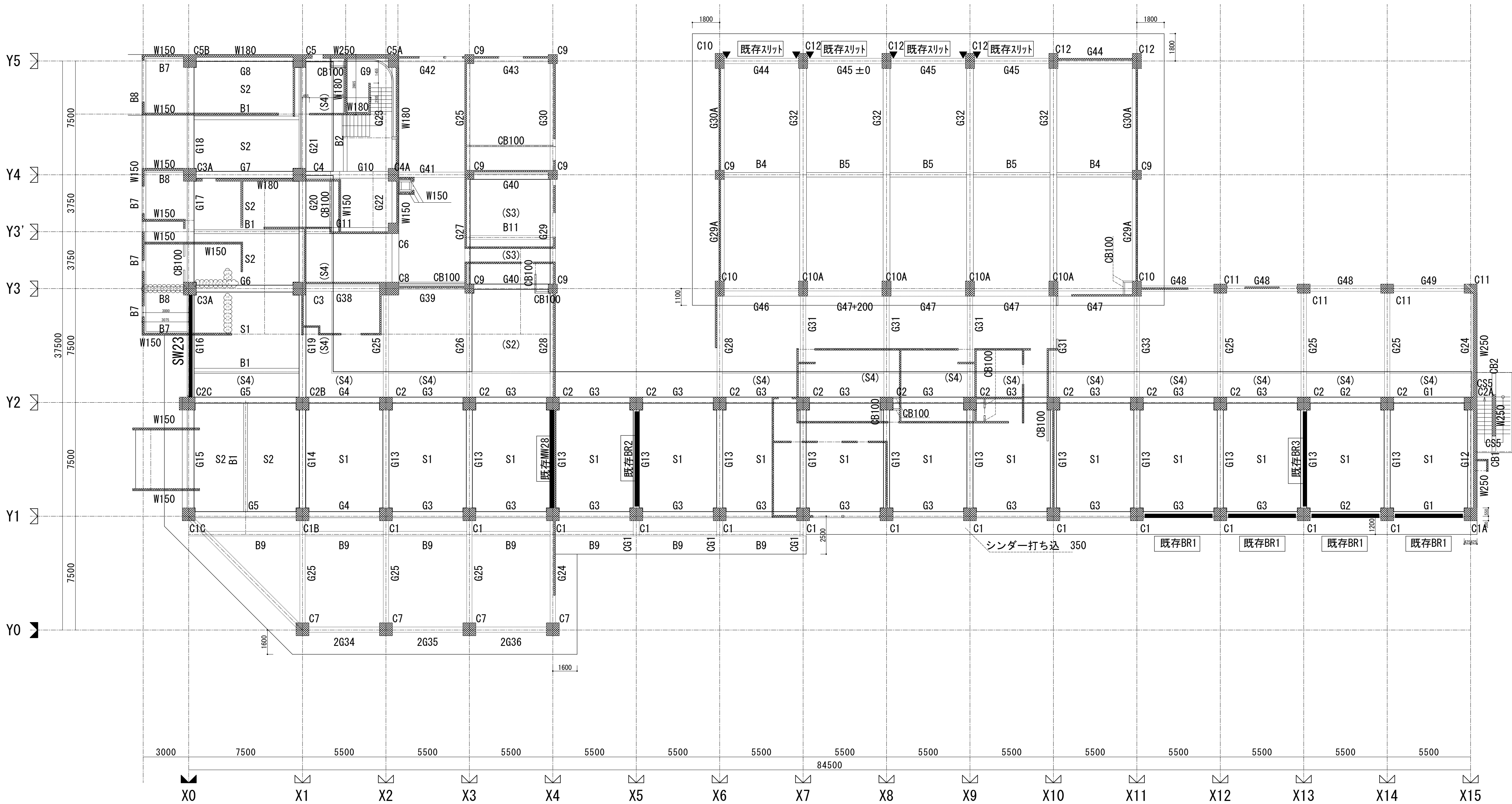
共通事項

特記なき限り壁はW12とする。

は土間コンクリート部分を示す 天端Z0+170

補強なし

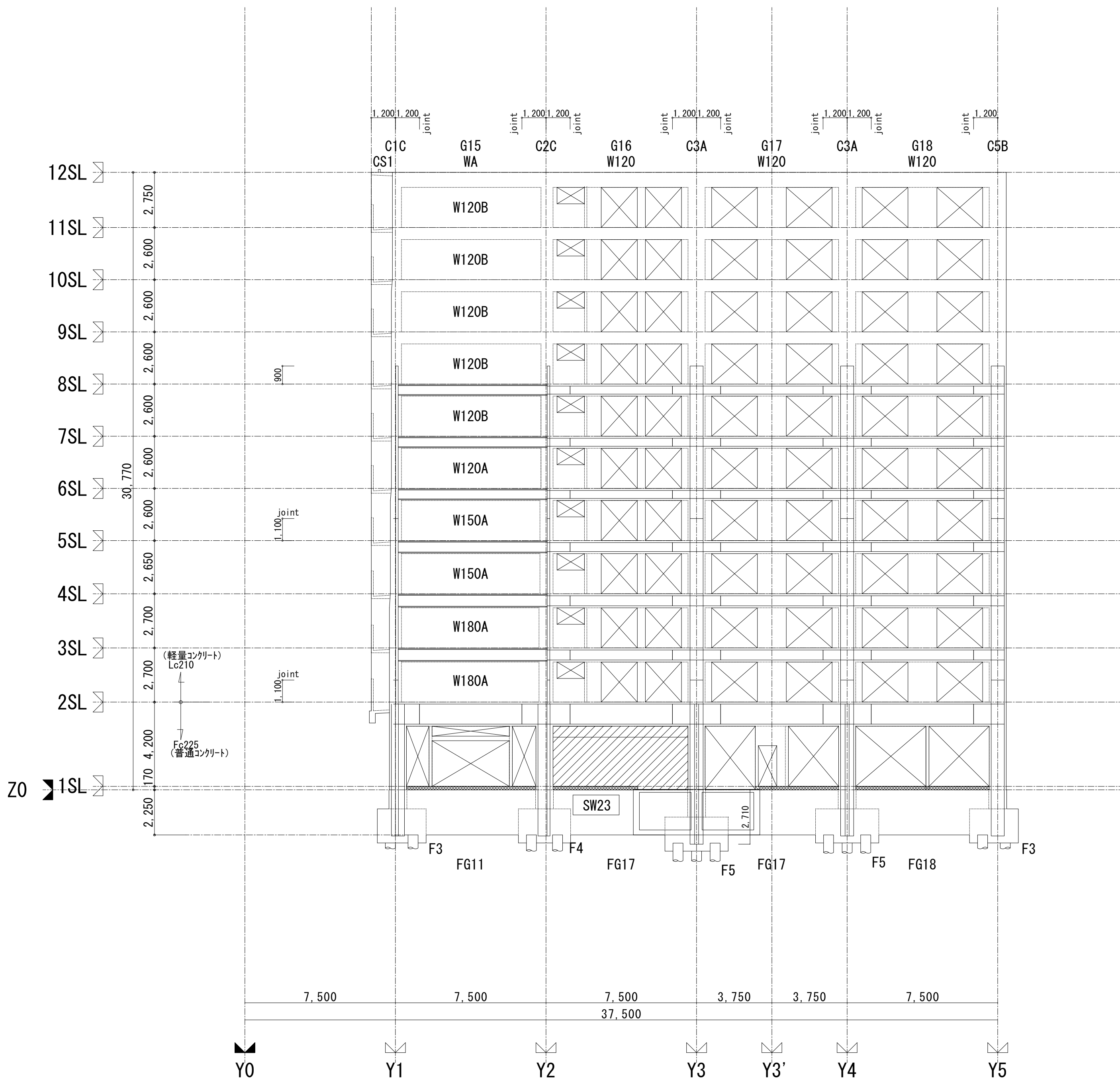
工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	伏図（1）		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1：150	図面番号	S-03
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



共通事項	補強内容（新設）	補強内容（既設）
特記なき限り壁はW120とする。	・ SW 2 3 は R C 補強壁を示す。	・ 既存BR1、既存BR2は既設鉄骨ブレースを示す。
	補強対象範囲：1階（X0通・Y2～3間）	・ 既存MW28は既設増し打ち壁を示す。
	・ 壁の破線部・雲形印は撤去壁を示す。	・ ▼ は既存スリットは既設スリットを示す。

Z1壁Z2-1.090 床梁伏図
1階梁伏図（見上げ）

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	伏図（2）		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 150	図面番号	S-04
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

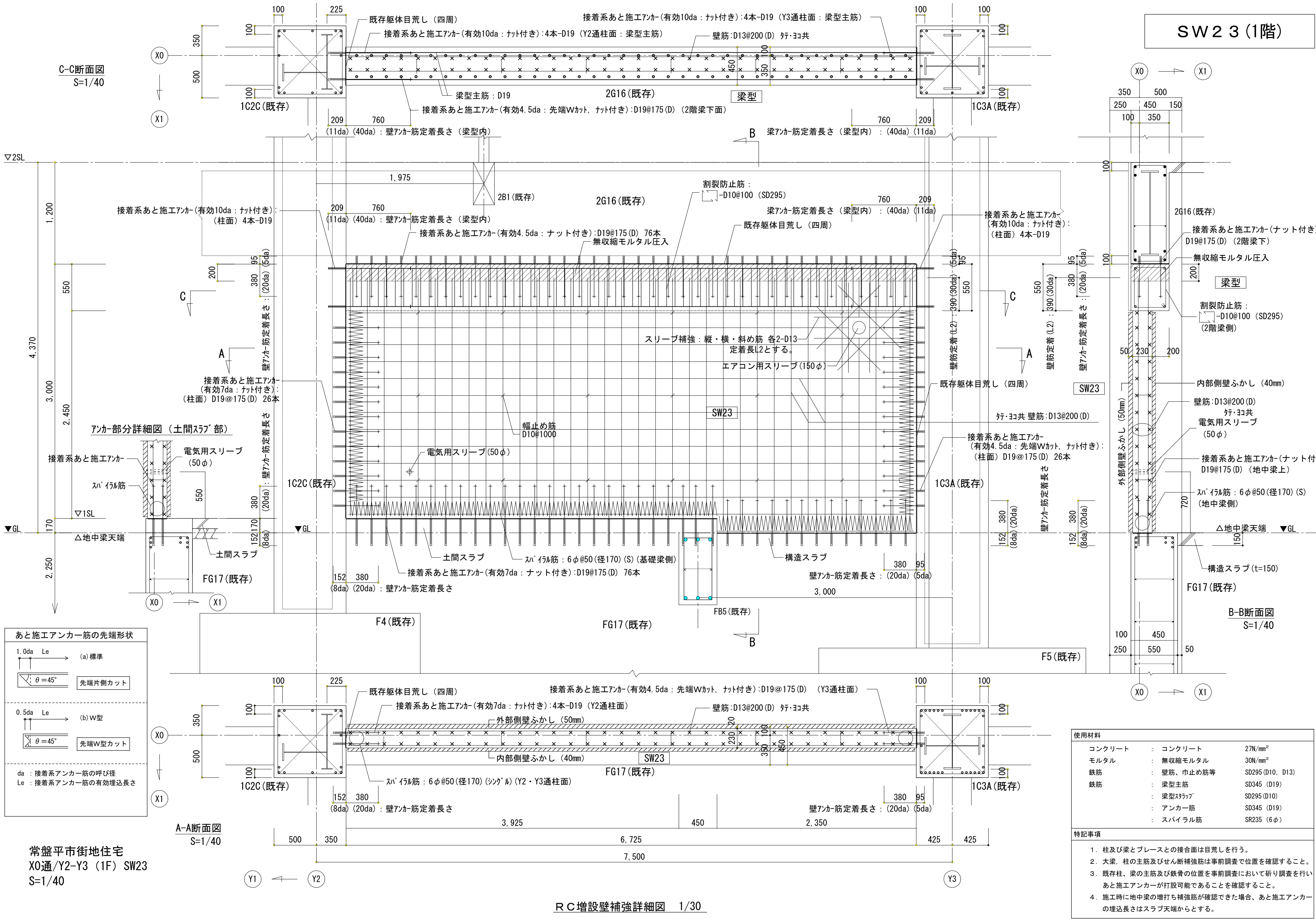


共通事項
特記なき限り壁はW120とする。
 は梁増打部分を示す。

X0通軸組図

補強内容（新設）
 SW23はR C増設壁を示す。

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	軸組図（1）		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1：150	図面番号	S-05
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	RC増設壁補強詳細図		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮尺	1 : 30	図面番号	S-06
設計	株式会社 鈴木建築設計事務所		
	千葉県知事登録 第1-2311-247号		
	鈴木 泰久		
	一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

既存柱リスト 1/50

符号		C2C	C3A
1階 柱頭	断面図		
	b × D	850 × 850	850 × 850
	主 筋	14 - D22 + 2 - D19	12 - D29 + 2 - D19
	HOOP	D13-φ100	D13-φ100
	フランジ	aT-125×9	eT-200×19
	ウ ェ ブ	PL - 6	PL - 6
1階 柱脚	断面図	同上	
	b × D		850 × 850
	主 筋		28 - D29 + 2 - D19
	HOOP		D13-φ100
	フランジ		eT-200×19
	ウ ェ ブ		PL - 6

＜特記事項＞ 特記なきは下記とする。
・ダイヤフープは D10φ600とする
・鉄骨のかぶり 100mm
・特記なき鉄骨はSS41とする
・バンドプレート PL-65×6
・ラチスの角度は30～40° とする

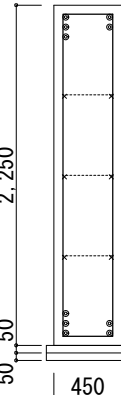
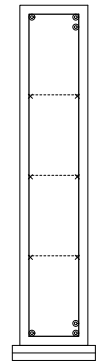
既存梁リスト 1/50

符号	G16		
位置	Y2端	中央	Y3端
2階			Y2に同じ
	主材	(PL-200×19)	T-150×12
	腹材	(PL-12)	PL-9
	上端筋	4-D29	2-D29
下端筋	4-D29	2-D29	
	スラッグ	□-D10φ250	□-D13φ250
＜特記事項＞ 特記なきは下記とする。 ・スラッグ □-D10-φ250、但し端部は梁せい以上は□-D10φ200 ・腹筋 2-9φ、但しボックス梁は4-9φとし、2階梁は6-9φとする ・巾止筋 9φφ750 ・特記なき鉄骨はSS41とする ・()内の鉄骨材はSM50Aとする ・ラチスの角度は30～40° とする			

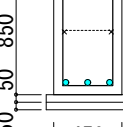
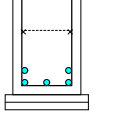
既存小梁リスト 1/50

符号	B1	
位置	全断面	
2階		
	上端筋	2-D19
	下端筋	2-D19
	スラッグ	2-D10φ250

既存地中梁リスト 1/50

符号	FG17		
位置	両端	中央	
2階			
	上端筋	5-D25	3-D25
	下端筋	5-D25	3-D25
	スラッグ	□-D13φ300	
＜特記事項＞ 特記なきは下記とする。 ・スラッグ □-D13-φ300 ・腹筋 6-D13 ・巾止筋 D10φ750			

既存地中小梁リスト 1/50

符号		FB5		
位置	両端	中央		
2階				
	上端筋	3-D19	3-D19	
	下端筋	3-D19	5-D19	
	スラッグ	□-D13φ300		
＜特記事項＞ 特記なきは下記とする。 ・スラッグ □-D13-φ300 ・腹筋 2-D13 ・巾止筋 D10φ750				

工事名	松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事		
図面名	既存柱・梁リスト		
作成年月日	令和6年2月9日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	S-07
設 計	株式会社 鈴木建築設計事務所 千葉県知事登録 第1-2311-247号 鈴木 泰久 一級建築士大臣登録第233260号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2023.10）

1. 工事名称 松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事

2. 工事場所 松戸市常盤平三丁目30番地

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 2月 27日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	□電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.6 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真 ■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 ■1 建築物等の利用に関する説明書 ■2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □3 機器性能試験成績書 ■4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2024.6)

1. 工事名称 松戸市役所常盤平支所ほか1施設改修工事
2. 工事場所 松戸市常盤平三丁目30番地
3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 令和 8年 2月 27日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	■ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	□ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.7 改標仕 1. 7.7	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	